

「北区教育ビジョン 2020」策定に関する
アンケート調査報告書

平成 31 年 2 月
北区教育委員会

目 次

第 1 部 調査の概要	1
1 調査の概要	3
2 調査票の設問項目	4
第 2 部 調査の結果	7
1 保護者及び保護者の子どもについて	9
2 子どもの教育の担い手について	14
3 就学前教育について	19
4 学校教育について	21
5 家庭・地域の教育力について	53
6 教育全般について	63
7 教育行政について	69
8 生涯学習について	86
9 自由意見について	115
資料編	125
「北区教育ビジョン 2020」策定に関する保護者アンケート調査票	127

第 1 部 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、北区在住で0歳から中学校3年生までのお子さんがある保護者の方を対象として、北区の教育についてどのように感じているかをおうかがいし、「北区教育ビジョン2020」策定にあたっての基礎資料とすることを目的としています。

(2) 調査の対象

住民基本台帳から無作為抽出した0歳から中学3年生までの子どもを持つ保護者2,000人

(3) 調査の方法

調査票を対象者に郵送で配布し、郵送で回収する無記名郵送方式
(ハガキによるお礼を兼ねた督促状：1回送付)

(4) 調査期間

平成30年10月1日～10月23日

(5) 配布・回収状況

調査票の種類	配布対象数	転居等で配布不能	有効配布数(A)	回収数	白票・無効票	有効回収数(B)	有効回収率(B)/(A)
保護者	2,000	4	1,996	1,060	5	1,055	52.9%

(6) 報告書の表記

- ① 表、グラフに使われる「n」は、各設問に対する回答者数となります。比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示します。
- ② 集計した数値(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100.0%を超えます。
- ④ 表、グラフの中で、アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、一部省略して表現している場合があります。

※ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

2 調査票の設問項目

調査項目		頁
1	保護者及び保護者の子どもについて	
(1) 問 1	子どもとの関係	9
(2) 問 2	子どもの学年	10
(3) 問 3	通園・通学先の種類	11
(4) 問 4	きょうだいの人数	12
(5) 問 5	居住地区	13
2	子どもの教育の担い手について	
(1) 問 6	子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせる担い手	14
(2) 問 7	子どもに規範意識を身に付けさせる担い手	15
(3) 問 8	正しい食生活を身に付けさせる担い手	16
(4) 問 9	他人を思いやるなどの豊かな心を身に付けさせる担い手	17
(5) 問 10	忍耐力、我慢すること、あきらめない心を身に付けさせる担い手	18
3	就学前教育について	
(1) 問 11	家庭で子どもに身に付けさせるべきこと	19
(2) 問 12	幼稚園・保育園・こども園で子どもに身に付けさせるべきこと	20
4	学校教育について	
(1) 問 13	北区の公立学校が力を入れるべきこと	21
(2) 問 14	北区の公立学校が保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力	25
(3) 問 15	北区の公立学校の教育に求めるもの	26
(4) 問 16	北区の公立学校の取り組みの認知度・満足度	27
(5) 問 17	子どもが「生きる力」を身に付けるために学校教育で育てるべきこと	43
(6) 問 18	学校の評価	44
(7) 問 19	教員の評価	47
(8) 問 20	子どもの学校図書館の利用内容	50
(9) 問 21	小学校卒業後の進路	51
(10) 問 22	北区の公立学校以外への進学を考えている理由	52
5	家庭・地域の教育力について	
(1) 問 23	子どもに規範意識をきちんと教えているか	53
(2) 問 24	子どもを注意してくれる地域の大人は多いか	54
(3) 問 25	社会のルールやマナーを守る子どもが多いか	55
(4) 問 26	子どもが参加できる地域の活動は十分か	56
(5) 問 27	自分の子どもの学力の程度	57
(6) 問 28	家庭での子どもとの関わり	58
(7) 問 29	子どもを学習塾に通わせることに対する考え	59
(8) 問 30	学校の授業以外の1日の勉強時間	62
6	教育全般について	
(1) 問 31	子どもたちの学力格差に対する認識	63

調査項目		頁
(2) 問 32	学力格差が特に広がっていると思う段階	64
(3) 問 33	周りの人の役に立とうとする子どもは多いか	65
(4) 問 34	子どもたちの体力は低下しているか	66
(5) 問 35	学校の体育や部活動以外で体力向上や健康づくりをよくやっているか	67
(6) 問 36	保護者は地域の学校運営にもっと参画・連携するべきか	68
7 教育行政について		
(1) 問 37	北区教育委員会の取り組みの認知度・満足度	69
(2) 問 38	「学校ファミリー」で実施している教育施策に対する考え	78
(3) 問 39	学校施設の整備で優先的に行うべきこと	81
(4) 問 40	子どもたちが放課後過ごす場所に求める機能	82
(5) 問 41	北区の子どもの教育に関する情報提供は十分か	83
(6) 問 42	「教育先進都市」のイメージ	84
(7) 問 43	今後、北区の教育行政に期待すること	85
8 生涯学習について		
(1) 問 44	自分ができることを地域や学校で活かしたいか	86
(2) 問 45	生涯学習活動への参加状況	87
(3) 問 46	文化センターの講座・活動への参加状況	88
(4) 問 47	今後、文化センターに期待すること	96
(5) 問 48	区立図書館の講座・活動への参加状況	97
(6) 問 49	今後、区立図書館に期待すること	105
(7) 問 50	飛鳥山博物館の講座・活動への参加状況	106
(8) 問 51	今後、飛鳥山博物館に期待すること	111
(9) 問 52	生涯学習のために力を入れて欲しいこと	112
(10) 問 53	グループや団体の自主的な活動を盛んにするために必要な区の支援	113
(11) 問 54	ボランティア活動に参加できる頻度	114
9 自由意見について		115

第2部 調査の結果

1 保護者及び保護者の子どもについて

(1) 子どもとの関係

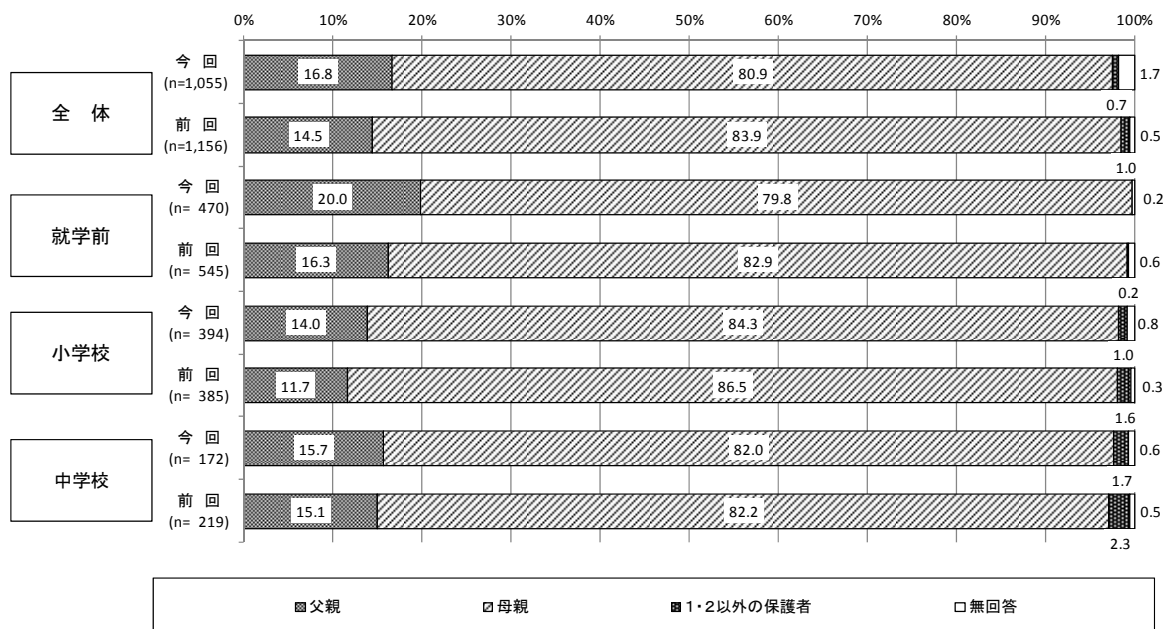
問1 封筒の宛名のお子さんとの関係を教えてください。(〇は1つだけ)

全体では、「父親」が16.8%、「母親」が80.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「母親」が8割前後となっています。

前回調査と比較すると、どの項目も概ね同じような割合となっています。

図 子どもとの関係

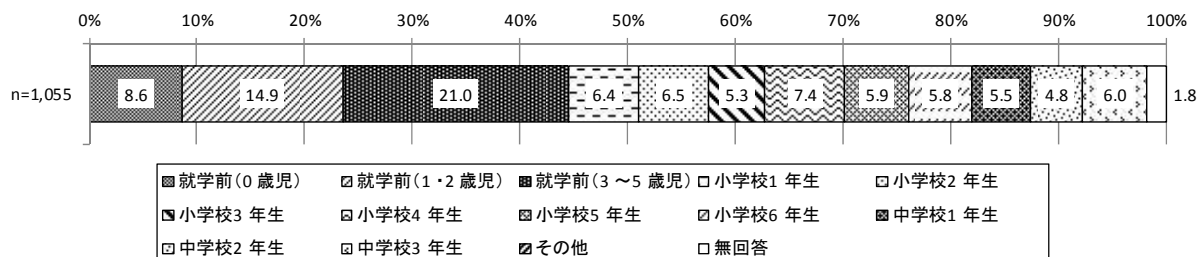


(2) 子どもの学年

問2 封筒の宛名のお子さんの状況を教えてください。(○は1つだけ)

「就学前(3～5歳児)」が21.0%と最も高く、次いで「就学前(1・2歳児)」が14.9%、「就学前(0歳児)」が8.6%となっています。

図 子どもの学年



(3) 通園・通学先の種類

問3 封筒の宛名のお子さんが通っている学校・幼稚園・保育園・こども園について教えてください。(〇は1つだけ)

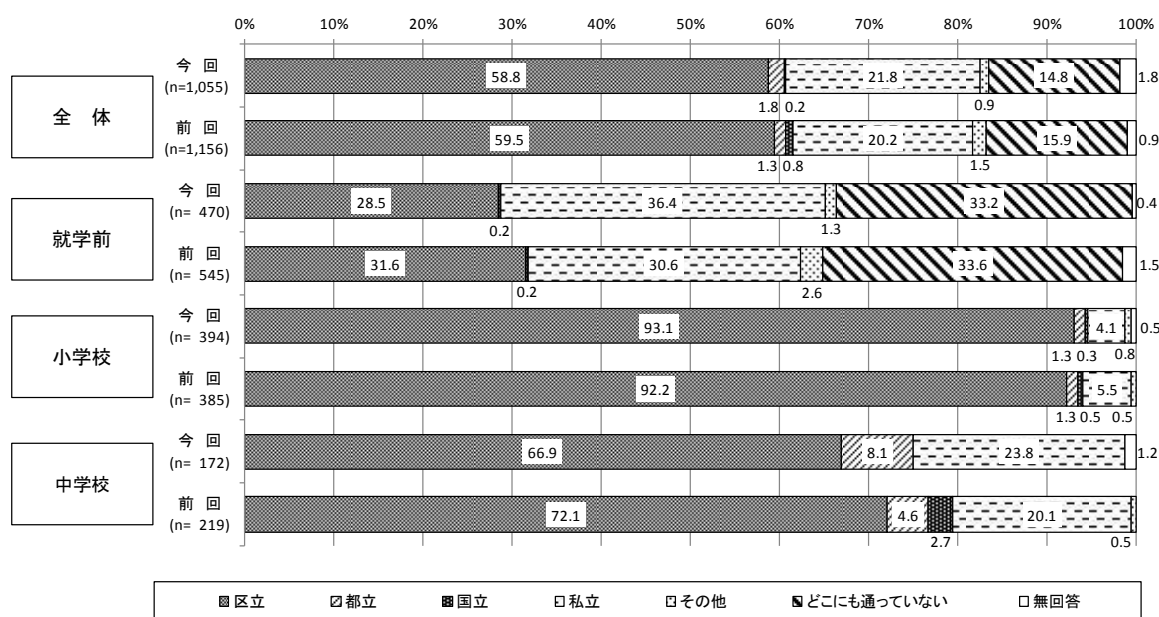
全体では、「区立」が58.8%と最も高く、次いで「私立」が21.8%、「どこにも通っていない」が14.8%となっています。

「その他」の回答には、『外国人学校』、『待機中』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、就学前では「私立」が36.4%と最も高く、次いで「どこにも通っていない」が33.2%、「区立」が28.5%となっています。小学校では「区立」が93.1%を占めています。中学校では「区立」が66.9%と最も高く、次いで「私立」が23.8%となっています。

前回調査と比較すると、就学前では「区立」がやや低く、「私立」が高くなっています。中学校では「区立」が低く、「都立」「私立」がやや高くなっています。

図 通園・通学先の種類

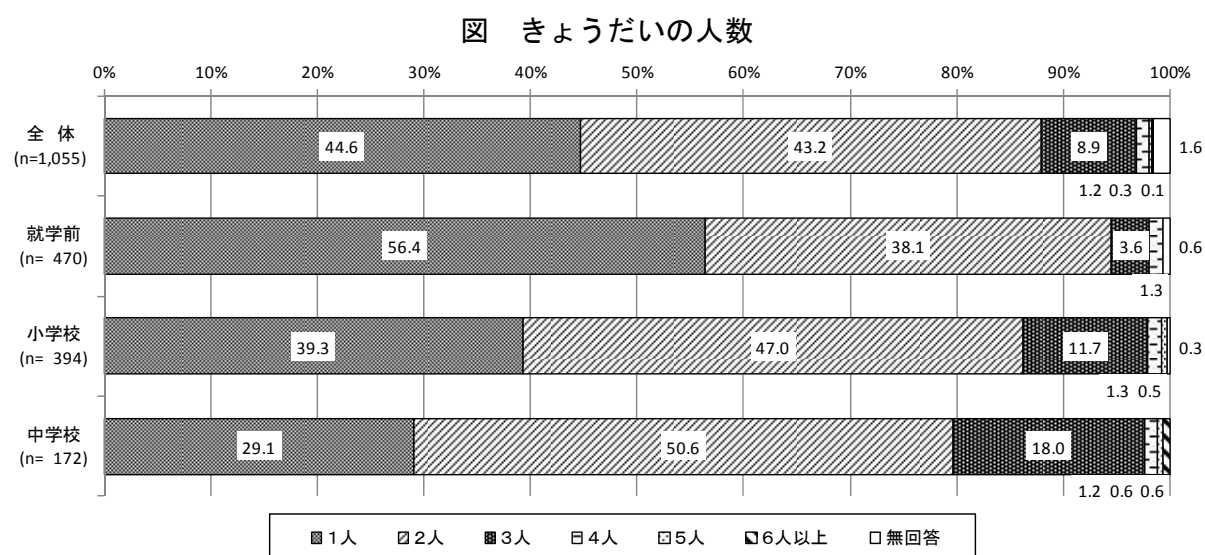


(4) きょうだいの人数

問4 封筒の宛名のお子さんのきょうだいの人数（宛名のお子さんを含めた人数）を教えてください。（○は1つだけ）

全体では、「1人」が44.6%と最も高く、次いで「2人」が43.2%、「3人」が8.9%となっています。

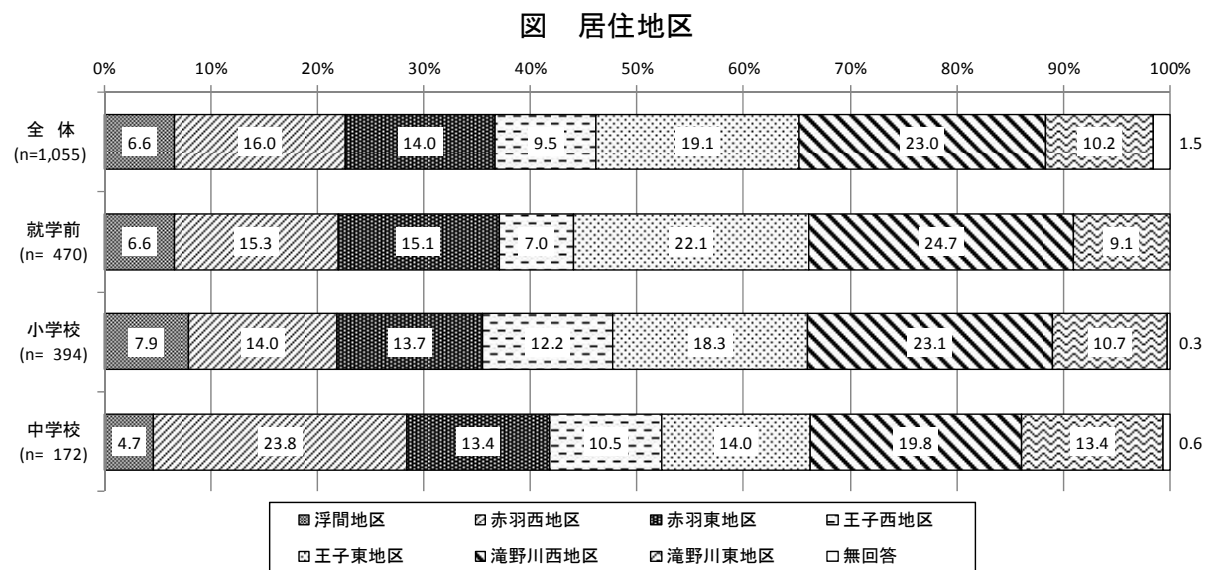
子どもの就学状況別に見ると、就学先が上がるにつれて「1人」の割合は低くなり、逆に「2人」「3人」の割合が高くなっています。



(5) 居住地区

問5 お住まいの地区を教えてください。(該当する地区の番号に1つだけ○をつけてください)

全体では、「浮間地区」が6.6%、「赤羽西地区」が16.0%、「赤羽東地区」が14.0%、「王子西地区」が9.5%、「王子東地区」が19.1%、「滝野川西地区」が23.0%、「滝野川東地区」が10.2%となっています。



2 子どもの教育の担い手について

(1) 子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせる担い手

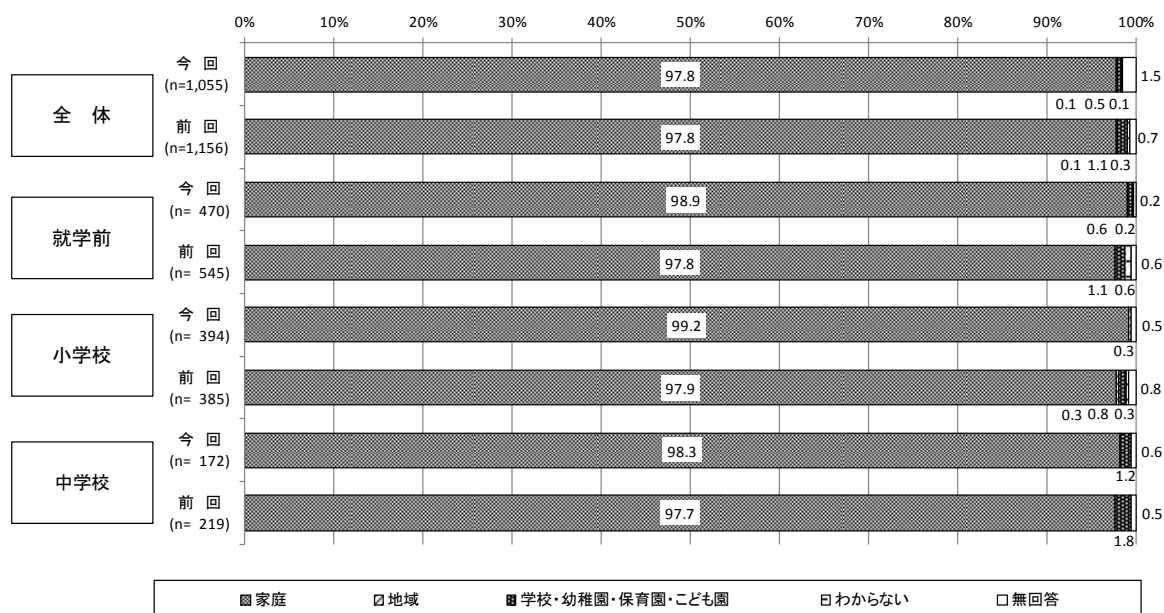
問6 子どもに基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはんなど）は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

全体では、「家庭」が97.8%を占めています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「家庭」が9割以上となっています。

前回調査と比較すると、どの項目も概ね同じような割合となっています。

図 子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせる担い手



(2) 子どもに規範意識を身に付けさせる担い手

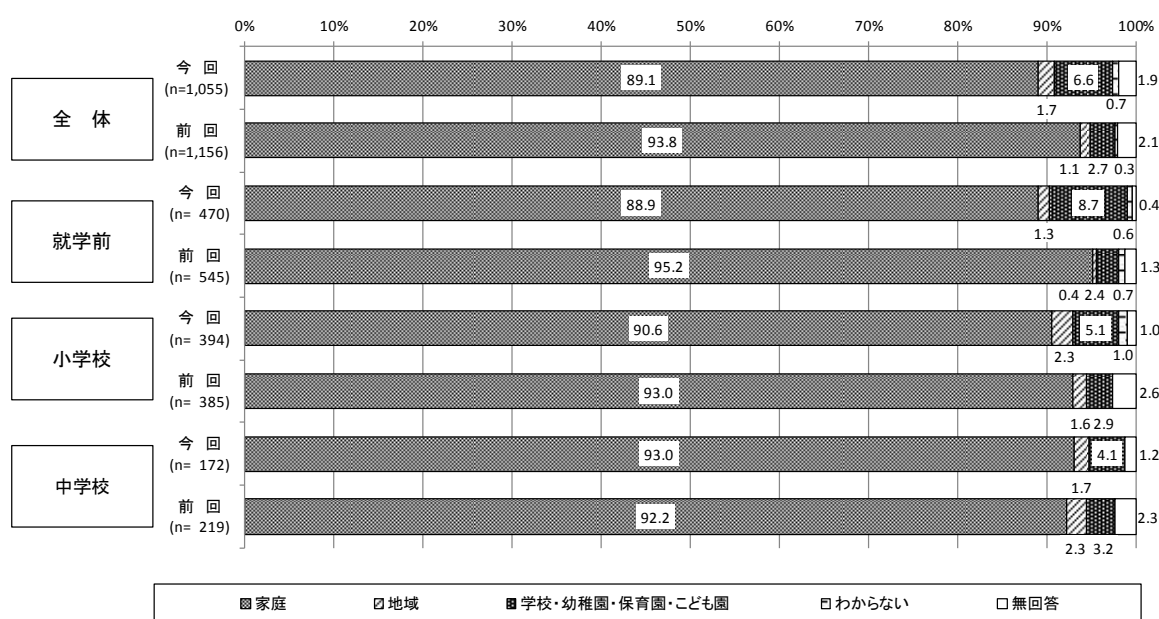
問7 挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

全体では、「家庭」が89.1%を占めています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「家庭」が9割前後となっています。

前回調査と比較すると、就学前では「家庭」が低く、「学校・幼稚園・保育園・こども園」が高くなっています。

図 子どもに規範意識を身に付けさせる担い手



(3) 正しい食生活を身に付けさせる担い手

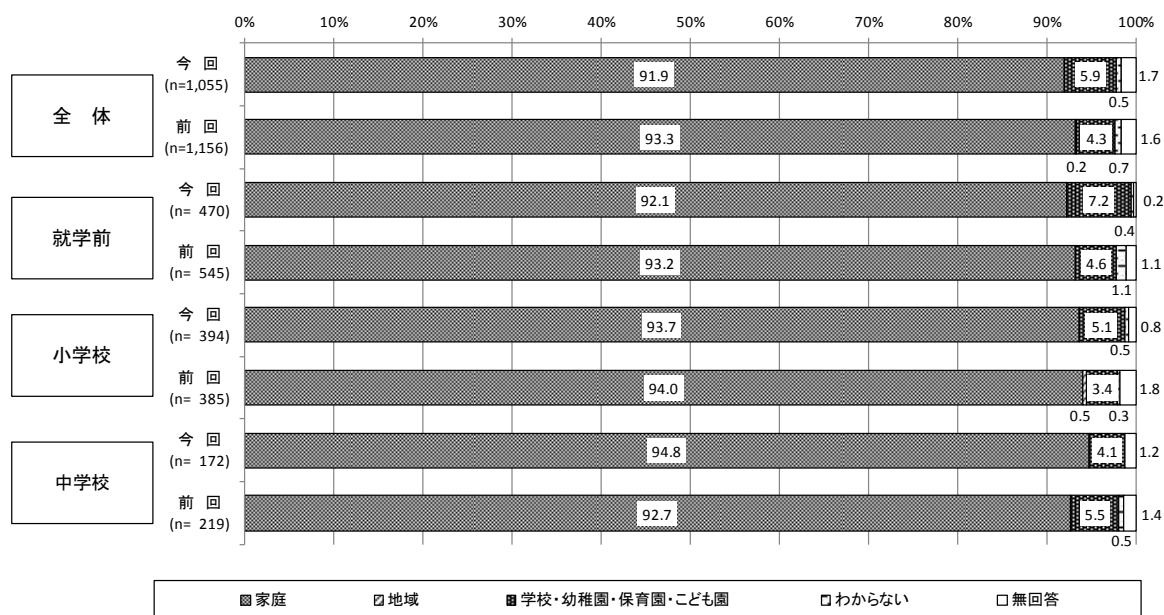
問8 正しい食生活（好き嫌いしない、よく噛んで食べるなど）は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

全体では、「家庭」が91.9%を占めています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「家庭」が9割以上となっています。

前回調査と比較すると、どの項目も概ね同じような割合となっています。

図 正しい食生活を身に付けさせる担い手



(4) 他人を思いやるなどの豊かな心を身に付けさせる担い手

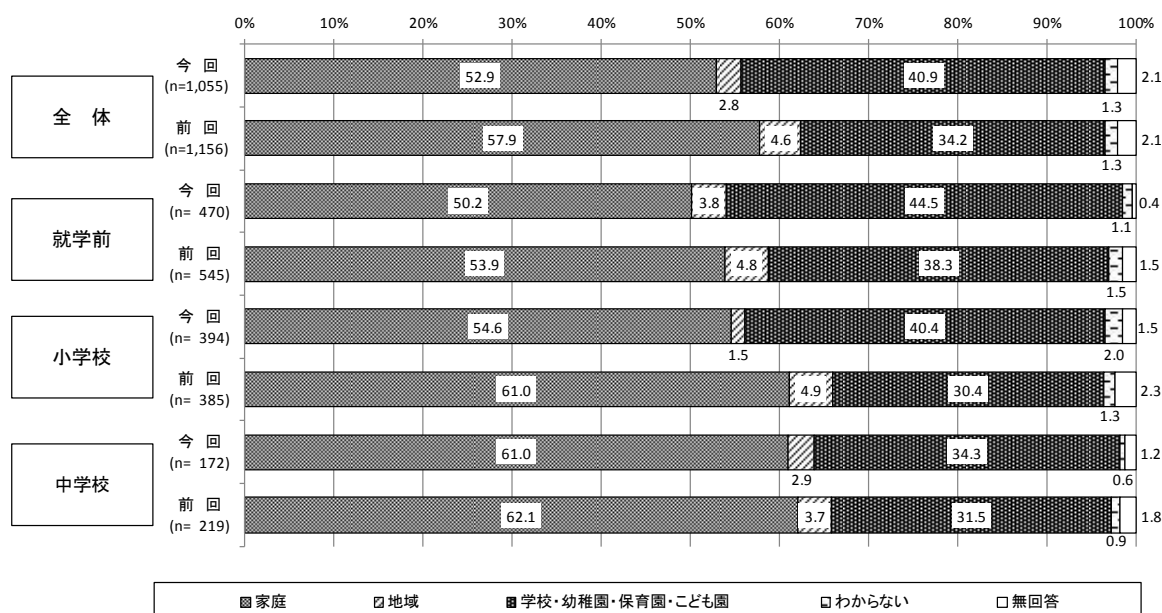
問9 他人を思いやるなどの豊かな心は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

全体では、「家庭」が52.9%と最も高く、次いで「学校・幼稚園・保育園・こども園」が40.9%、「地域」が2.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「家庭」が5割を超えています。

前回調査と比較すると、全体では「家庭」が低く、「学校・幼稚園・保育園・こども園」が高くなっています。就学前では「家庭」がやや低く、「学校・幼稚園・保育園・こども園」が高くなっています。小学校では「家庭」が低く、「学校・幼稚園・保育園・こども園」が高くなっています。

図 他人を思いやるなどの豊かな心を身に付けさせる担い手



(5) 忍耐力、我慢すること、あきらめない心を身に付けさせる担い手

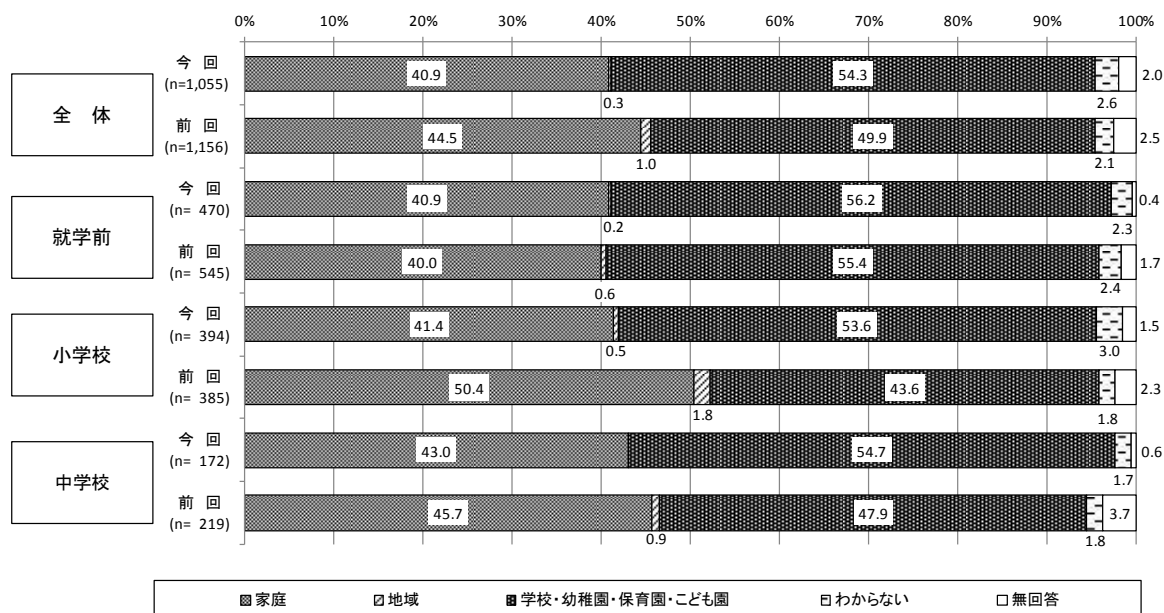
問 10 忍耐力、我慢すること、あきらめない心は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「学校・幼稚園・保育園・こども園」が 54.3%と最も高く、次いで「家庭」が 40.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「学校・幼稚園・保育園・こども園」が5割を超えています。

前回調査と比較すると、全体では「家庭」がやや低く、「学校・幼稚園・保育園・こども園」がやや高くなっています。小学校では「家庭」が低く、「学校・幼稚園・保育園・こども園」が高くなっています。中学校では「学校・幼稚園・保育園・こども園」が高くなっています。

図 忍耐力、我慢すること、あきらめない心を身に付けさせる担い手



3 就学前教育について

(1) 家庭で子どもに身に付けさせるべきこと

問 11 家庭では、就学前に何を子どもに身に付けさせるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

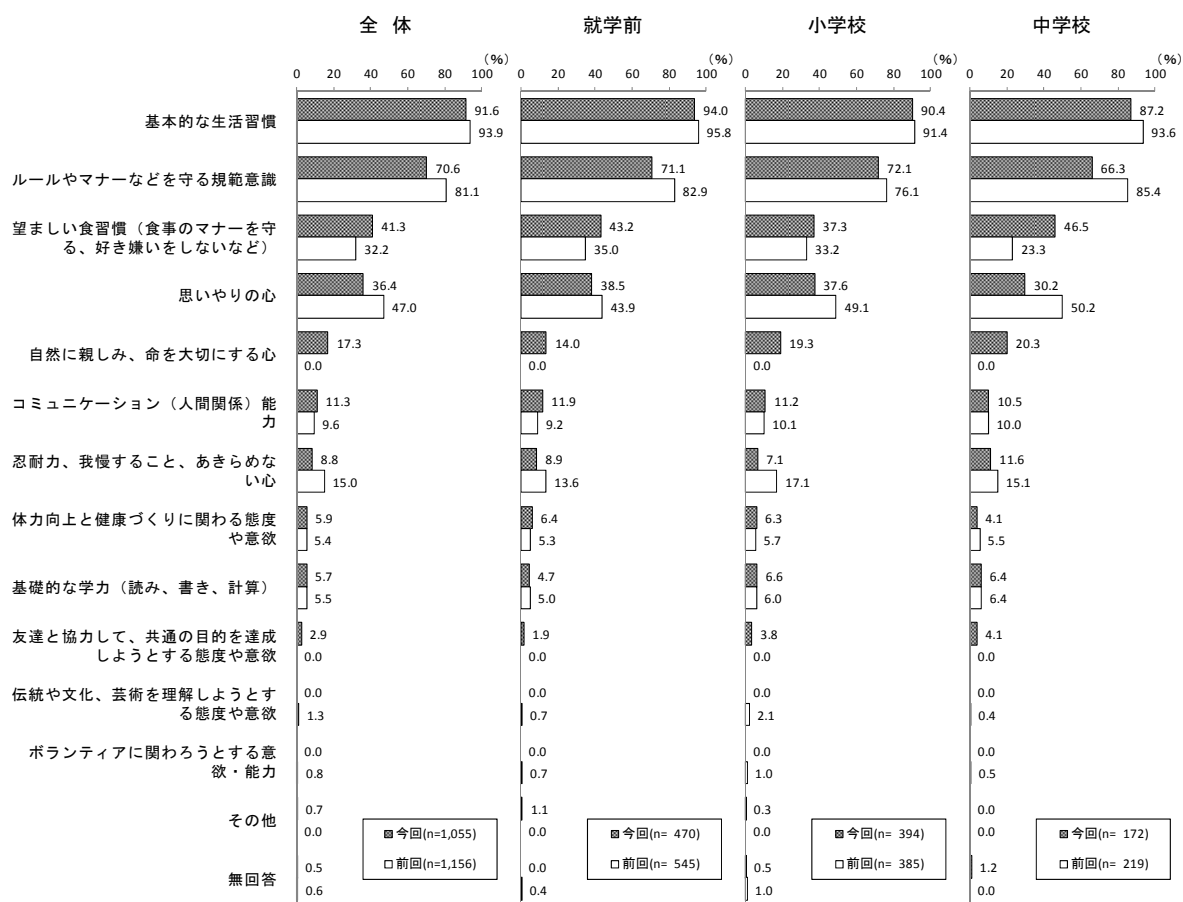
全体では、「基本的な生活習慣」が 91.6%と最も高く、次いで「ルールやマナーなどを守る規範意識」が 70.6%、「望ましい食習慣（食事のマナーを守る、好き嫌いをしないなど）」が 41.3%となっています。

「その他」の回答には、『人の話を聞くこと』、『世界観』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「望ましい食習慣（食事のマナーを守る、好き嫌いをしないなど）」は小学校が就学前、中学校より低くなっています。「思いやりの心」は中学校が就学前、小学校より低くなっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も「ルールやマナーなどを守る規範意識」「思いやりの心」が低くなっています。

図 家庭で子どもに身に付けさせるべきこと



(2) 幼稚園・保育園・こども園で子どもに身に付けさせるべきこと

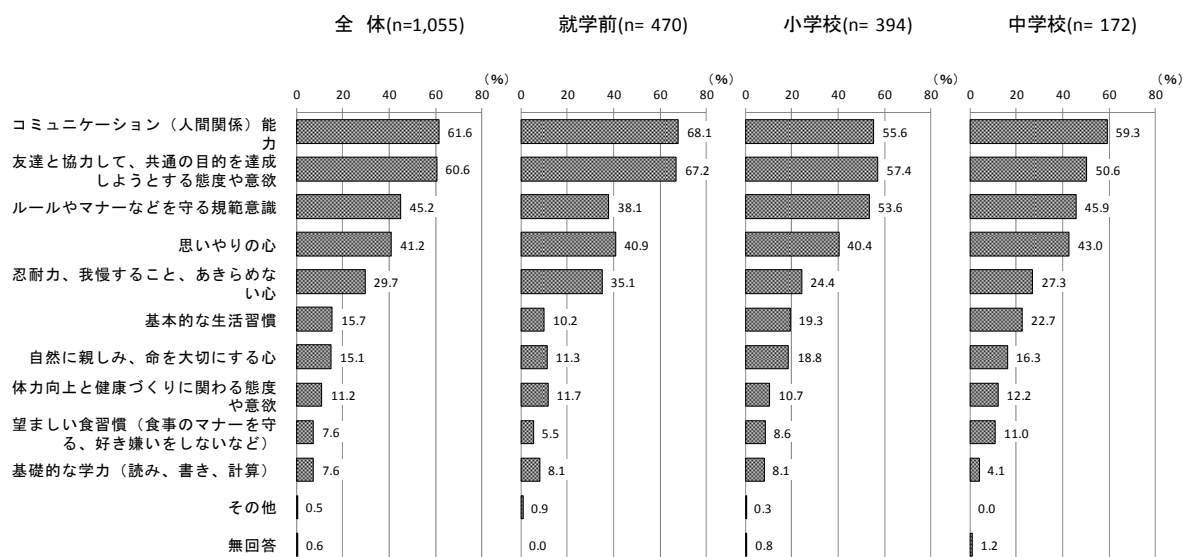
問 12 幼稚園・保育園・こども園では、何を子どもに身に付けさせるべきだと思いますか。
(〇は3つまで)

全体では、「コミュニケーション（人間関係）能力」が 61.6%と最も高く、次いで「友達と協力して、共通の目的を達成しようとする態度や意欲」が 60.6%、「ルールやマナーなどを守る規範意識」が 45.2%となっています。

「その他」の回答には、『人間関係を楽しむ事』、『家庭以外にも楽しい場所があることを認識すること』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「コミュニケーション（人間関係）能力」は就学前が小学校、中学校より高くなっています。「友達と協力して、共通の目的を達成しようとする態度や意欲」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

図 幼稚園・保育園・こども園で子どもに身に付けさせるべきこと



4 学校教育について

(1) 北区の公立学校が力を入れるべきこと

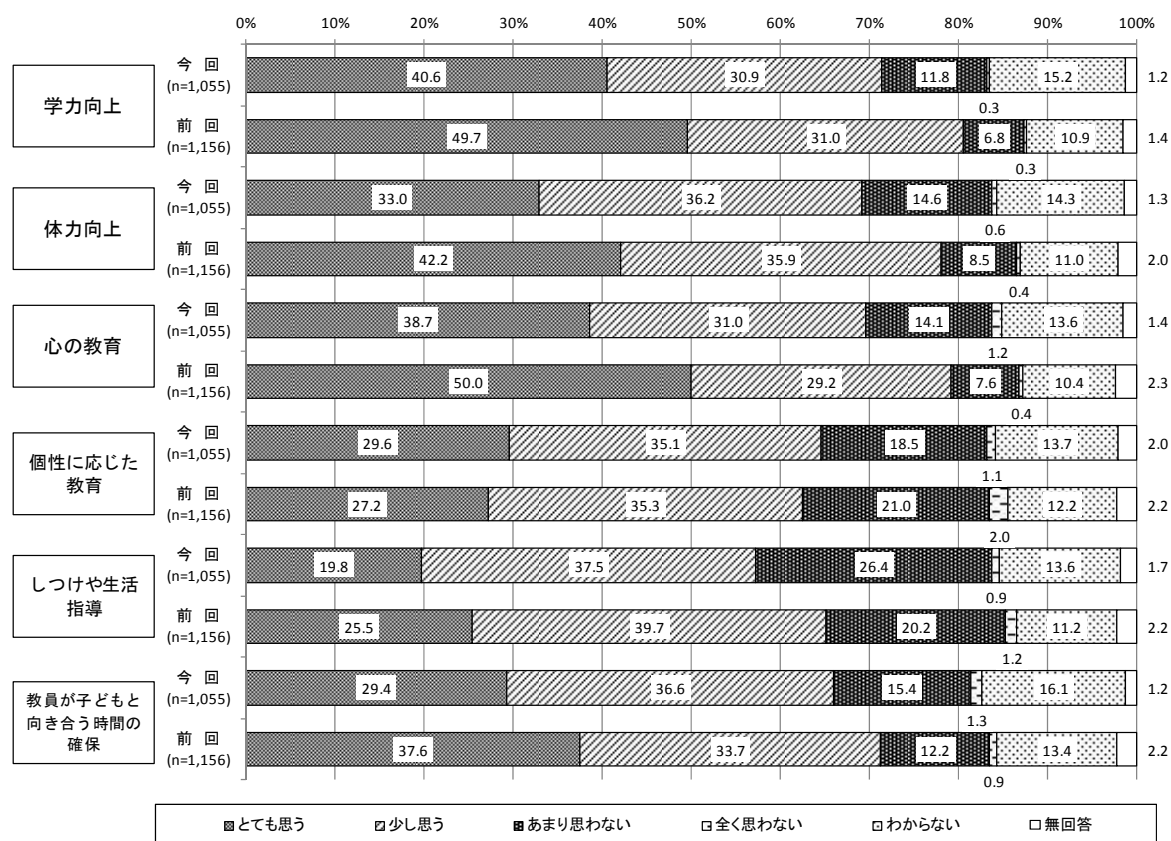
問 13 北区の公立学校は、以下の項目についてもっと力を入れるべきだと思いますか。(それぞれの項目で○は1つ)

①全体

力を入れるべきだと思う割合(「とても思う」+「少し思う」)は、「学力向上(基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成)」で7割となっています。

前回調査と比較すると、「個性に応じた教育」を除いて力を入れるべきだと思う割合が低くなっています。

図 北区の公立学校が力を入れるべきこと(全体)

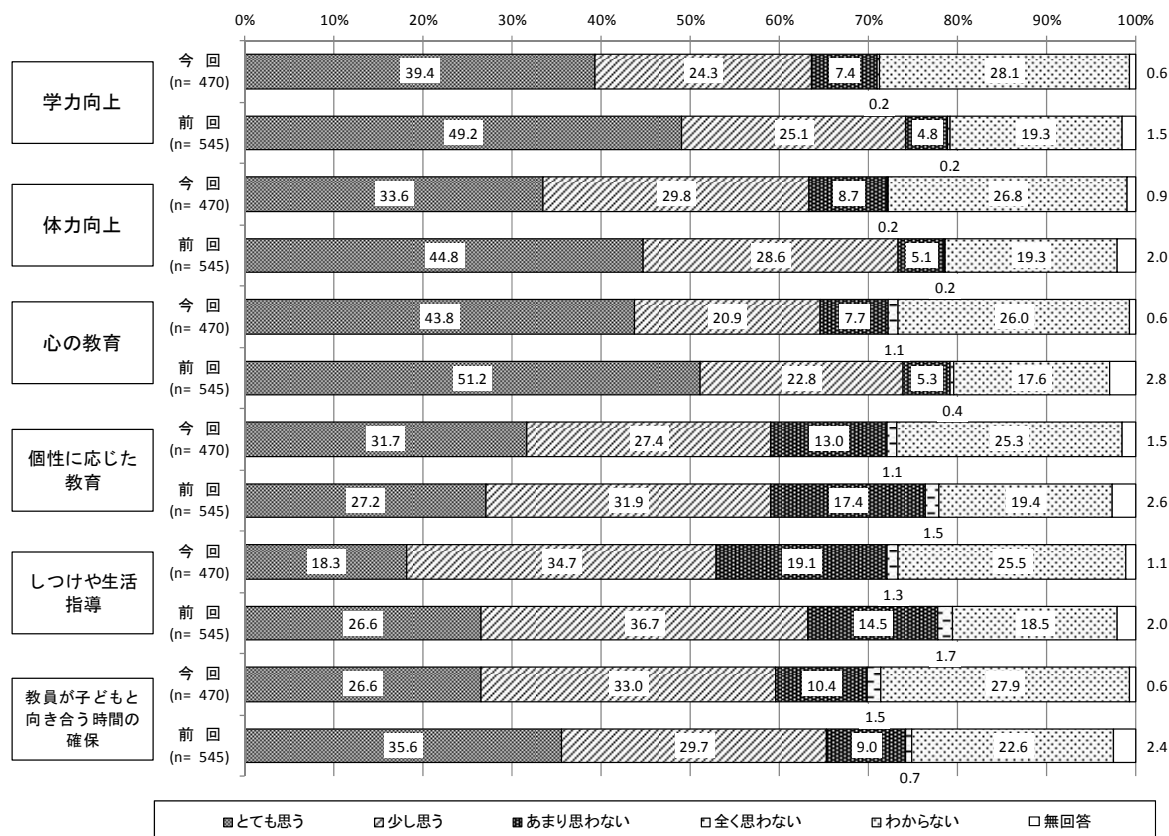


②就学前

力を入れるべきだと思う割合（「とても思う」＋「少し思う」）は、「学力向上（基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成）」「体力向上（体育・健康に関する指導の充実）」「心の教育（道徳教育や人権教育を通じた豊かな心の育成）」で6割を超えています。

前回調査と比較すると、「個性に応じた教育」を除いて力を入れるべきだと思う割合が低くなっています。

図 北区の公立学校が力を入れるべきこと（就学前）

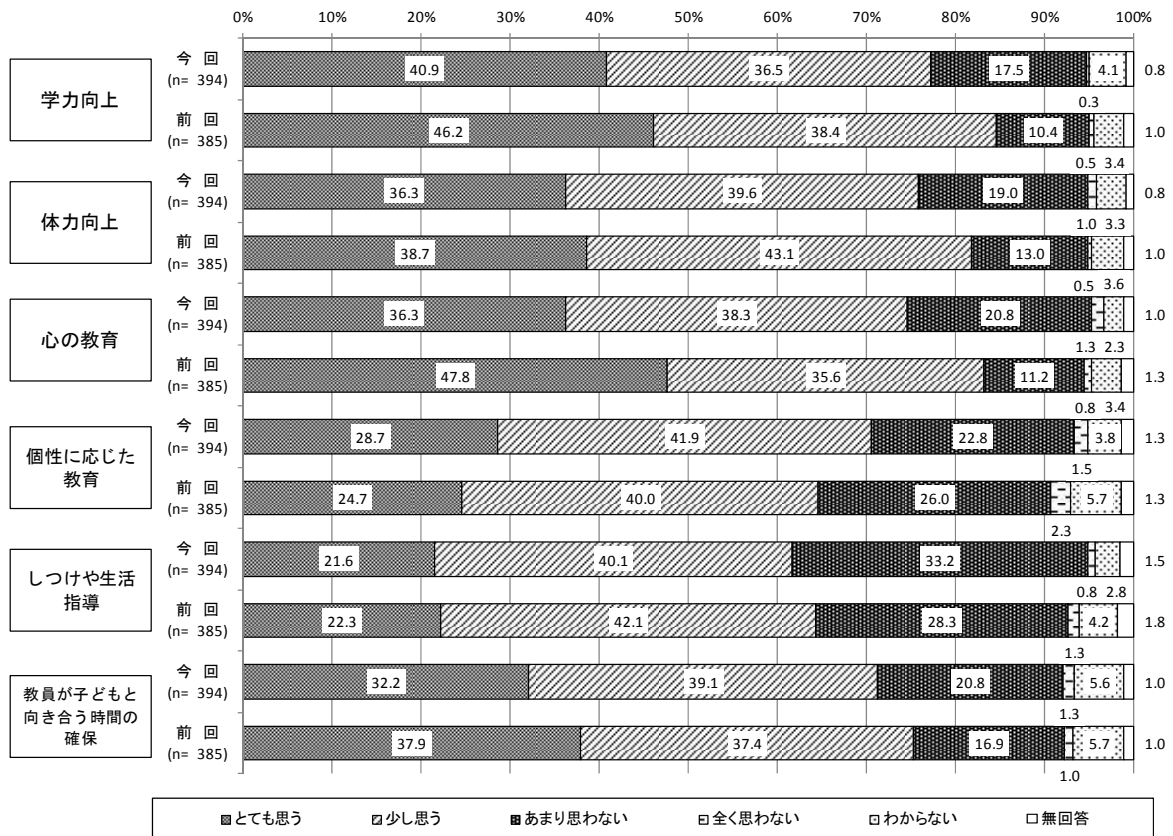


③小学校

力を入れるべきだと思う割合（「とても思う」＋「少し思う」）は、「学力向上（基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成）」「体力向上（体育・健康に関する指導の充実）」「心の教育（道徳教育や人権教育を通じた豊かな心の育成）」「個性に応じた教育」「教員が子どもと向き合う時間の確保」で7割を超えています。

前回調査と比較すると、「個性に応じた教育」は力を入れるべきだと思う割合が高くなっています。

図 北区の公立学校が力を入れるべきこと（小学校）

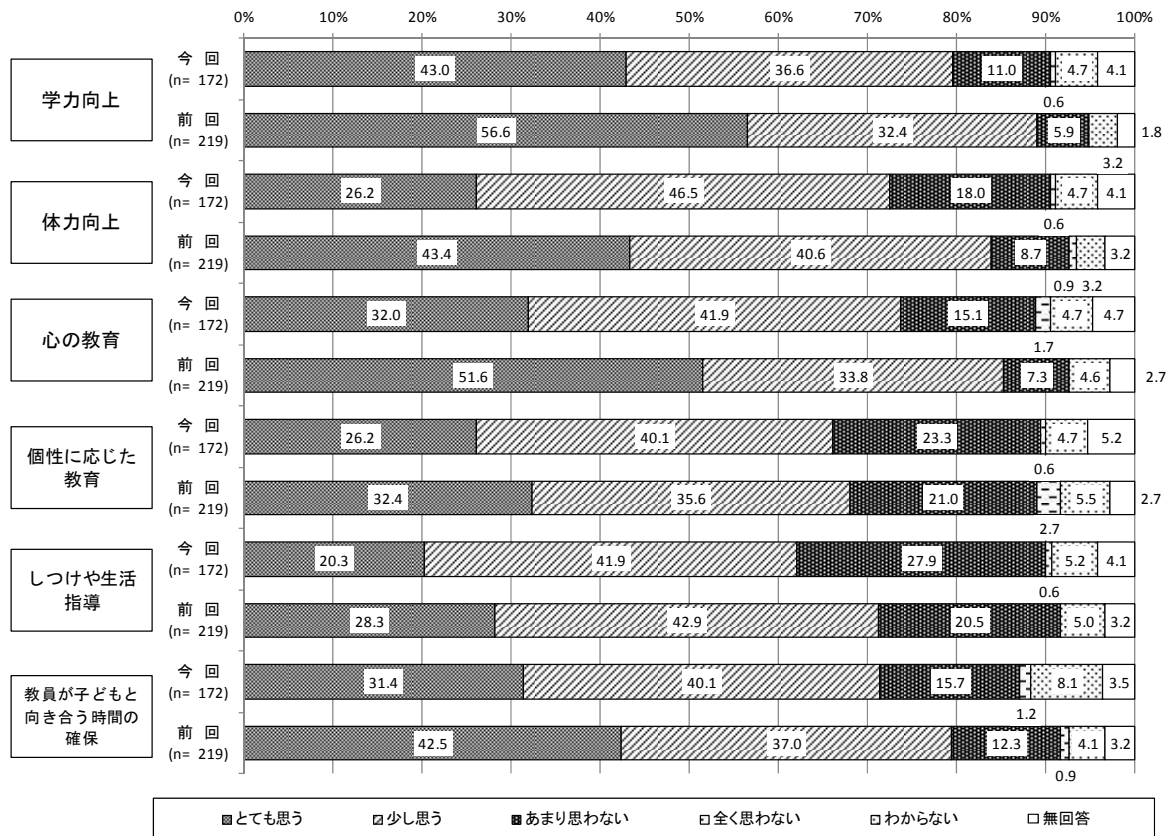


④中学校

力を入れるべきだと思う割合（「とても思う」＋「少し思う」）は、「学力向上（基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成）」「体力向上（体育・健康に関する指導の充実）」「心の教育（道徳教育や人権教育を通じた豊かな心の育成）」「教員が子どもと向き合う時間の確保」で7割を超えています。

前回調査と比較すると、どの項目も力を入れるべきだと思う割合が低くなっています（ただし、「個性に応じた教育」については微減）。

図 北区の公立学校が力を入れるべきこと（中学校）



(2) 北区の公立学校が保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力

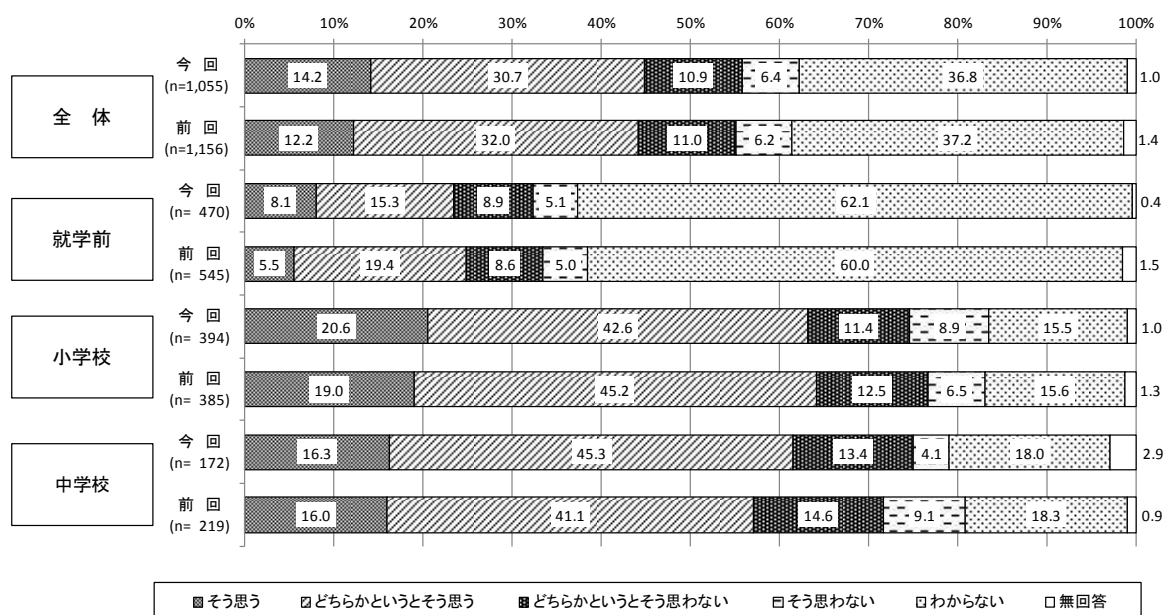
問 14 北区の公立学校は、保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力を積極的に行っていると思いますか。(〇は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 14.2%、「どちらかというと思う」が 30.7%で、合わせて 44.9%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 23.4%、小学校では 63.2%、中学校では 61.6%で、就学前が低くなっています。

前回調査と比較すると、中学校では、積極的に行っていると思う割合がやや高くなっています。

図 北区の公立学校が保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力



(3) 北区の公立学校の教育に求めるもの

問 15 あなたが北区の公立学校の教育に求めるものは何ですか。(〇は3つまで)

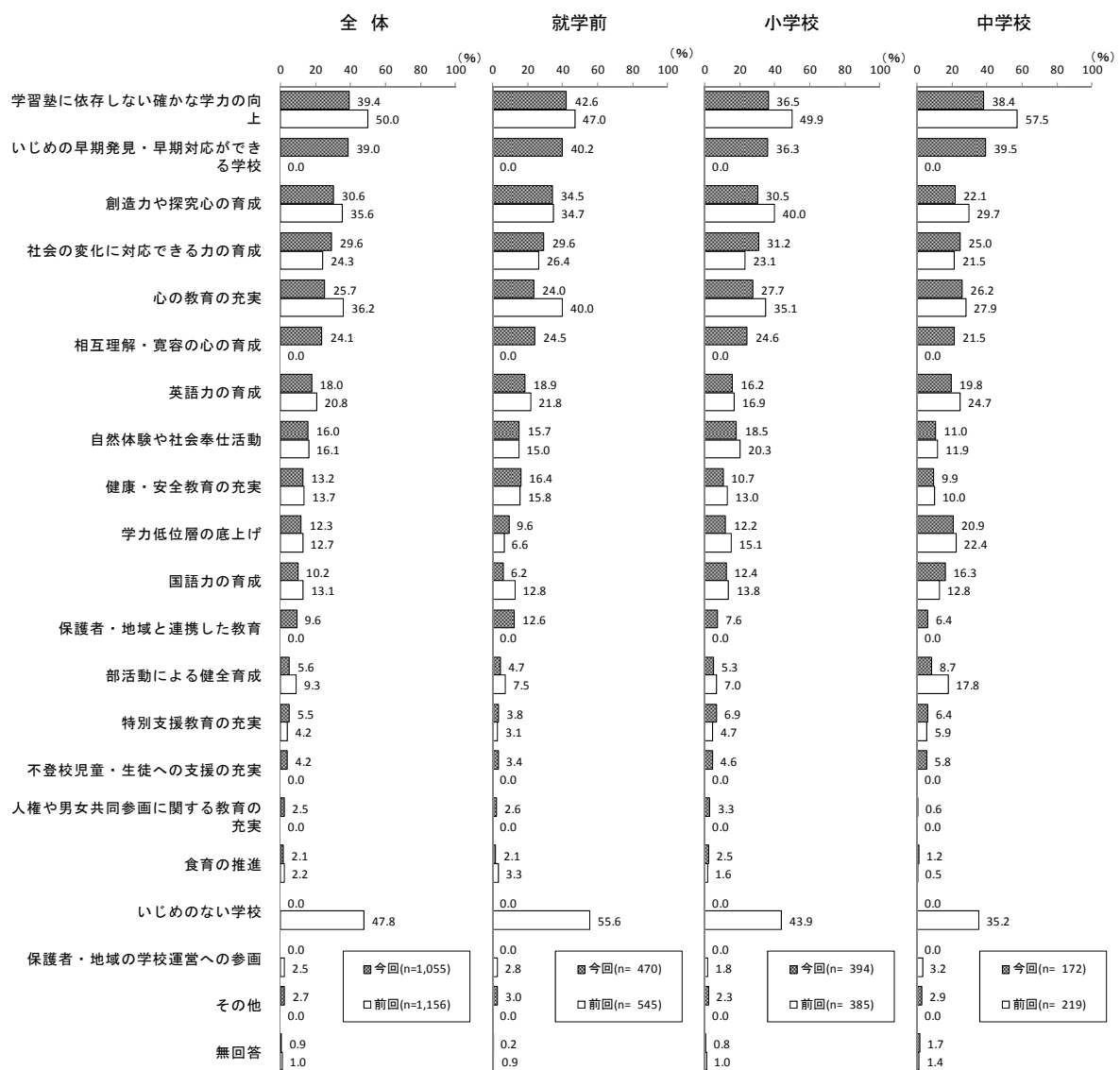
全体では、「学習塾に依存しない確かな学力の向上」が 39.4%と最も高く、次いで「いじめの早期発見・早期対応ができる学校」が 39.0%、「創造力や探究心の育成」が 30.6%となっています。

「その他」の回答には、『習熟度別の学習』、『道徳教育』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「学習塾に依存しない確かな学力の向上」「いじめの早期発見・早期対応ができる学校」は就学前が高くなっています。「創造力や探究心の育成」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

前回調査と比較すると、選択肢の項目数が異なるため単純に比較することはできませんが、どの就学先も「学習塾に依存しない確かな学力の向上」が低くなっています。小学校では、「創造力や探究心の育成」「心の教育の充実」も低くなっています。

図 16 北区の公立学校の教育に求めるもの



(4) 北区の公立学校の取り組みの認知度・満足度

問 16 北区の公立学校では、以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。(それぞれの項目に○は1つ)

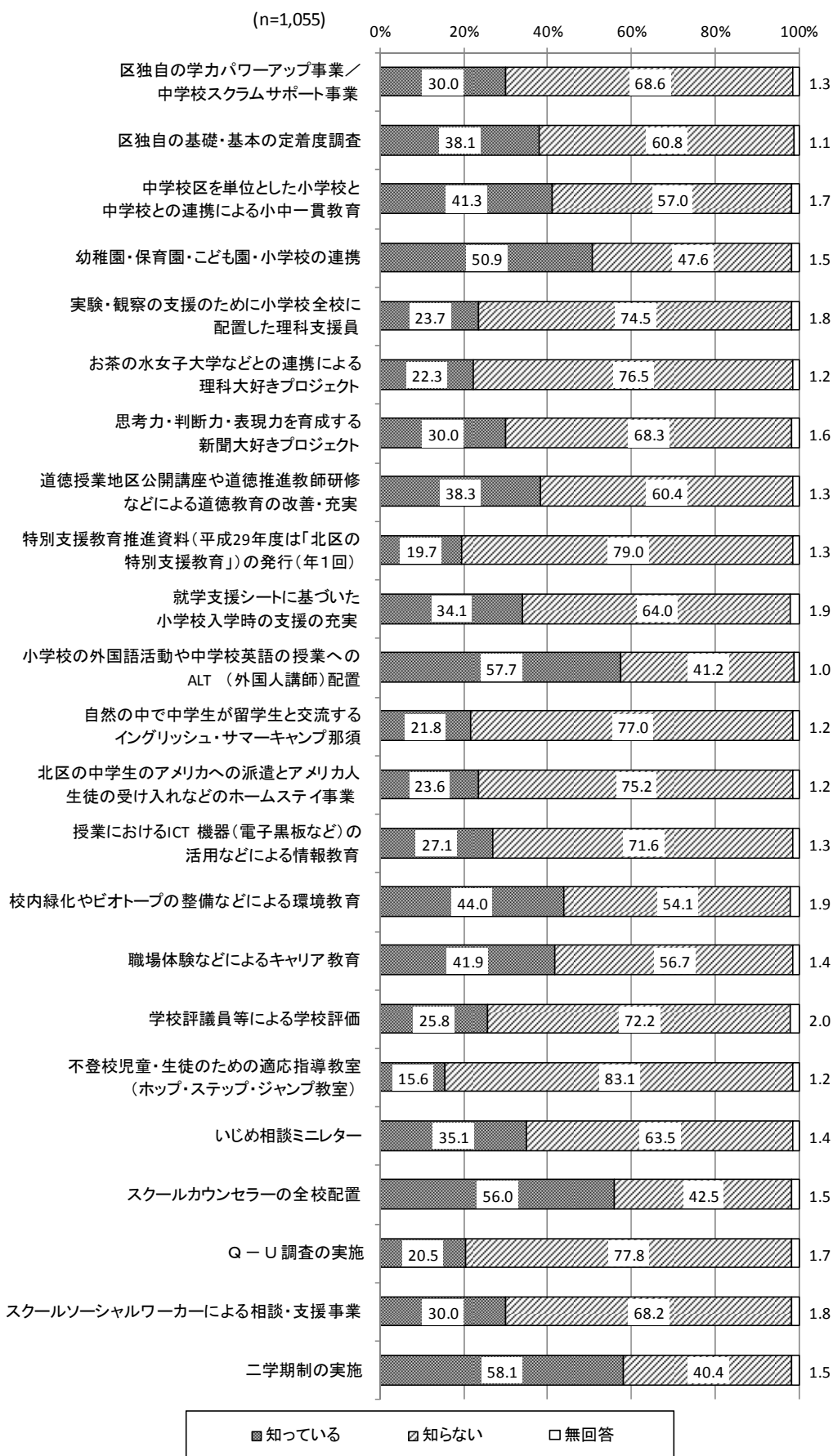
①全体

ア. 認知度

「知っている」は「二学期制の実施」が58.1%と最も高く、次いで「小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置」が57.7%、「スクールカウンセラーの全校配置」が56.0%となっています。

一方、「知らない」は「不登校児童・生徒のための適応指導教室（ホップ・ステップ・ジャンプ教室）」が83.1%と最も高く、次いで「特別支援教育推進資料（平成29年度は「北区の特別支援教育」の発行（年1回）」が79.0%、「Q-U調査の実施」が77.8%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの認知度（全体）

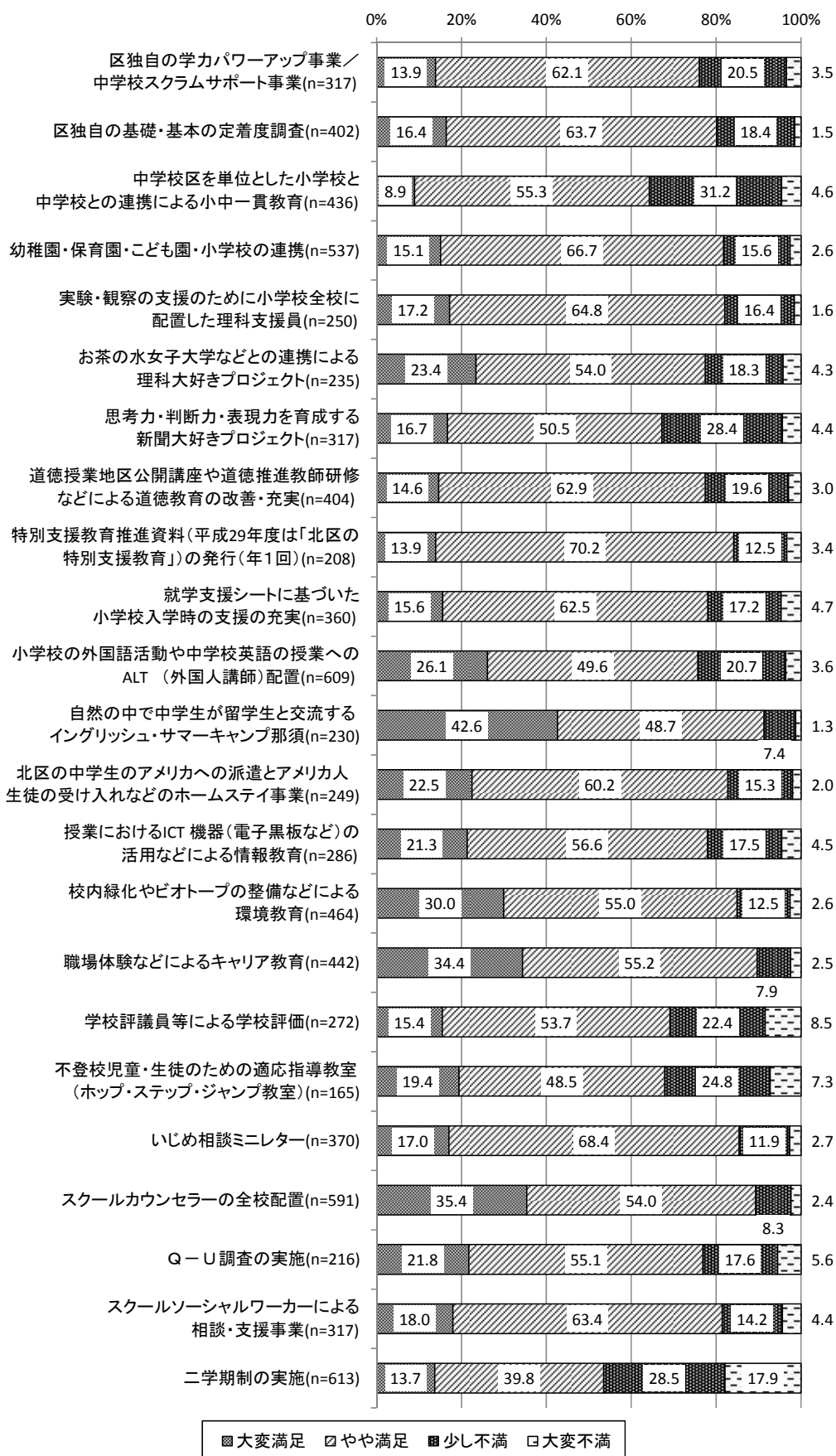


イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「自然の中で中学生が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須」が 91.3%と最も高く、次いで「職場体験などによるキャリア教育」が 89.6%、「スクールカウンセラーの全校配置」が 89.4%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が 46.4%と最も高く、次いで「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」が 35.8%、「思考力・判断力・表現力を育成する新聞大好きプロジェクト」が 32.8%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの満足度（全体）



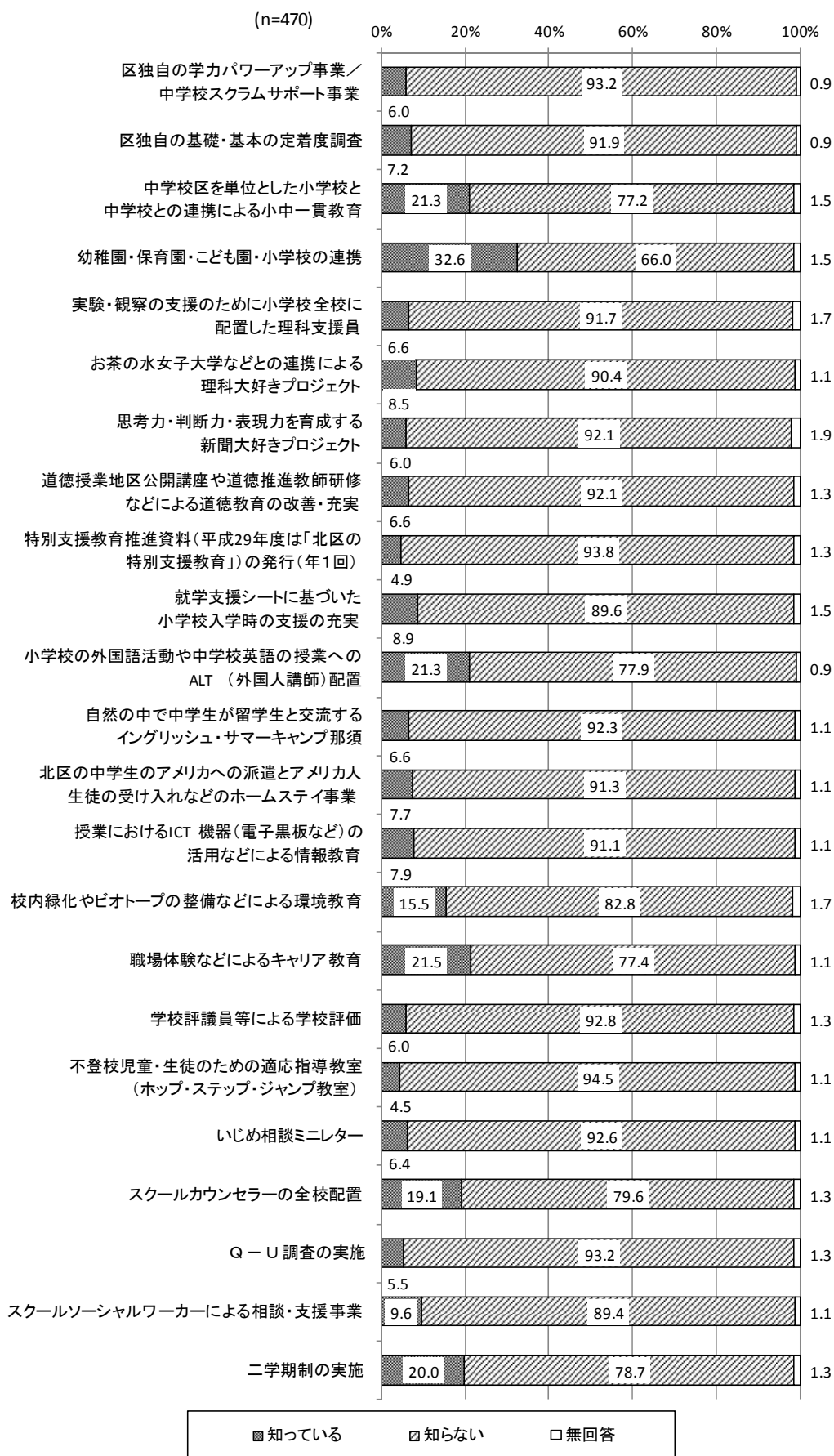
②就学前

ア. 認知度

「知っている」は「幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携」が32.6%と最も高く、次いで「職場体験などによるキャリア教育」が21.5%、「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」「小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置」が21.3%となっています。

一方、「知らない」は「不登校児童・生徒のための適応指導教室（ホップ・ステップ・ジャンプ教室）」が94.5%と最も高く、次いで「特別支援教育推進資料（平成29年度は「北区の特別支援教育」）の発行（年1回）」が93.8%、「区独自の学力パワーアップ事業／中学校スクラムサポート事業」「Q-U調査の実施」が93.2%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの認知度（就学前）

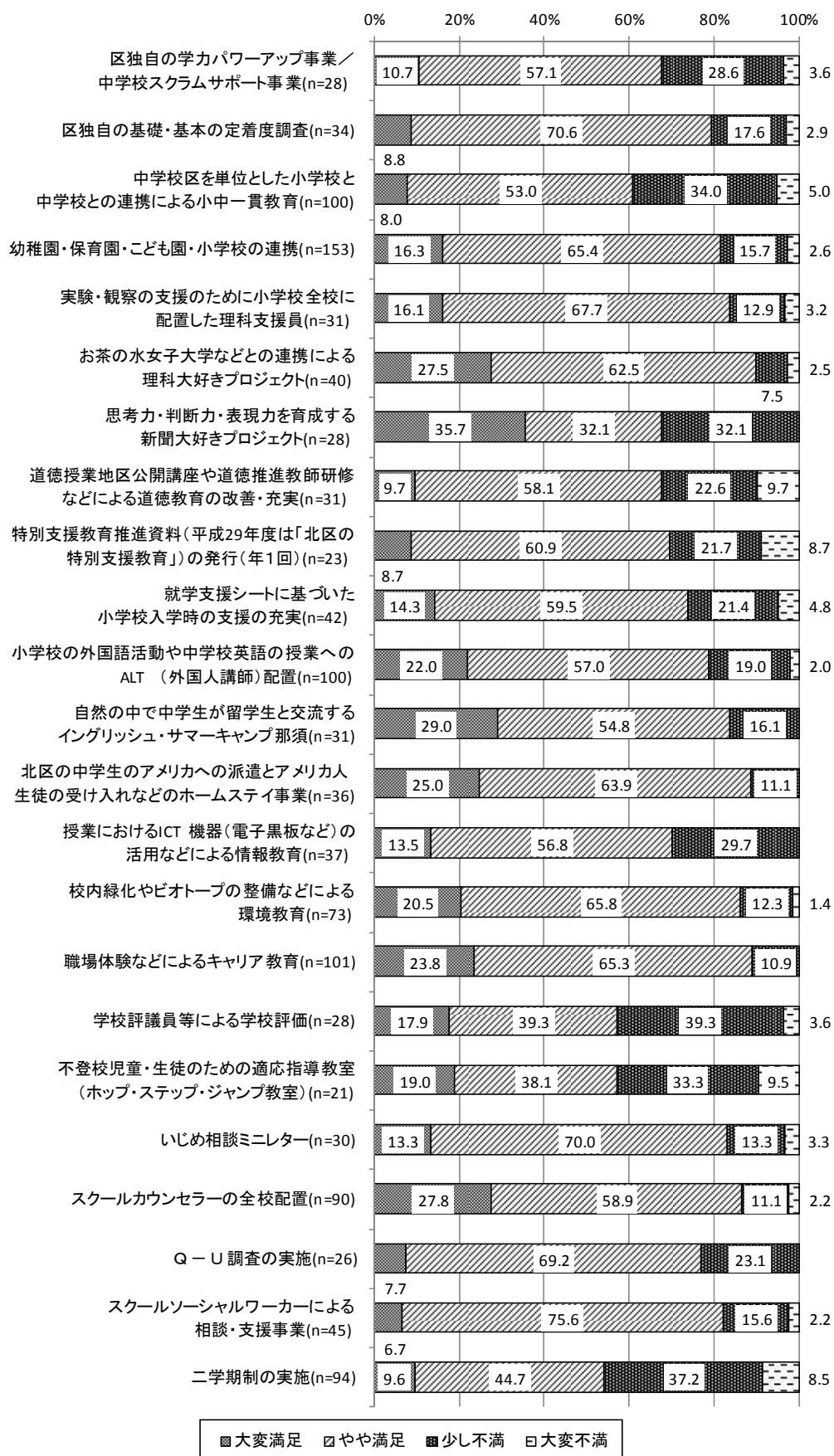


イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「お茶の水女子大学などとの連携による理科大好きプロジェクト」が90.0%と最も高く、次いで「職場体験などによるキャリア教育」が89.1%、「北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業」が88.9%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が45.7%と最も高く、次いで「学校評議員等による学校評価」が42.9%、「不登校児童・生徒のための適応指導教室（ホップ・ステップ・ジャンプ教室）」が42.8%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの満足度（就学前）



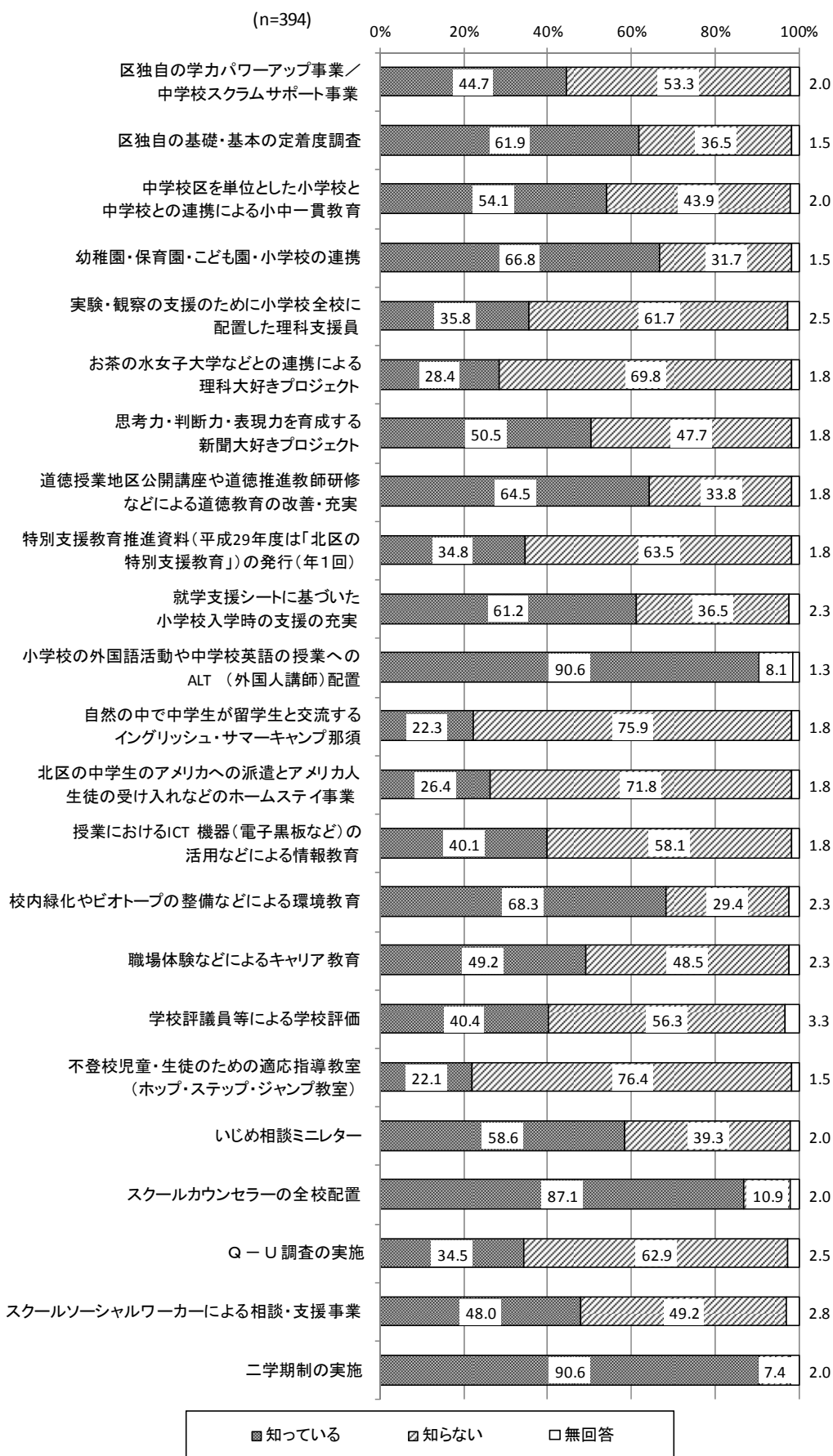
③小学校

ア. 認知度

「知っている」は「小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置」「二学期制の実施」が90.6%と最も高く、次いで「スクールカウンセラーの全校配置」が87.1%となっています。

一方、「知らない」は「不登校児童・生徒のための適応指導教室（ホップ・ステップ・ジャンプ教室）」が76.4%と最も高く、次いで「自然の中で中学生が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須」が75.9%、「北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業」が71.8%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの認知度（小学校）

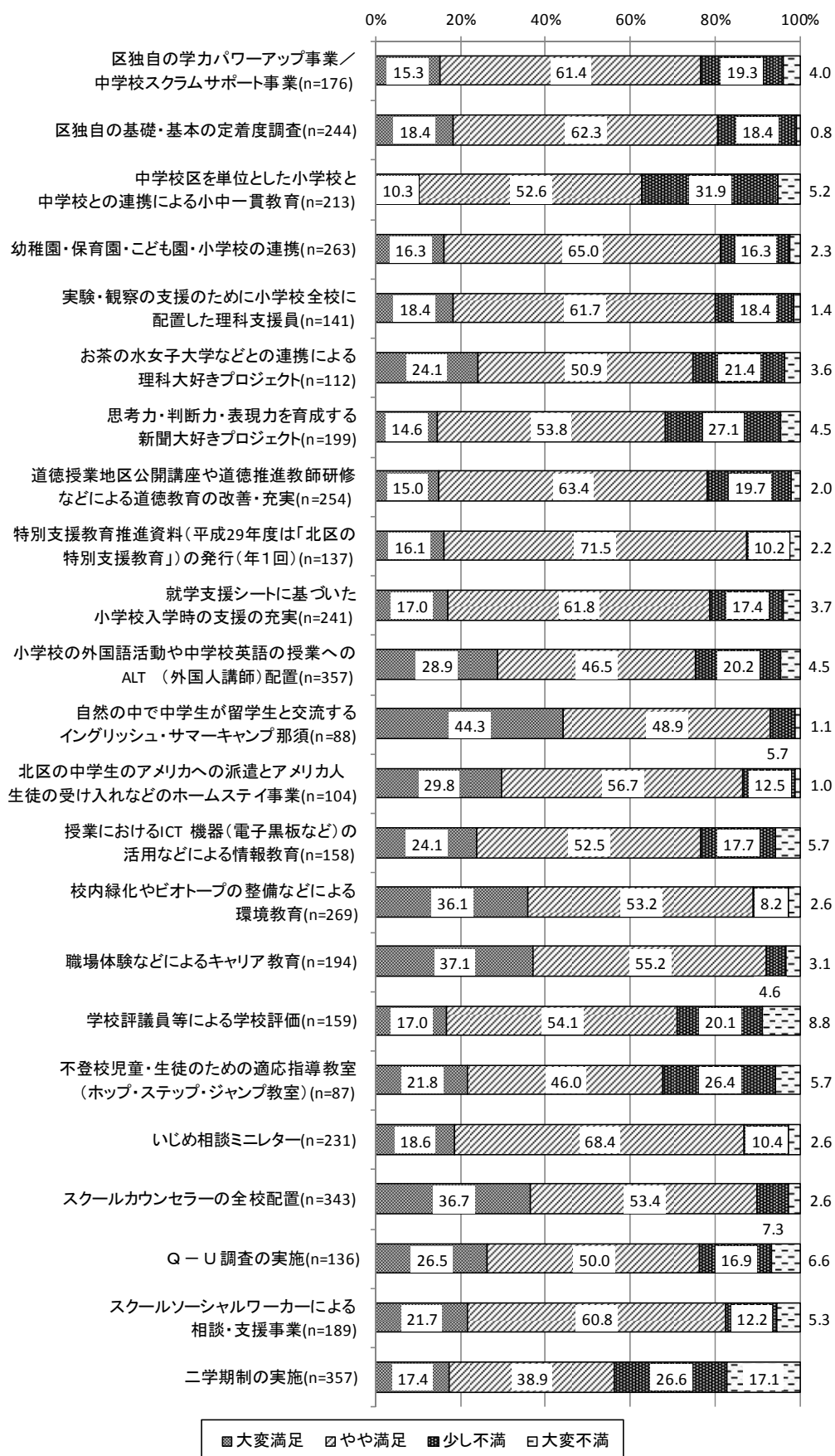


イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「自然の中で中学生在が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須」が93.2%と最も高く、次いで「職場体験などによるキャリア教育」が92.3%、「スクールカウンセラーの全校配置」が90.1%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が43.7%と最も高く、次いで「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」が37.1%、「不登校児童・生徒のための適応指導教室（ホップ・ステップ・ジャンプ教室）」が32.1%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの満足度（小学校）



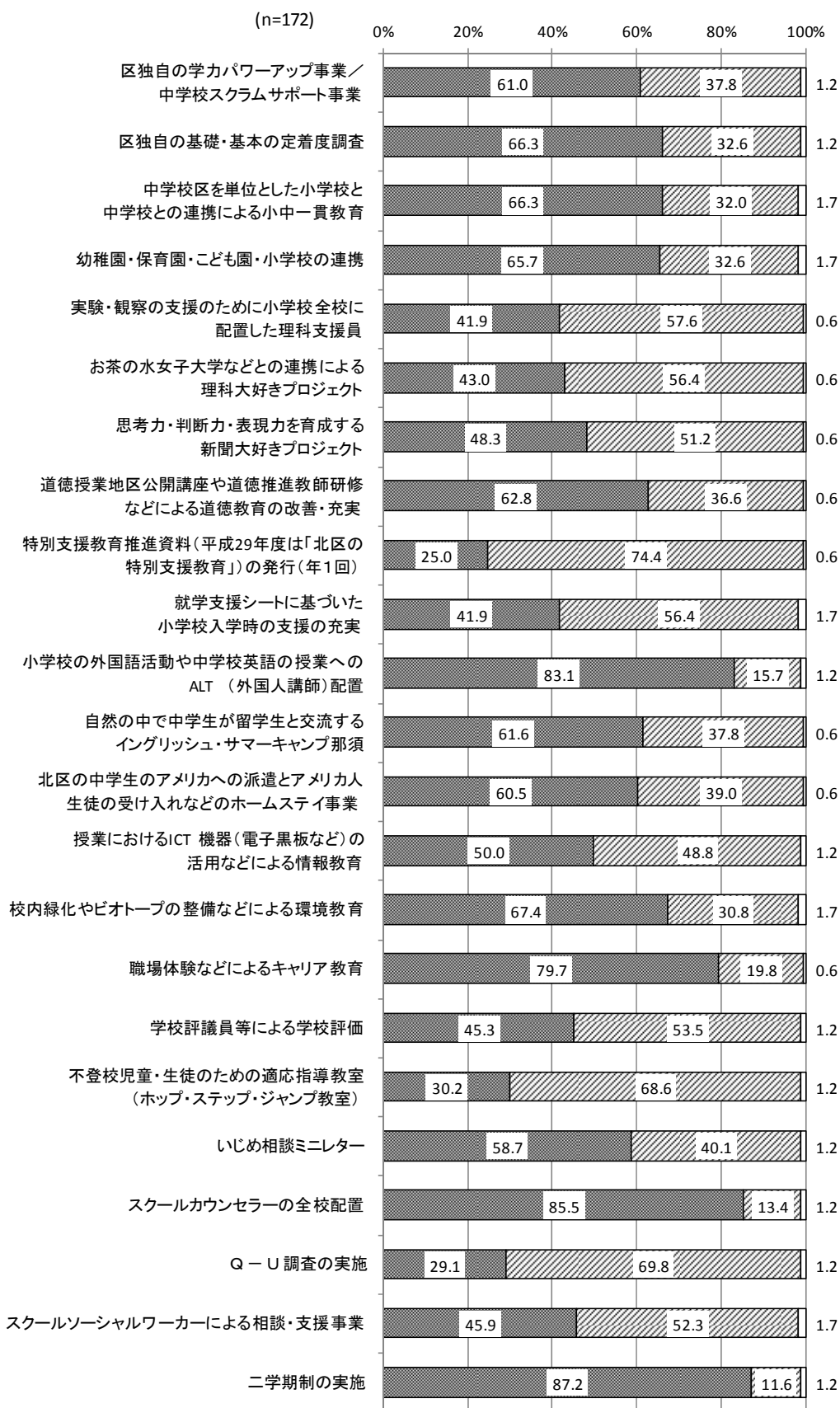
④中学校

ア. 認知度

「知っている」は「二学期制の実施」が87.2%と最も高く、次いで「スクールカウンセラーの全校配置」が85.5%、「小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置」が83.1%となっています。

一方、「知らない」は「特別支援教育推進資料（平成29年度は「北区の特別支援教育」）の発行（年1回）」が74.4%と最も高く、次いで「Q-U調査の実施」が69.8%、「不登校児童・生徒のための適応指導教室（ホップ・ステップ・ジャンプ教室）」が68.6%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの認知度（中学校）



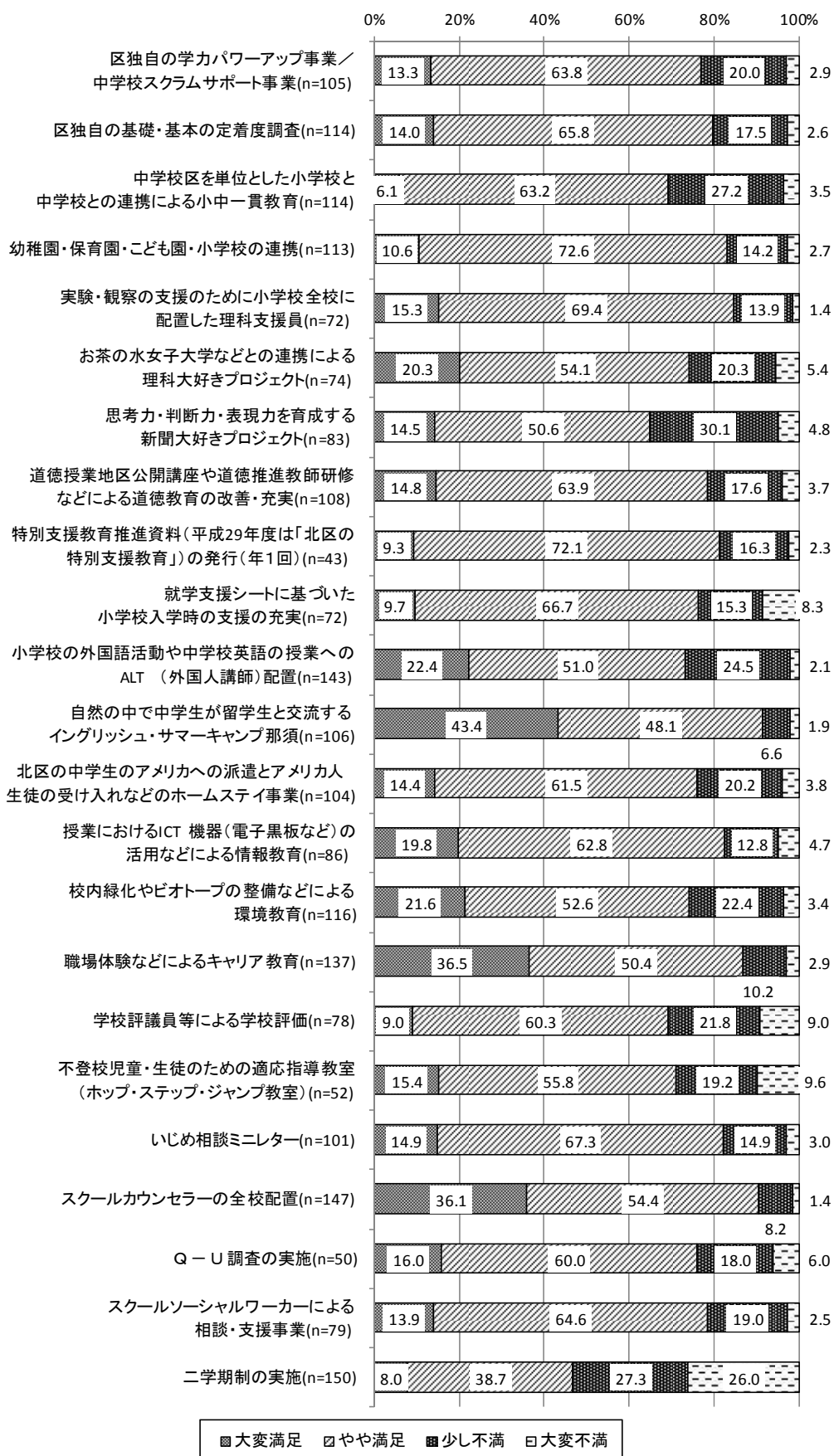
■ 知っている □ 知らない □ 無回答

イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「自然の中で中学生が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須」が91.5%と最も高く、次いで「スクールカウンセラーの全校配置」が90.5%、「職場体験などによるキャリア教育」が86.9%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が53.3%と最も高く、次いで「思考力・判断力・表現力を育成する新聞大好きプロジェクト」が34.9%、「学校評議員等による学校評価」が30.8%となっています。

図 北区の公立学校の取り組みの満足度（中学校）



(5) 子どもが「生きる力」を身に付けるために学校教育で育てるべきこと

問17 子どもが「生きる力」を身に付けるために、学校教育において育てるべきだと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

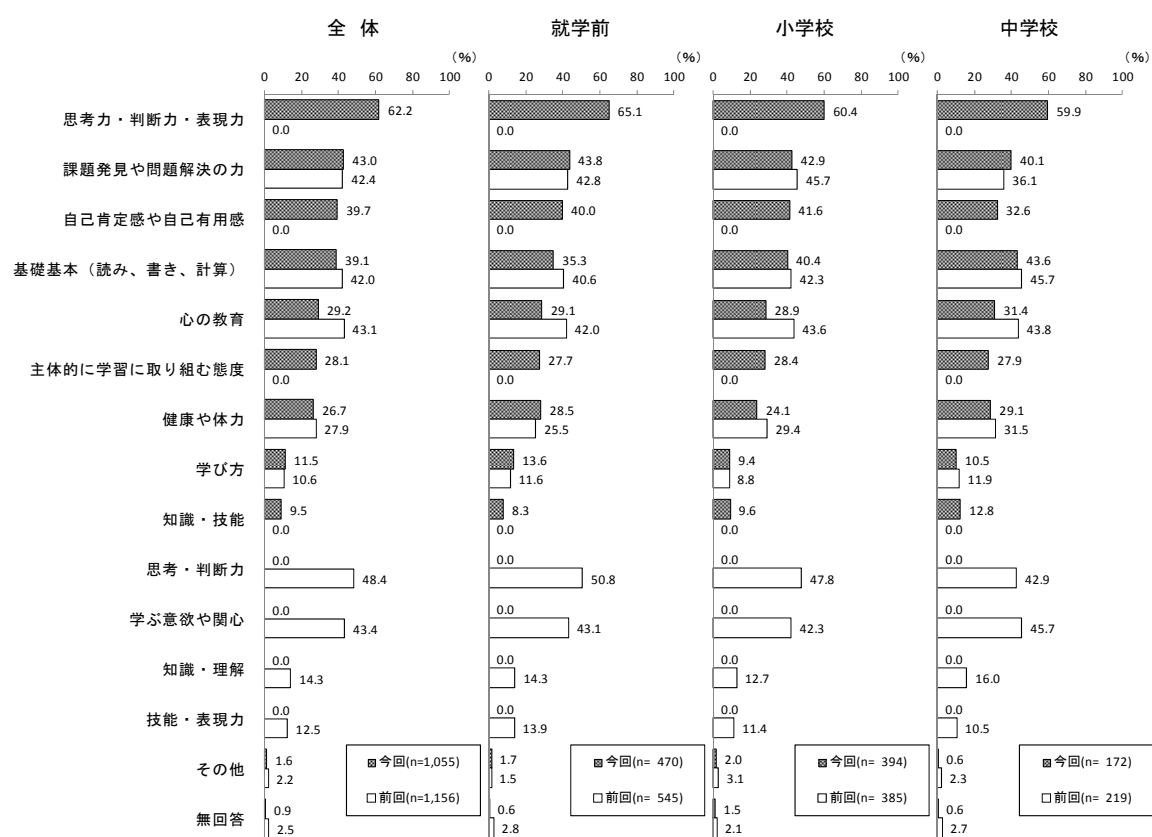
全体では、「思考力・判断力・表現力」が62.2%と最も高く、次いで「課題発見や問題解決の力」が43.0%、「自己肯定感や自己有用感」が39.7%となっています。

「その他」の回答には、『個性の尊重』、『自然体験の充実』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「自己肯定感や自己有用感」は中学校が就学前、小学校より低くなっています。「基礎基本（読み、書き、計算）」は就学先が上がるにつれて高くなっています。

前回調査と比較すると、「心の教育」が低くなっています。また、小学校では「健康や体力」が低くなっています。

図 子どもが「生きる力」を身に付けるために学校教育で育てるべきこと



(6) 学校の評価

問 18 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

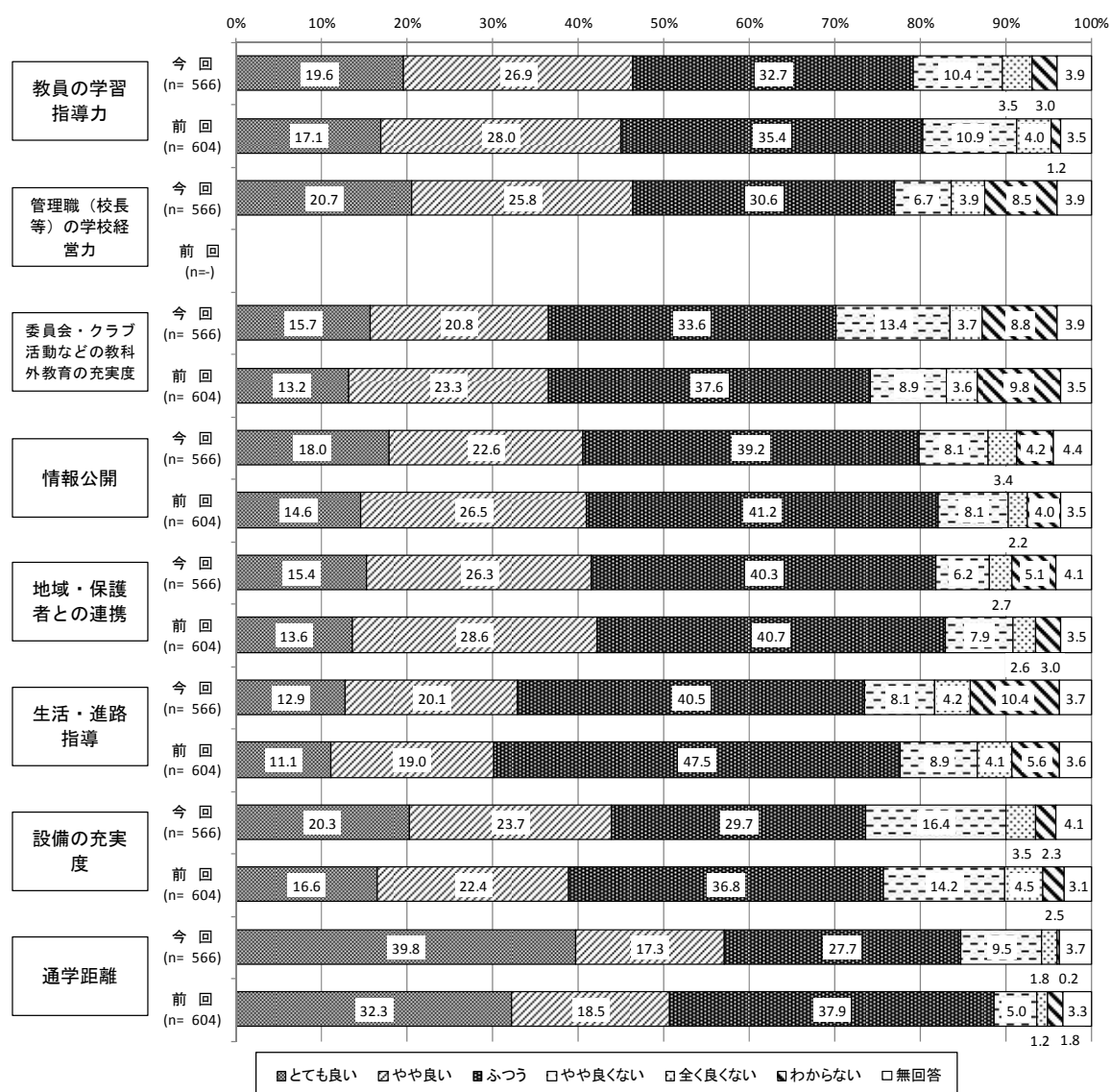
封筒の宛名のお子さんが通っている学校に関して、次の項目をどの程度評価できますか。
(それぞれの項目で○は1つ)

①小・中学校

『良い』（「とても良い」＋「やや良い」）という回答は、「通学距離」が5割台、「教員の学習指導力」「管理職（校長等）の学校経営力」「情報公開」「地域・保護者との連携」「設備の充実度」が4割台となっています。

前回調査と比較すると、選択肢の項目の内容が一部異なるため単純に比較することはできませんが、「設備の充実度」「通学距離」では『良い』が高くなっています。

図 学校の評価（小・中学校）

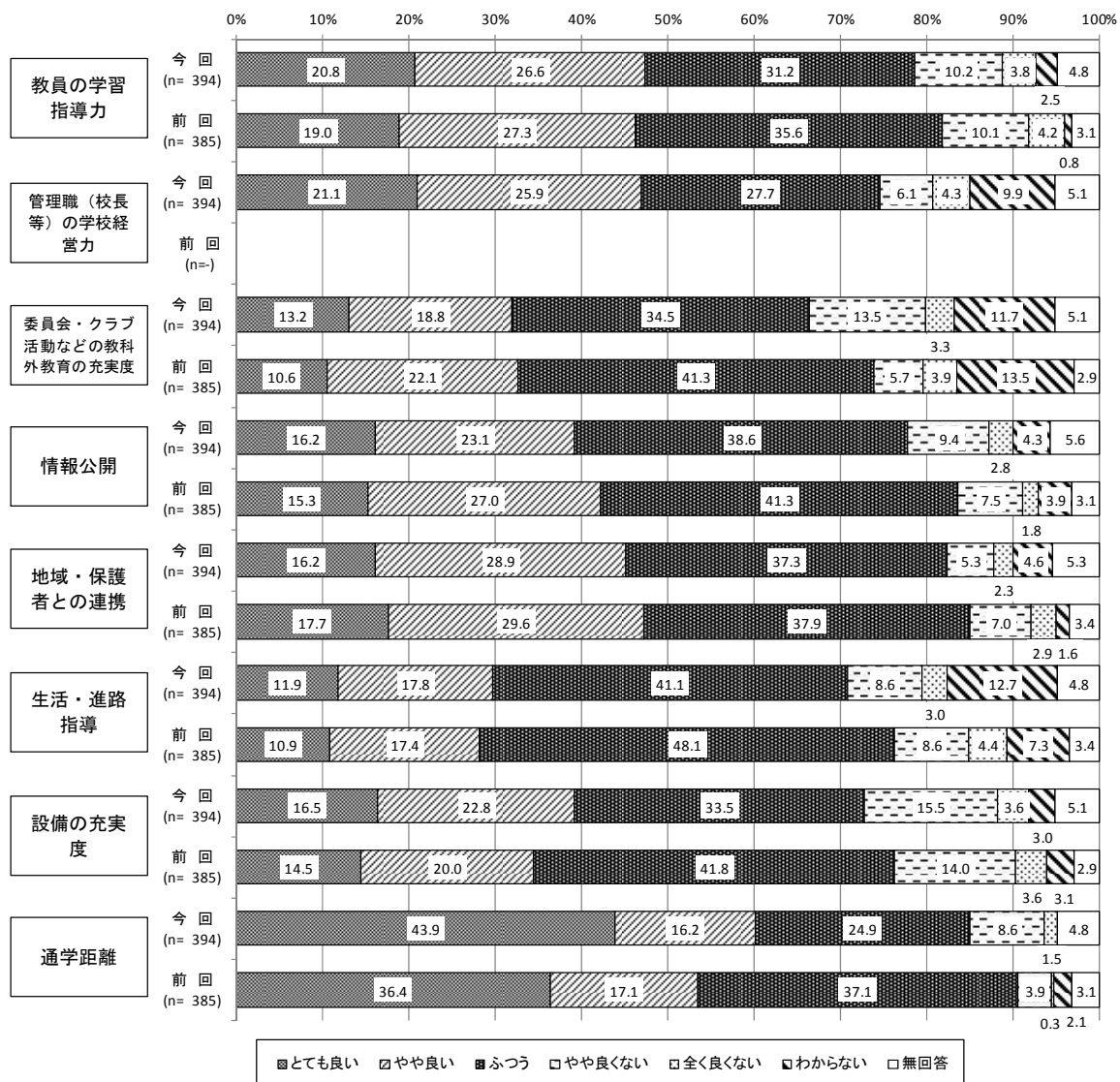


②小学校

『良い』（「とても良い」＋「やや良い」）という回答は、「通学距離」が6割、「教員の学習指導力」「管理職（校長等）の学校経営力」「地域・保護者との連携」が4割台となっています。

前回調査と比較すると、選択肢の項目の内容が一部異なるため単純に比較することはできませんが、「設備の充実度」では『良い』がやや高くなっています。

図 学校の評価（小学校）

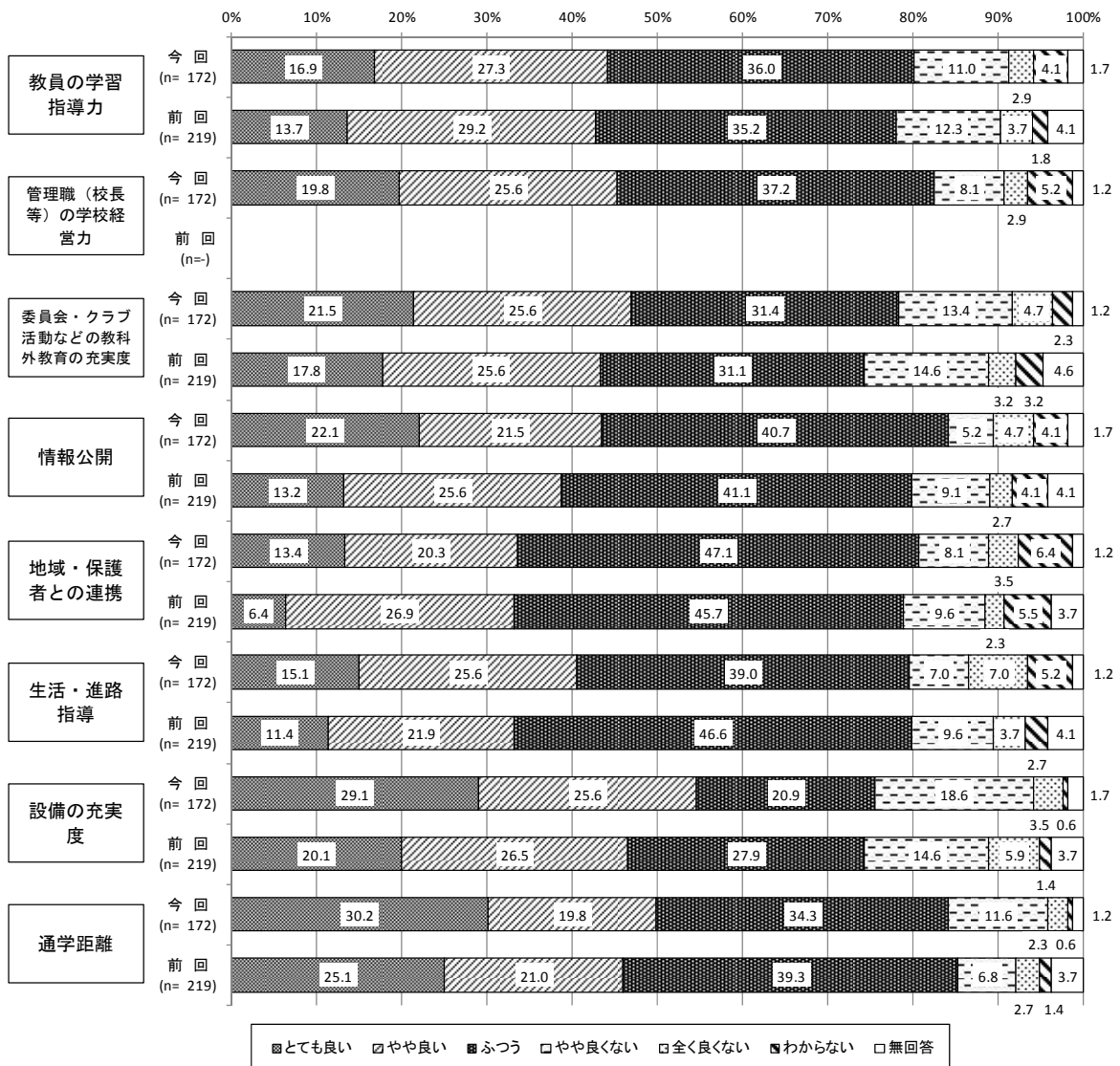


③中学校

『良い』（「とても良い」＋「やや良い」）という回答は、「設備の充実度」「通学距離」が5割台となっています。

前回調査と比較すると、選択肢の項目の内容が一部異なるため単純に比較することはできませんが、「生活・進路指導」「設備の充実度」では『良い』が高く、「ふつう」が低くなっています。

図 学校の評価（中学校）



(7) 教員の評価

問 19 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

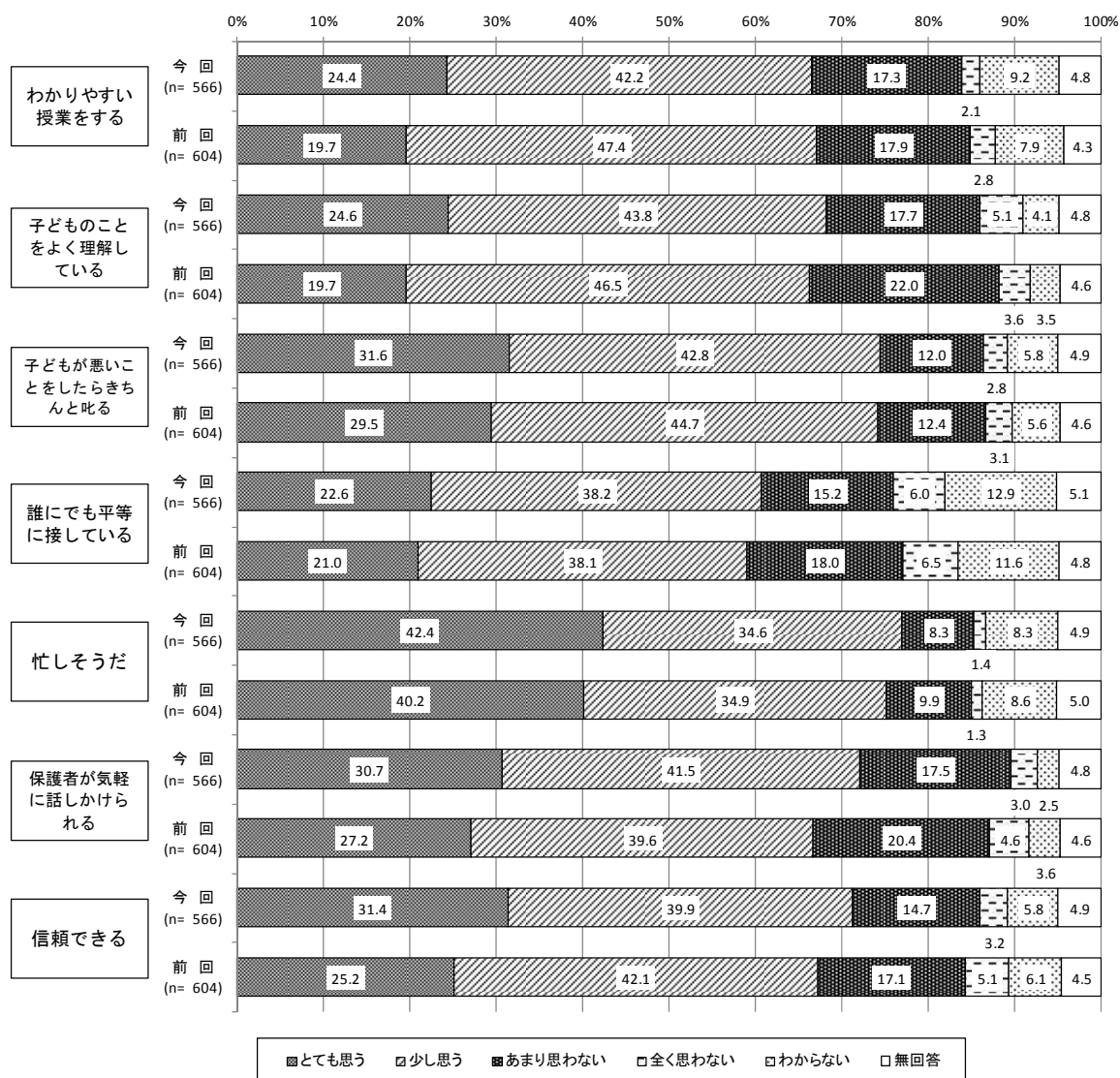
封筒の宛名のお子さんが通っている学校の教員について、総じて次の項目をどう思いますか。(それぞれの項目で○は1つ)

①小・中学校

『思う』（「とても思う」＋「少し思う」）という回答は、「子どもが悪いことをしたらきちんと叱る」「忙しそうだ」「保護者が気軽に話しかけられる」「信頼できる」が7割台となっています。

前回調査と比較すると、「保護者が気軽に話しかけられる」は、『思う』の割合が高くなっています。

図 教員の評価（小・中学校）

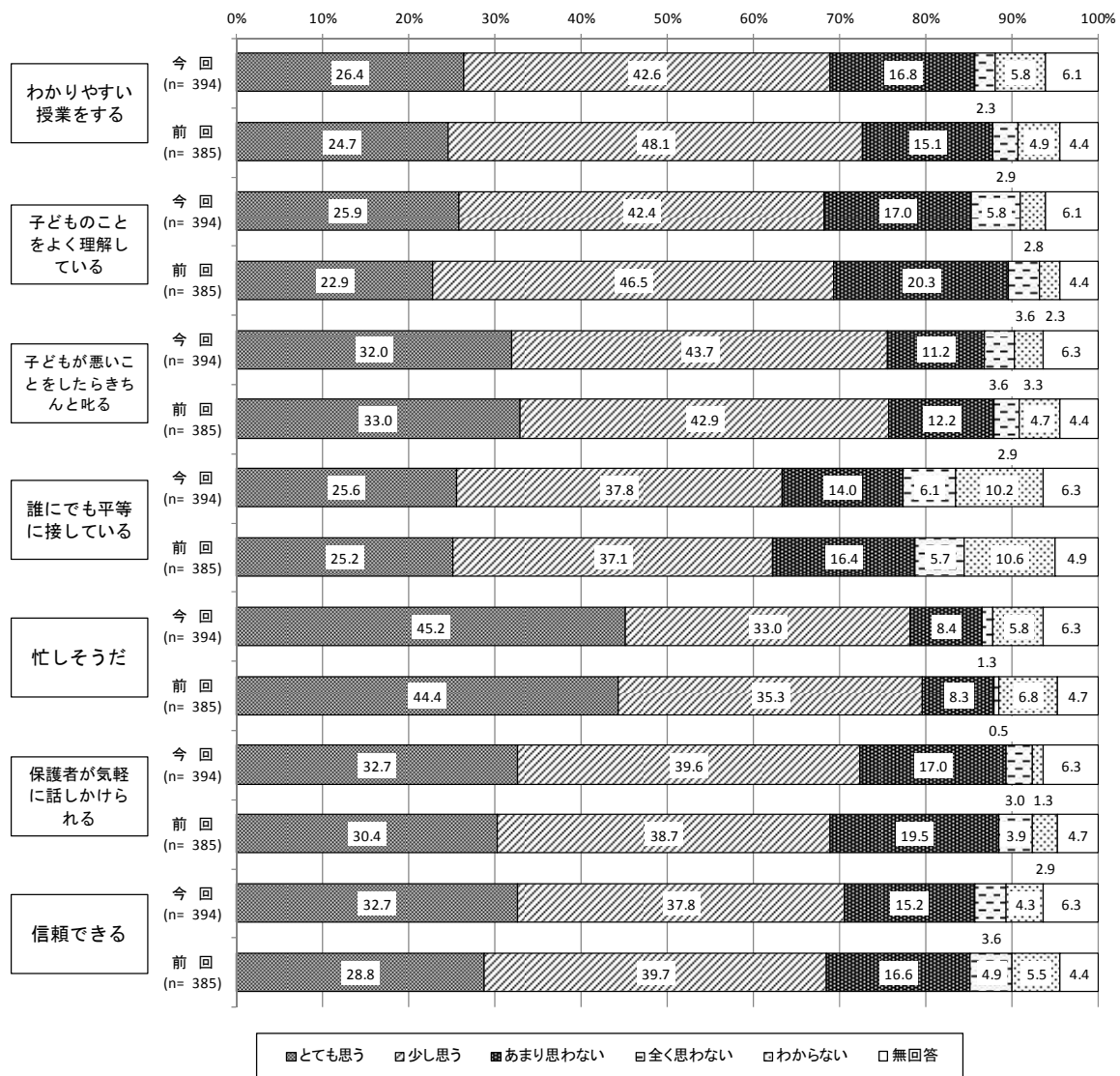


②小学校

『思う』（「とても思う」＋「少し思う」）という回答は、「子どもが悪いことをしたらきちんと叱る」「忙しそうだ」「保護者が気軽に話しかけられる」「信頼できる」が7割を超えています。

前回調査と比較すると、「わかりやすい授業をする」では『思う』がやや低くなっています。

図 教員の評価（小学校）

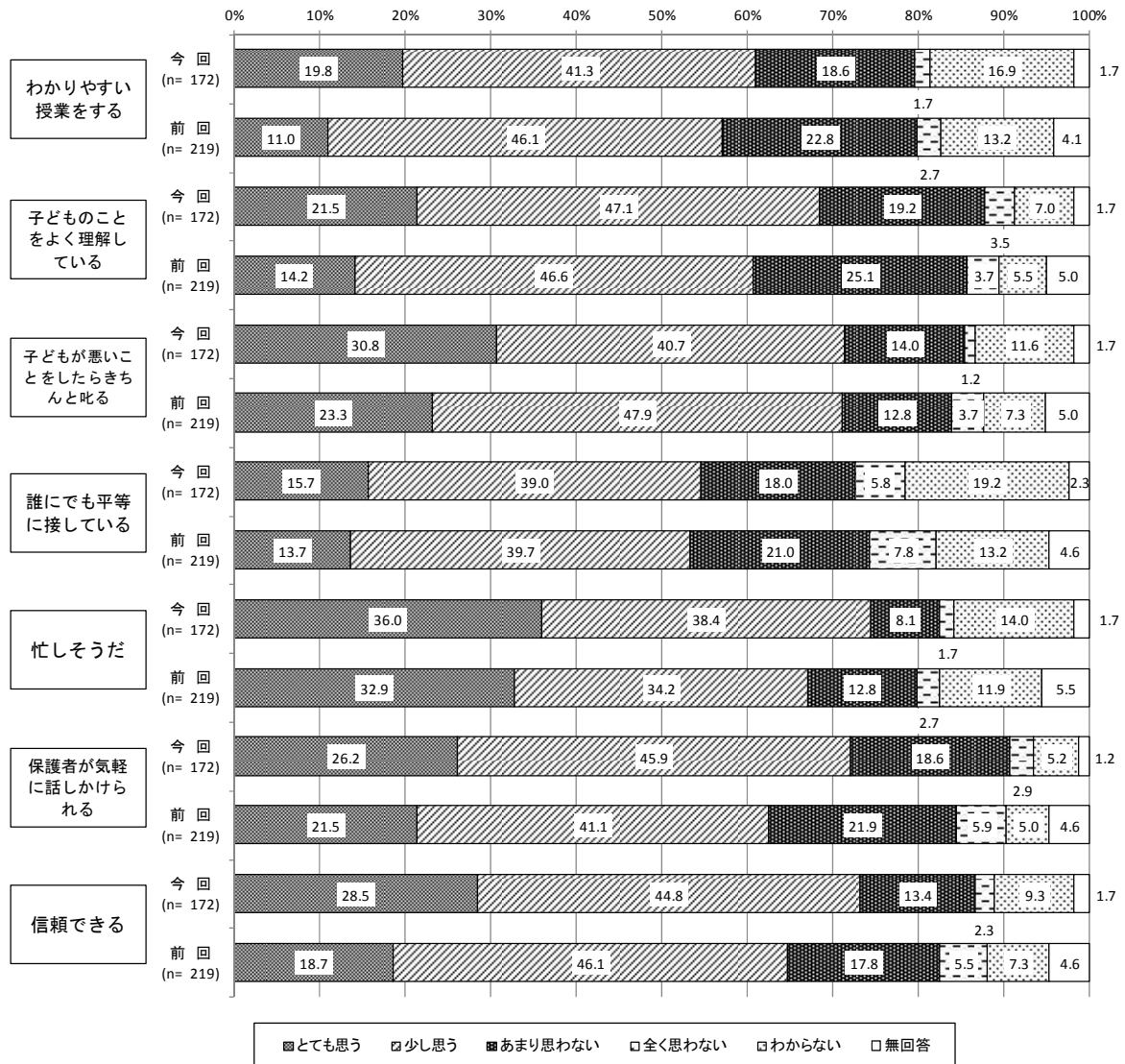


③中学校

『思う』（「とても思う」＋「少し思う」）という回答は、「子どもが悪いことをしたらきちんと叱る」「忙しそうだ」「保護者が気軽に話しかけられる」「信頼できる」が7割を超えています。

前回調査と比較すると、「保護者が気軽に話しかけられる」「信頼できる」「子どものことをよく理解している」「忙しそうだ」は、『思う』が高くなっています。

図 教員の評価（中学校）



(8) 子どもの学校図書館の利用内容

問 20 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

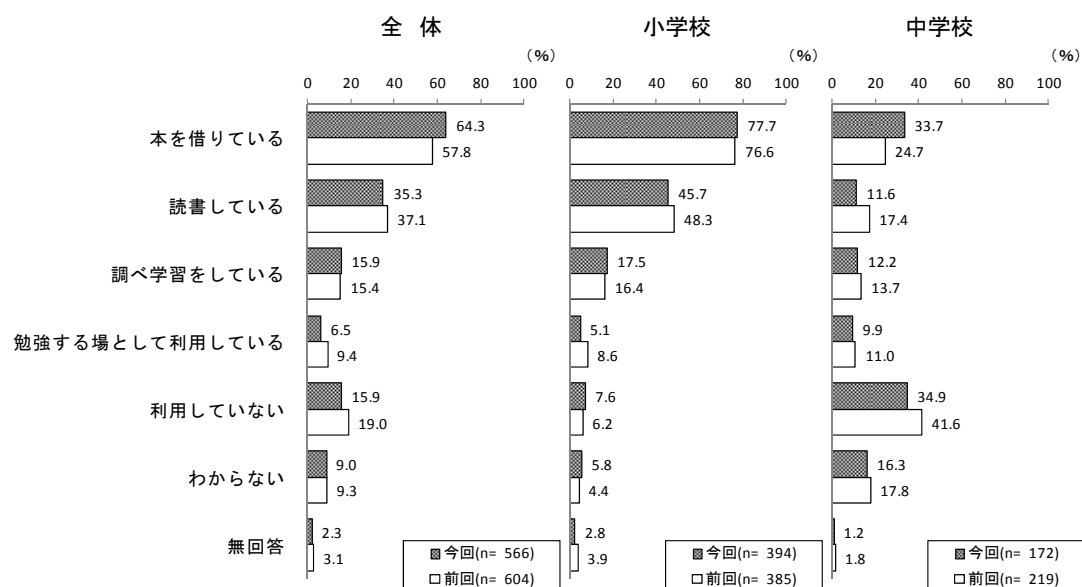
封筒の宛名のお子さんは、学校図書館（図書室）をどのように利用していると思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

全体では、「本を借りている」が 64.3%と最も高く、次いで「読書している」が 35.3%、「調べ学習をしている」が 15.9%となっています。一方、「利用していない」は 15.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「本を借りている」「読書している」は小学校が高く、中学校が低くなっています。「利用していない」は中学校が 34.9%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、中学校では「本を借りている」がやや高くなっています。

図 子どもの学校図書館の利用内容



(9) 小学校卒業後の進路

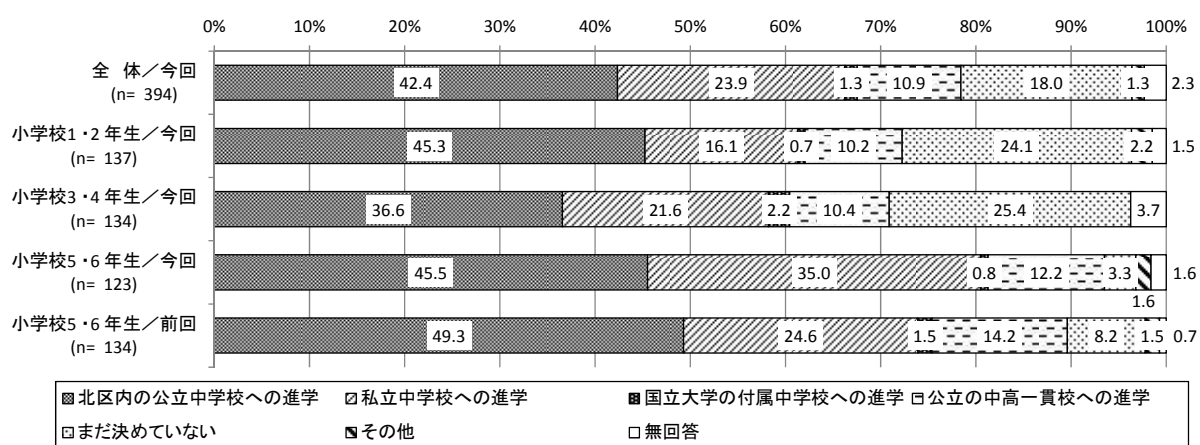
問 21 封筒の宛名のお子さんが小学生の方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんの小学校卒業後の進路は、どのように考えていますか。(○は1つだけ)

「北区内の公立中学校への進学」が42.4%と最も高く、次いで「私立中学校への進学」が23.9%、「まだ決めていない」が18.0%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「私立中学校への進学」は学年が上がるにつれて高くなっています。

図 小学校卒業後の進路



(10) 北区の公立学校以外への進学を考えている理由

問 22 問 21 で 2, 3, 4 と答えた方にお聞きします。

北区の公立中学校以外への進学を考えているのはなぜですか。(〇は3つまで)

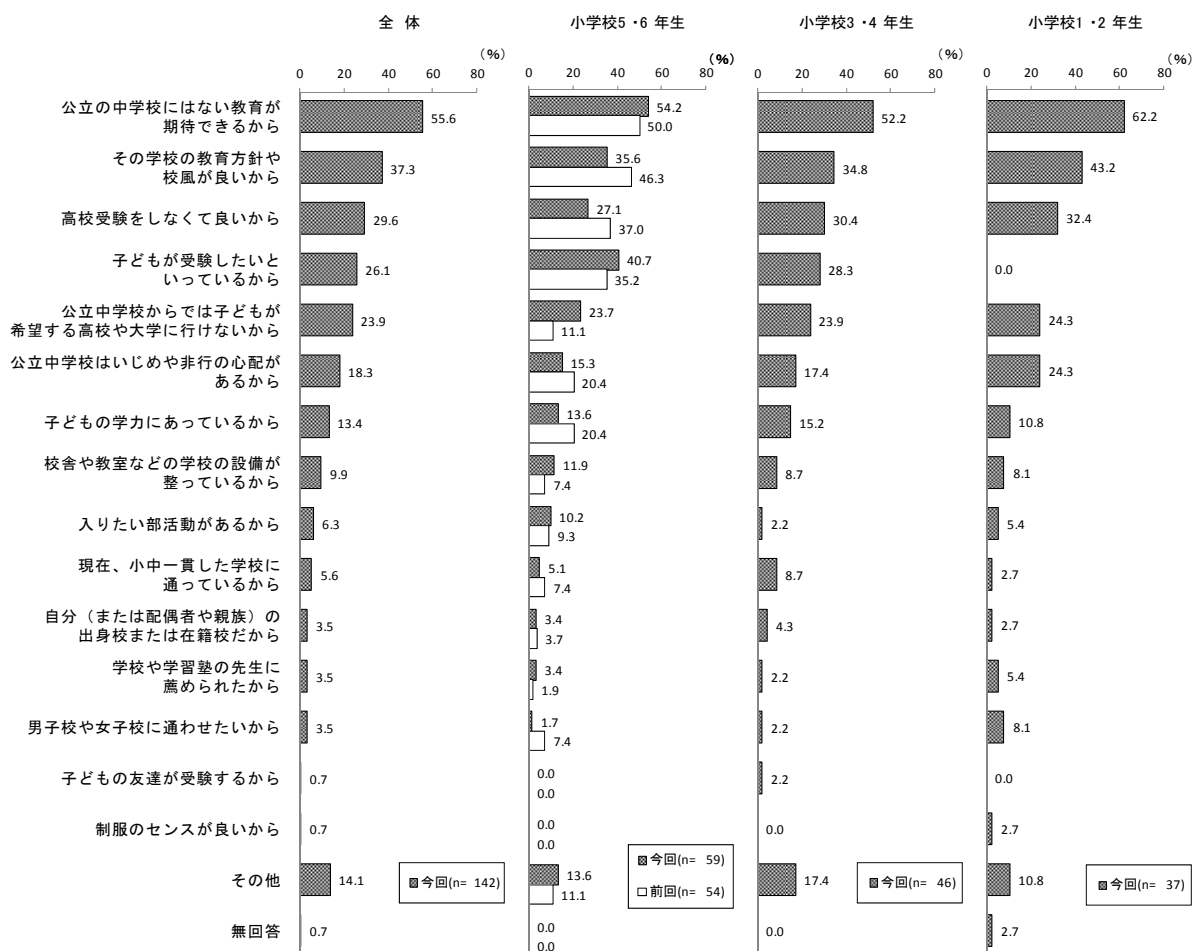
「公立の中学校にはない教育が期待できるから」が 55.6% と最も高く、次いで「その学校の教育方針や校風が良いから」が 37.3%、「高校受験をしなくて良いから」が 29.6% となっています。

「その他」の回答には、『塾に通わせなくてよい』、『中高一貫教育を希望』などがあります。

学年別にみると、小学校 1・2 年生では「公立の中学校にはない教育が期待できるから」が他の学年と比べてやや高く、小学校 5・6 年生では、「子どもが受験したいといっているから」が他の学年と比べて高くなっています。

前回調査と比較すると、「子どもが受験したいといっているから」「公立中学校からでは子どもが希望する高校や大学に行けないから」が高く、「その学校の教育方針や校風が良いから」「高校受験をしなくて良いから」「子どもの学力にあっているから」「公立中学校はいじめや非行の心配があるから」「男子校や女子校に通わせたいから」が低くなっています。

図 北区の公立学校以外への進学を考えている理由



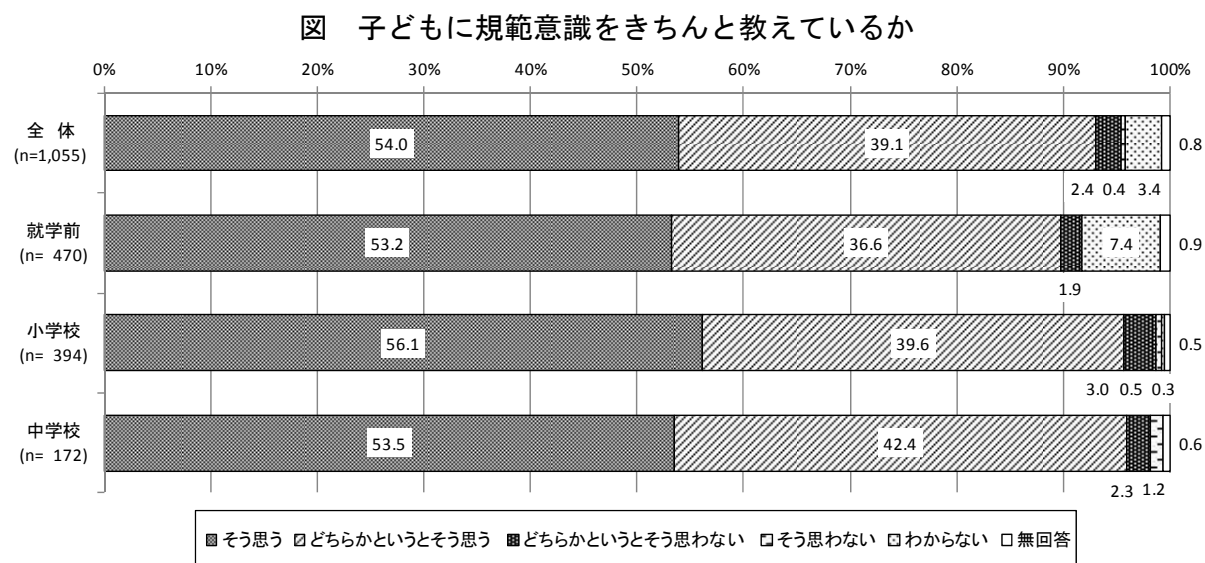
5 家庭・地域の教育力について

(1) 子どもに規範意識をきちんと教えているか

問 23 家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。(〇は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 54.0%、「どちらかというと思う」が 39.1%で、合わせて 93.1%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 89.8%、小学校では 95.7%、中学校では 95.9%となっています。



(2) 子どもを注意してくれる地域の大人は多いか

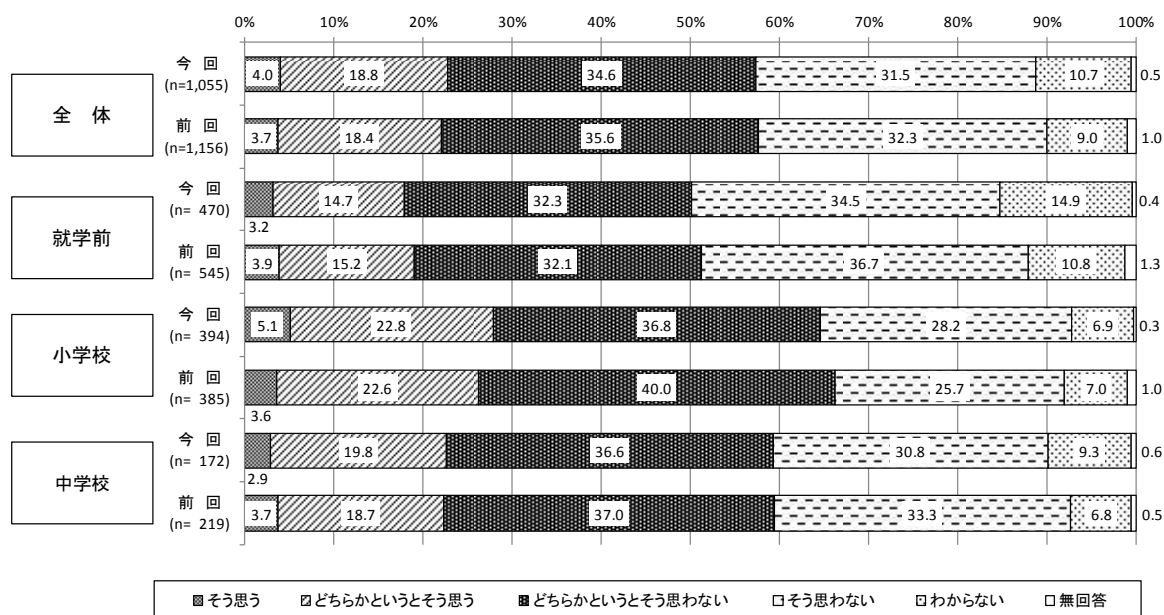
問 24 子どもを注意してくれる地域の大人は多いと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が4.0%、「どちらかというと思う」が18.8%で、合わせて22.8%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では17.9%、小学校では27.9%、中学校では22.7%となっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も概ね同じような割合となっています。

図 子どもを注意してくれる地域の大人は多いか



(3) 社会のルールやマナーを守る子どもが多いか

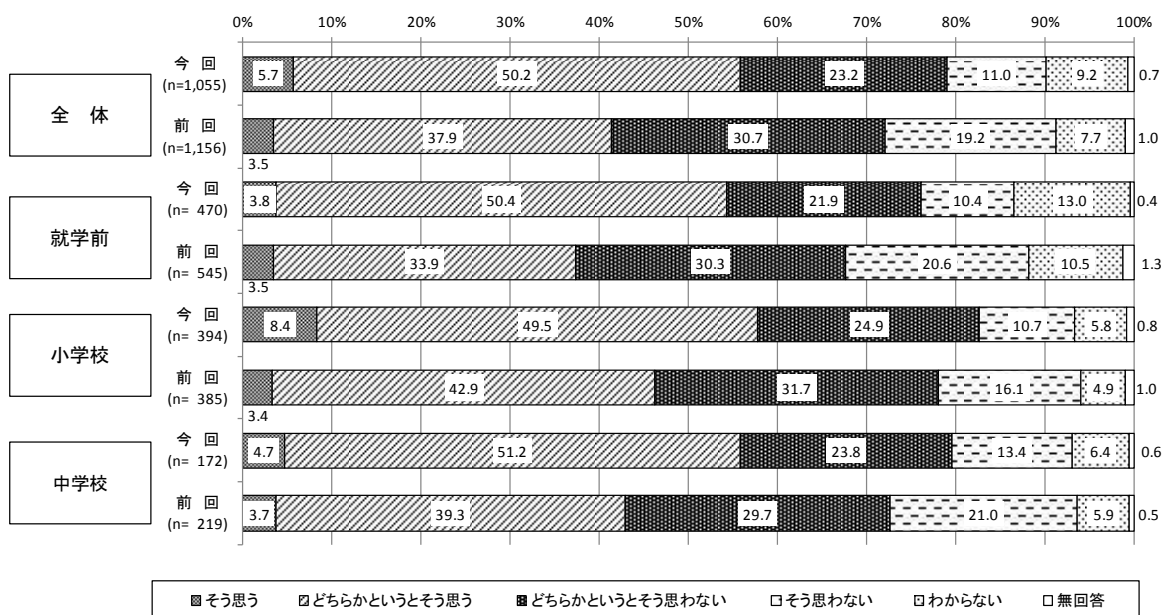
問 25 社会のルールやマナーを守る子どもが多いと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が5.7%、「どちらかというと思う」が50.2%で、合わせて55.9%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では54.2%、小学校では57.9%、中学校では55.9%となっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も、『そう思う』が高くなっています。

図 社会のルールやマナーを守る子どもが多いか



(4) 子どもが参加できる地域の活動は十分か

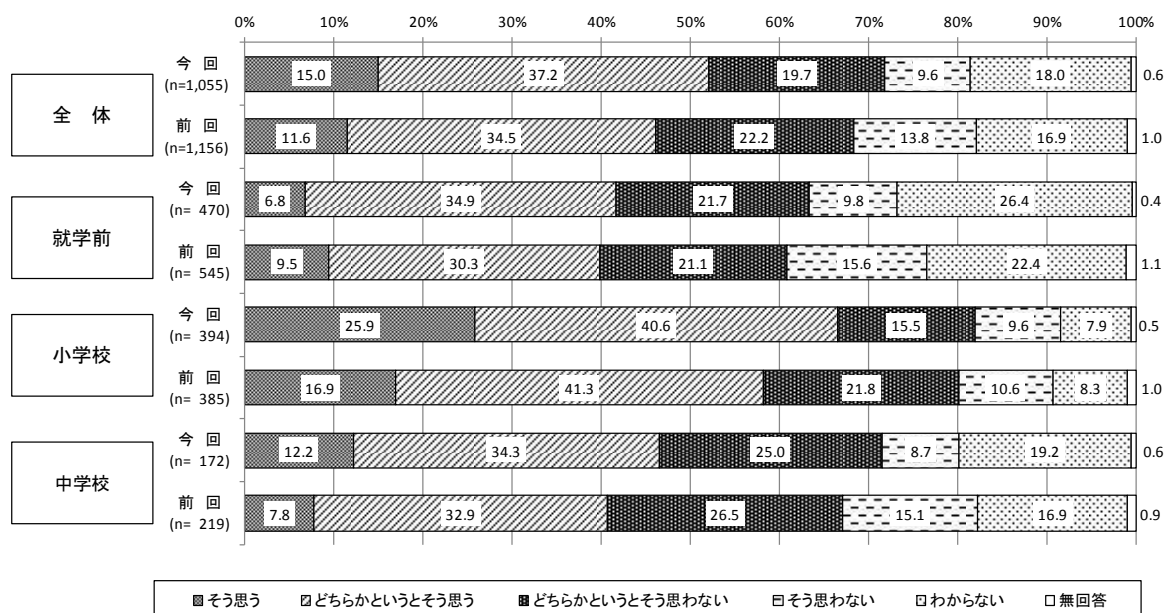
問 26 子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 15.0%、「どちらかというと思う」が 37.2%で、合わせて 52.2%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 41.7%、小学校では 66.5%、中学校では 46.5%で、小学校が高くなっています。

前回調査と比較すると、全体、小学校、中学校は、『そう思う』が高くなっています。

図 子どもが参加できる地域の活動は十分か



(5) 自分の子どもの学力の程度

問 27 あなたからみて、封筒の宛名のお子さんの学力をどう思いますか。(〇は1つだけ)

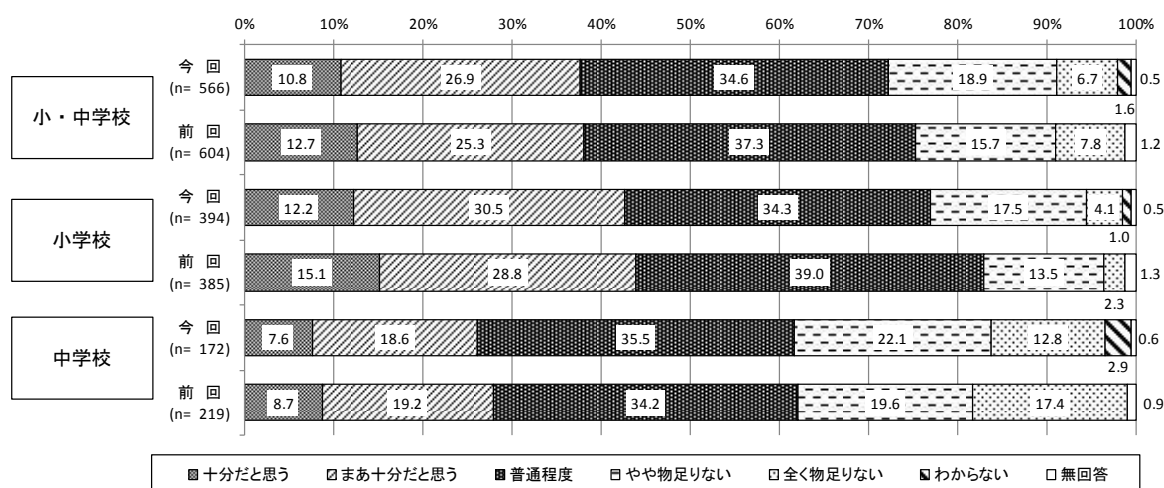
※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「十分だと思う」が10.8%、「まあ十分だと思う」が26.9%で、合わせて37.7%が『十分だと思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『十分だと思う』（「十分だと思う」＋「まあ十分だと思う」）は、小学校では42.7%、中学校では26.2%で、中学校になると低くなっています。

前回調査と比較すると、『物足りない』（「やや物足りない」＋「全く物足りない」）は、小学校では高くなっています。

図 自分の子どもの学力の程度



(6) 家庭での子どもとの関わり

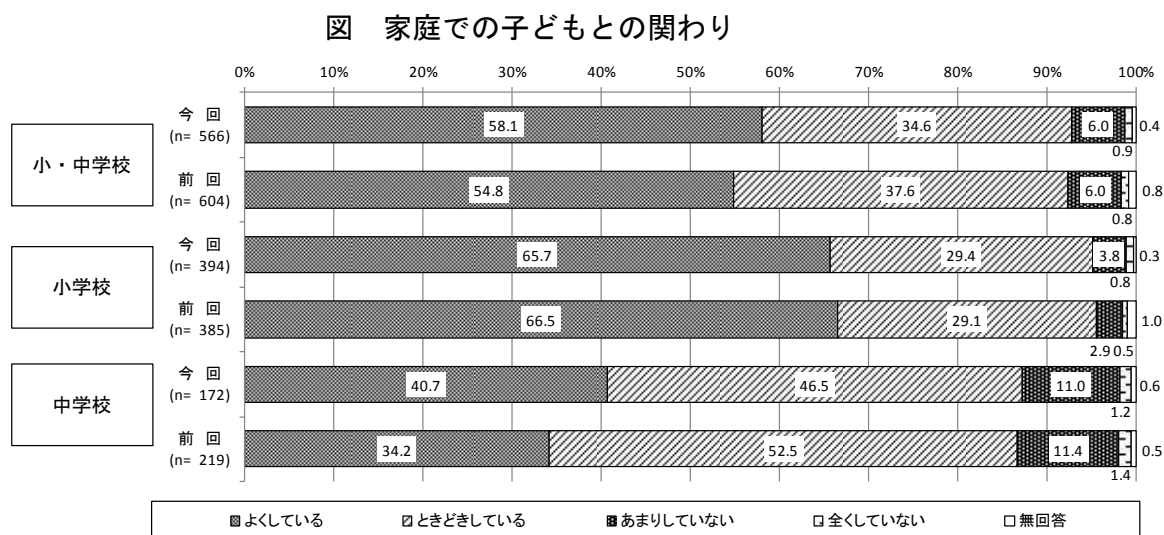
問 28 ご家庭で封筒の宛名のお子さんに勉強を教えたり、宿題をみたり、学校のできごとを話し合ったりしていますか。(〇は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「よくしている」が58.1%、「ときどきしている」が34.6%で、合わせて92.7%が『している』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『している』(「よくしている」+「ときどきしている」)は、小学校では95.1%、中学校では87.2%となっています。

前回調査と比較すると、特に大きな差はみられませんでした。



(7) 子どもを学習塾に通わせることに対する考え

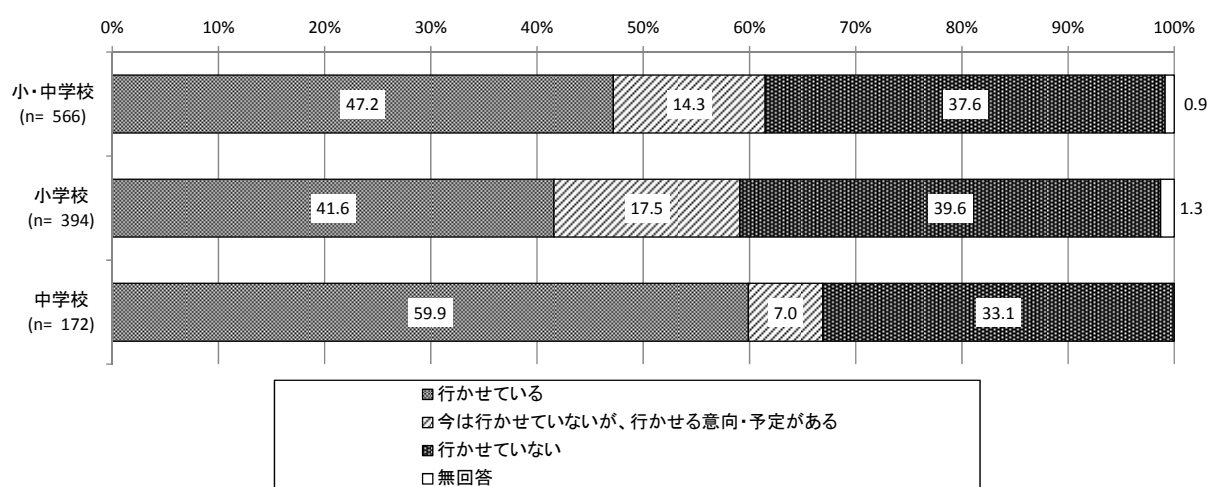
問 29 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていますか。(○は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「行かせている」が47.2%、「今は行かせていないが、行かせる意向・予定がある」が14.3%、「行かせていない」が37.6%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「行かせている」は中学校が小学校より高くなっています。

図 子どもを学習塾に通わせているか



①子どもを学習塾に通わせている目的

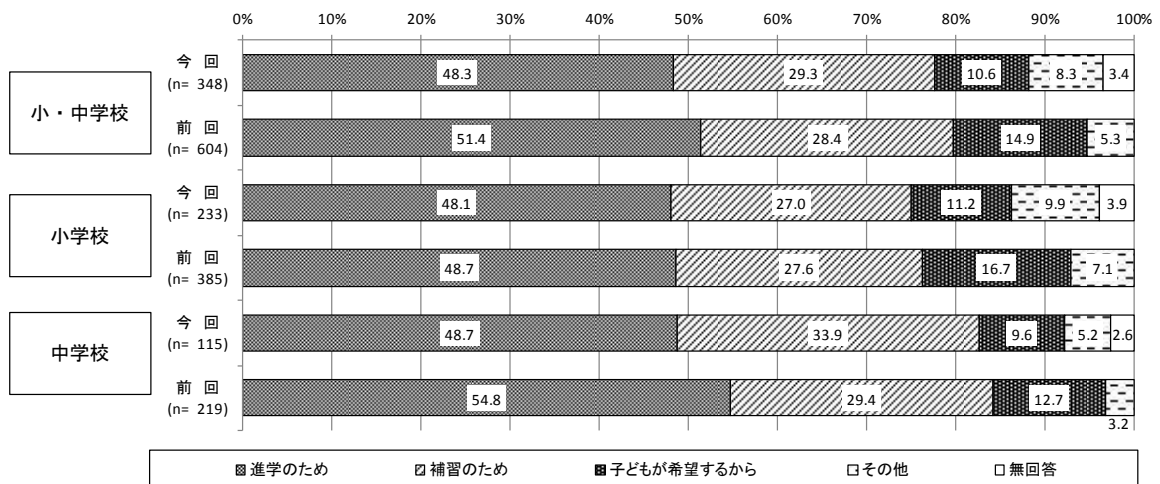
(1) 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせている方(予定を含む。)のみお答えください。
 お子さんを学習塾に行かせている目的はなんですか。(〇は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「進学のため」が48.3%と最も高く、次いで「補習のため」が29.3%、「子どもが希望するから」が10.6%となっています。

「その他」の回答には、『基礎学力向上のため』、『本人の能力開発のため』などがあります。
 子どもの就学状況別に見ると、「補習のため」は中学校が小学校より高くなっています。
 前回調査と比較すると、いずれの場合も「子どもが希望するから」は低くなっています。

図 子どもを学習塾に通わせている目的



②子どもを学習塾に通わせない理由

(2) 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていない方のみお答えください。
 お子さんを学習塾へ行かせない理由をお聞かせください。(〇は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

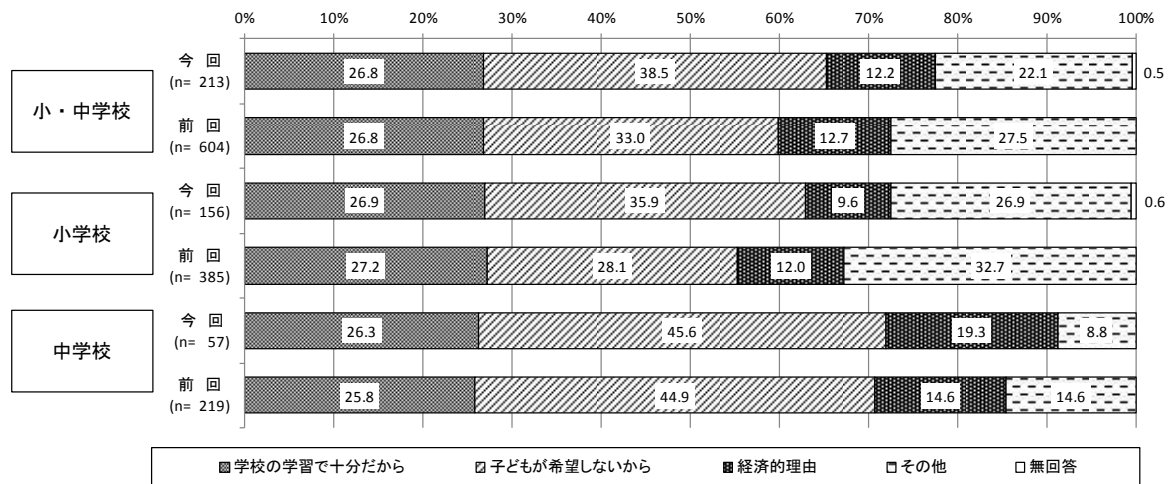
小・中学校では、「子どもが希望しないから」が38.5%と最も高く、次いで「学校の学習で十分だから」が26.8%、「経済的理由」が12.2%となっています。

「その他」の回答には、『低学年だから』、『学校と自宅学習で十分だから』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「子どもが希望しないから」は中学校が小学校より高くなっています。

前回調査と比較すると、中学校では「経済的理由」がやや高くなっています。

図 子どもを学習塾に通わせない理由



(8) 学校の授業以外の1日の勉強時間

問30 封筒の宛名のお子さんは、学校の授業以外に1日平均でどのくらい勉強(学校の宿題、通信教育、学習塾、家庭教師等による学習時間)をしていますか。(〇は1つだけ)

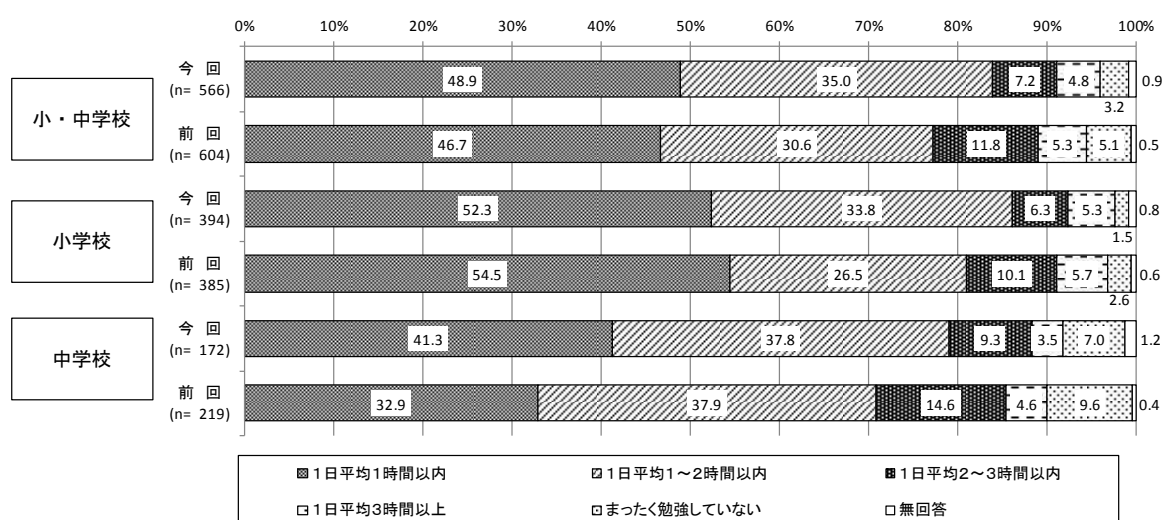
※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「1日平均1時間以内」が48.9%と最も高く、次いで「1日平均1～2時間以内」が35.0%、「1日平均2～3時間以内」が7.2%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「1日平均1時間以内」が小学校では52.3%、中学校では41.3%と最も高くなっています。一方、「まったく勉強していない」は小学校から中学校になると高くなっています。

前回調査と比較すると、小学校では「1日平均1～2時間以内」が、中学校では「1日平均1時間以内」が、それぞれ高くなっています。

図 学校の授業以外の1日の勉強時間



6 教育全般について

(1) 子どもたちの学力格差に対する認識

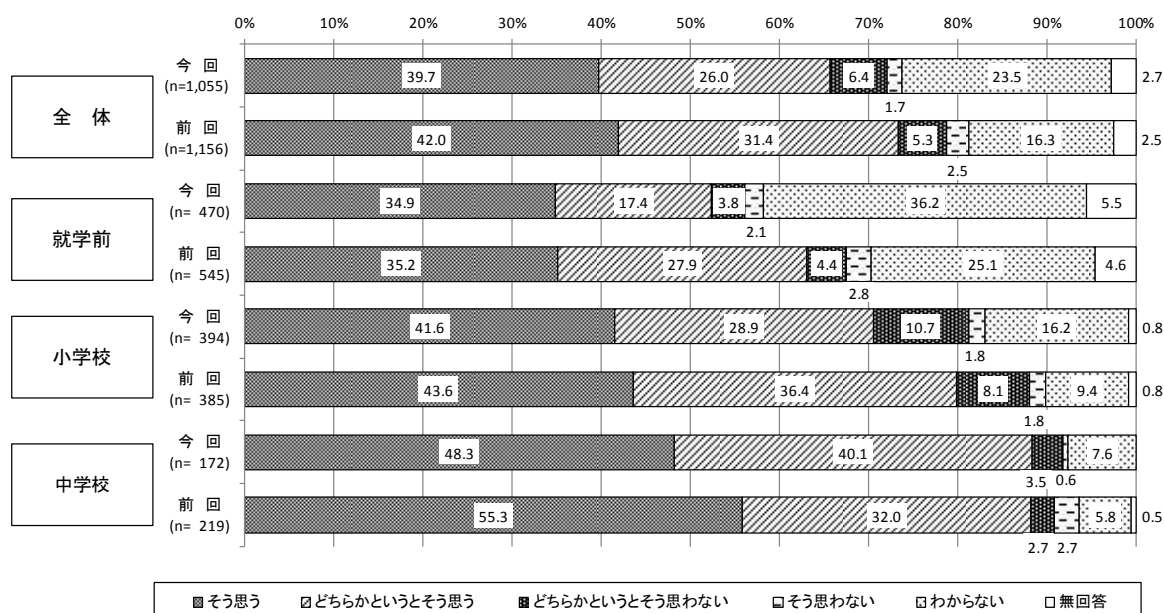
問 31 一般的に言って、子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 39.7%、「どちらかというと思う」が 26.0%で、合わせて 65.7%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 52.3%、小学校では 70.5%、中学校では 88.4%で、就学前が低くなっています。

前回調査と比較すると、全体、就学前、小学校では、『そう思う』は低くなっています。

図 子どもたちの学力格差に対する認識



(2) 学力格差が特に広がっていると思う段階

問 32 問 33 で 1, 2 と答えた方にお聞きします。

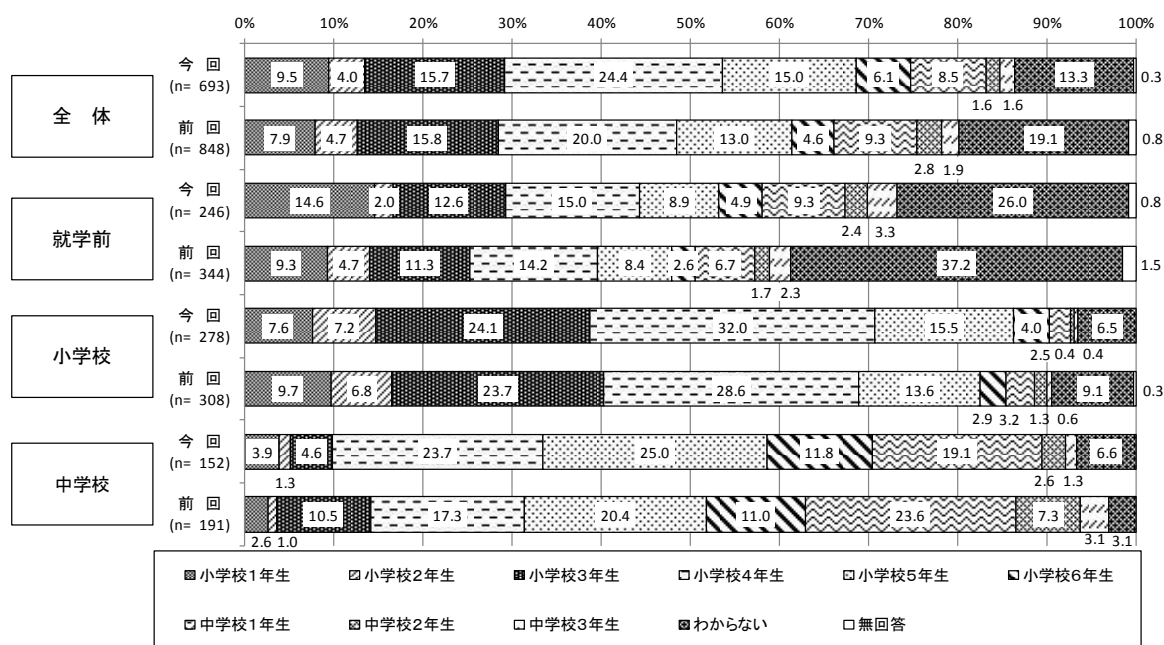
どの段階で学力格差が特に広がっていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「小学校4年生」が24.4%と最も高く、次いで「小学校3年生」が15.7%、「小学校5年生」が15.0%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前では「小学校4年生」が15.0%と最も高く、次いで「小学校1年生」が14.6%となっており、また「わからない」が26.0%となっています。小学校では「小学校4年生」が32.0%と最も高く、次いで「小学校3年生」が24.1%となっています。中学校では「小学校5年生」が25.0%と最も高く、次いで「小学校4年生」が23.7%となっています。

前回調査と比較すると、就学前では「小学校1年生」が、中学校では「小学校4年生」が、それぞれ高くなっています。

図 学力格差が特に広がっていると思う段階



(3) 周りの人の役に立とうとする子どもは多いか

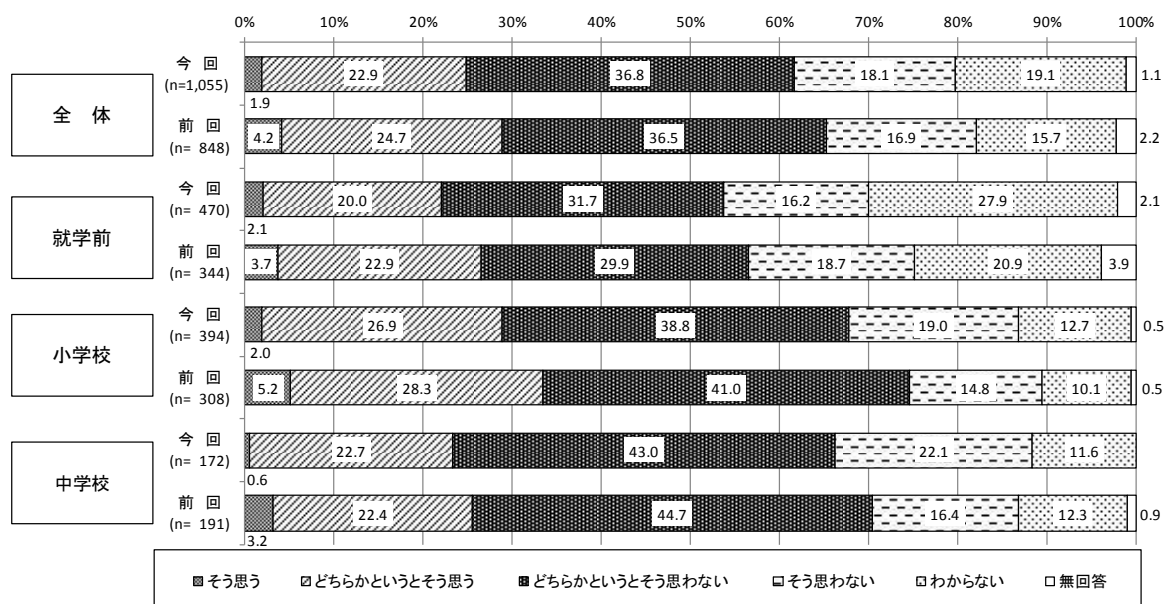
問 33 一般的に言って、他の人のために行動したり、地域や社会に貢献しようとする子どもは多いと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が1.9%、「どちらかというと思う」が22.9%で、合わせて24.8%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では22.1%、小学校では28.9%、中学校では23.3%で、小学校がやや高くなっています。

前回調査と比較すると、全体、就学前、小学校では、『そう思う』がやや低くなっています。

図 周りの人の役に立とうとする子どもは多いか



(4) 子どもたちの体力は低下しているか

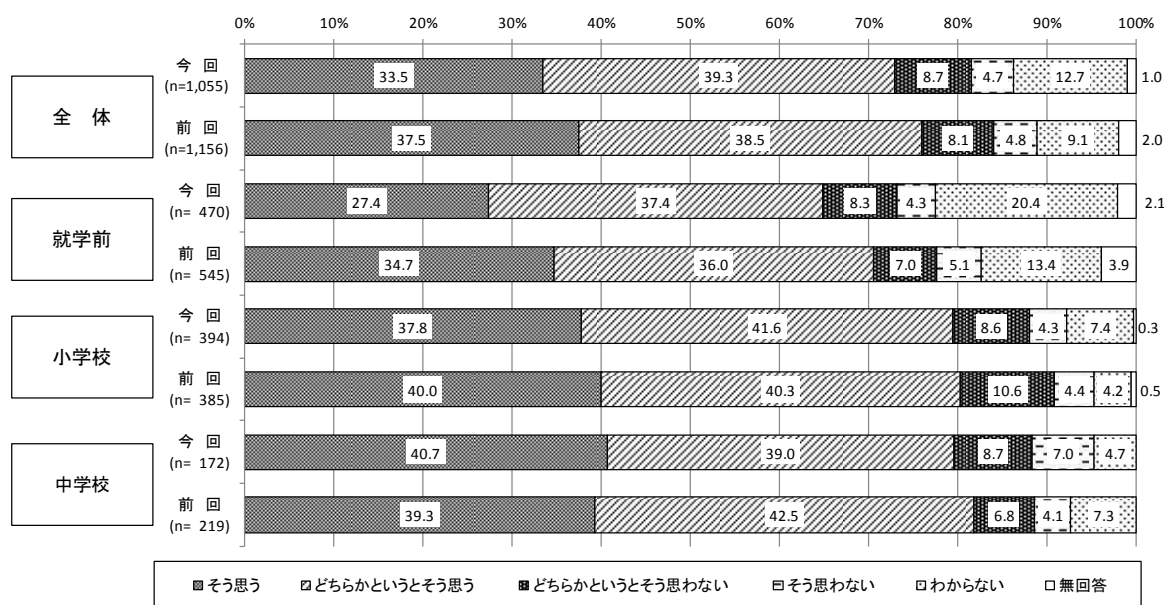
問 34 一般的に言って、子どもたちの体力は低下していると思いますか。(〇は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 33.5%、「どちらかというと思う」が 39.3%で、合わせて 72.8%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 64.8%、小学校では 79.4%、中学校では 79.7%で、就学前が低くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では、『そう思う』が低くなっています。

図 子どもたちの体力は低下しているか



(5) 学校の体育や部活動以外で体力向上や健康づくりをよくやっているか

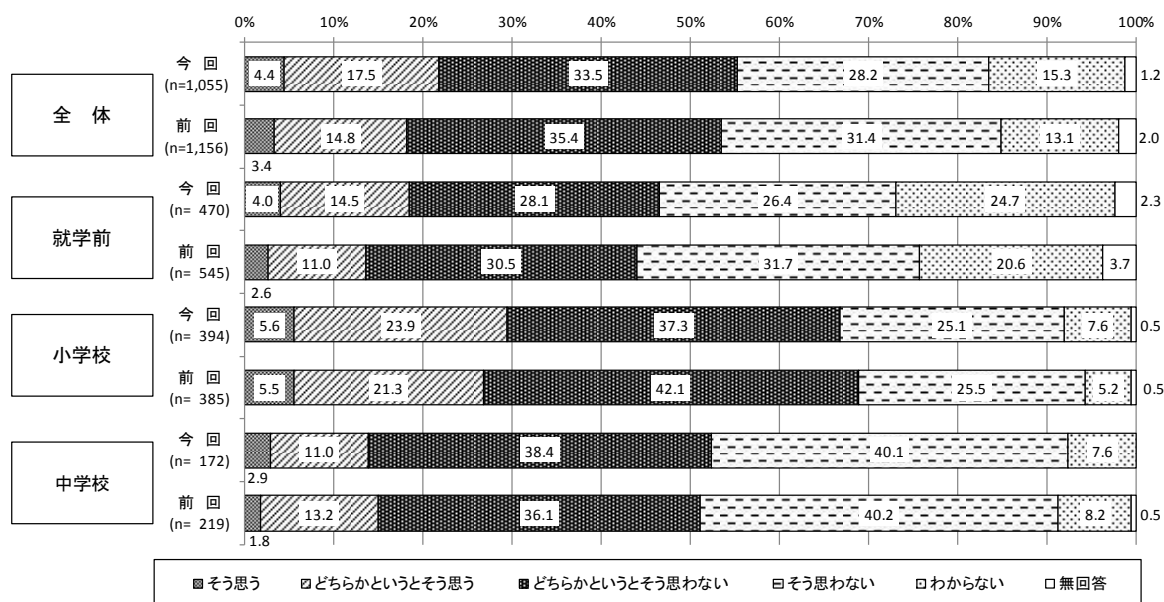
問 35 一般的に言って、子どもは、学校の体育や部活動以外で日常的に体力向上や健康づくりをよくやっていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が4.4%、「どちらかというと思う」が17.5%で、合わせて21.9%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では18.5%、小学校では29.5%、中学校では13.9%で、小学校が高くなっています。

前回調査と比較すると、全体、就学前では、『そう思う』がやや高くなっています。

図 学校の体育や部活動以外で体力向上や健康づくりをよくやっているか



(6) 保護者は地域の学校運営にもっと参画・連携するべきか

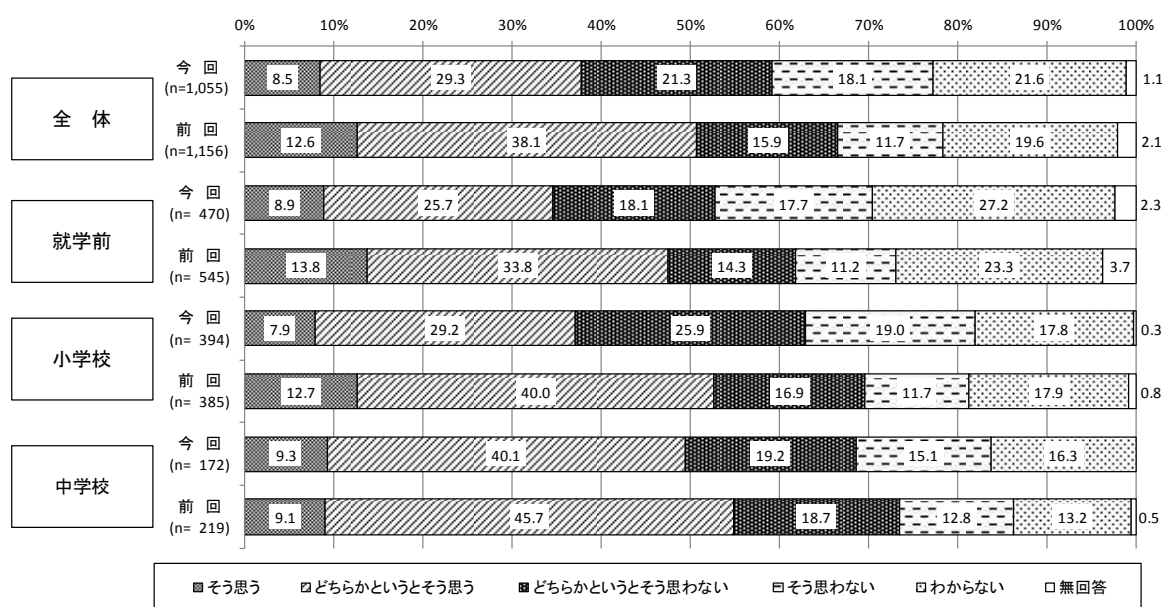
問 36 一般的に言って、保護者は、地域の学校運営にもっと参画・連携するべきだと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が8.5%、「どちらかというと思う」が29.3%で、合わせて37.8%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では34.6%、小学校では37.1%、中学校では49.4%となっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も、『そう思う』が低くなっています。

図 保護者は地域の学校運営にもっと参画・連携するべきか



7 教育行政について

(1) 北区教育委員会の取り組みの認知度・満足度

問 37 北区教育委員会では、以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。(それぞれの項目に○は1つ)

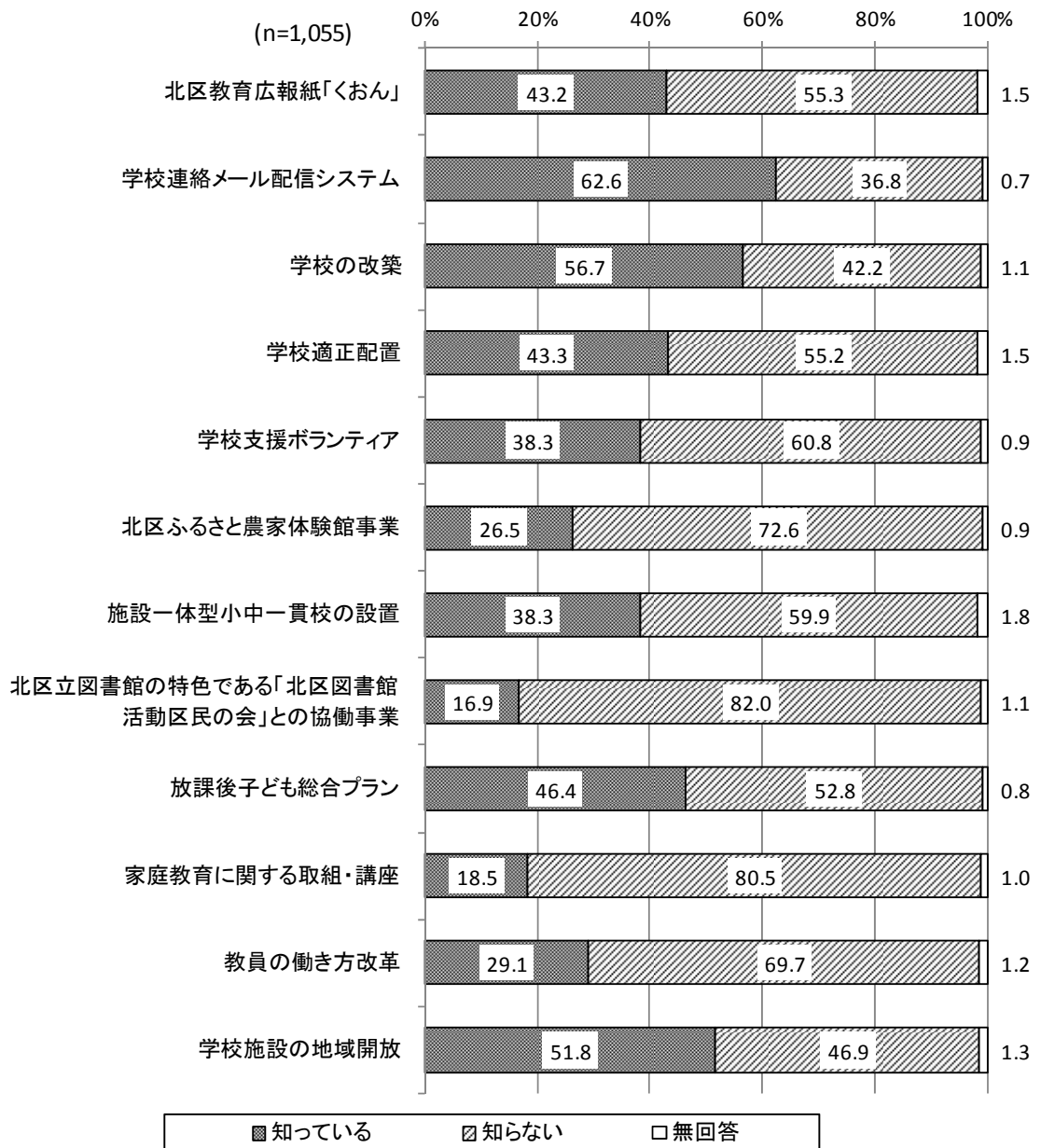
①全体

ア. 認知度

「知っている」は「学校連絡メール配信システム」が62.6%と最も高く、次いで「学校の改築」が56.7%、「学校施設の地域開放」が51.8%となっています。

一方、「知らない」は「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が82.0%と最も高く、次いで「家庭教育に関する取組・講座」が80.5%、「北区ふるさと農家体験館事業」が72.6%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（全体）

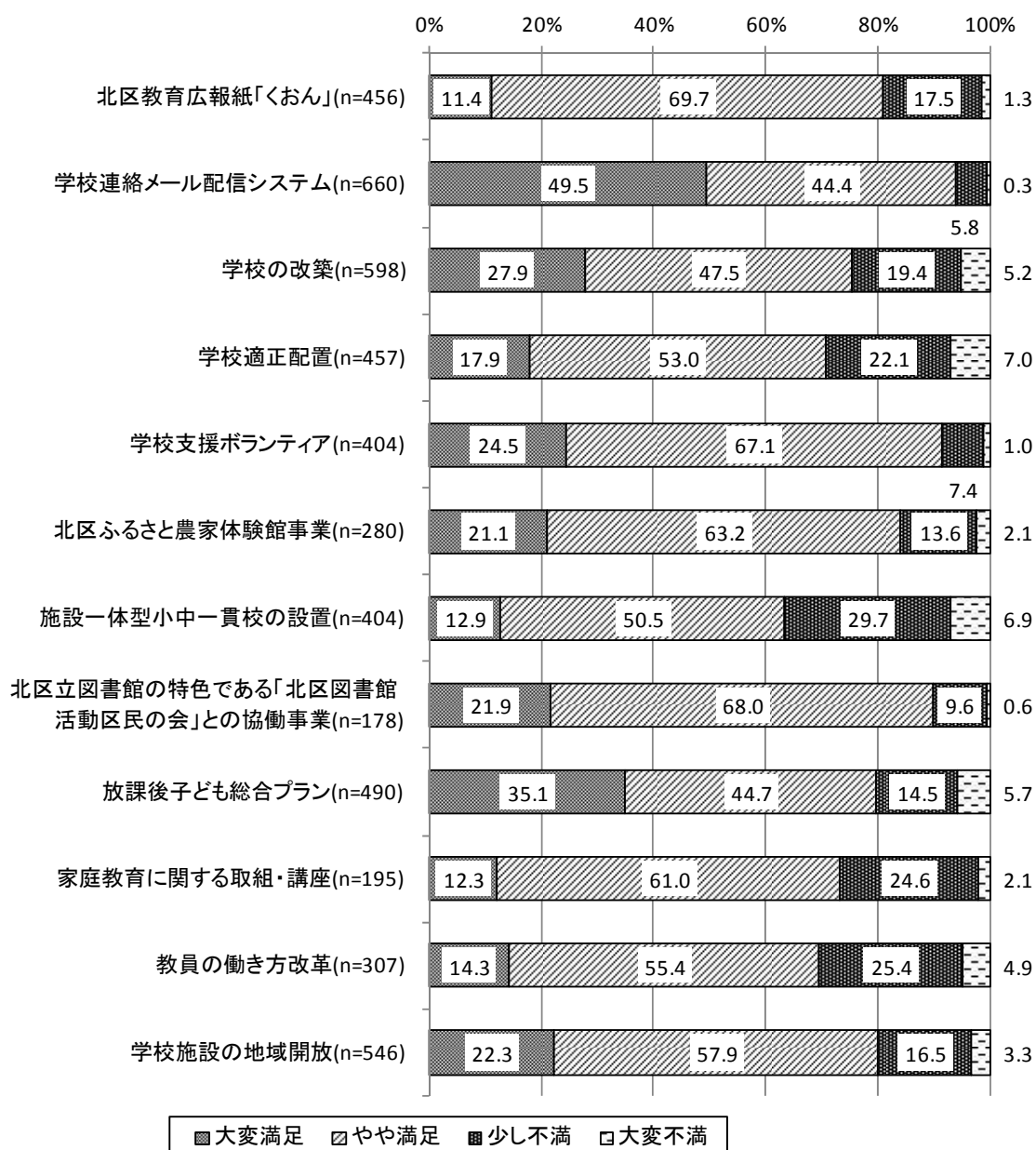


イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校連絡メール配信システム」が93.9%と最も高く、次いで「学校支援ボランティア」が91.6%、「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が89.9%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「施設一体型小中一貫校の設置」が36.6%と最も高く、次いで「教員の働き方改革」が30.3%、「学校適正配置」が29.1%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（全体）



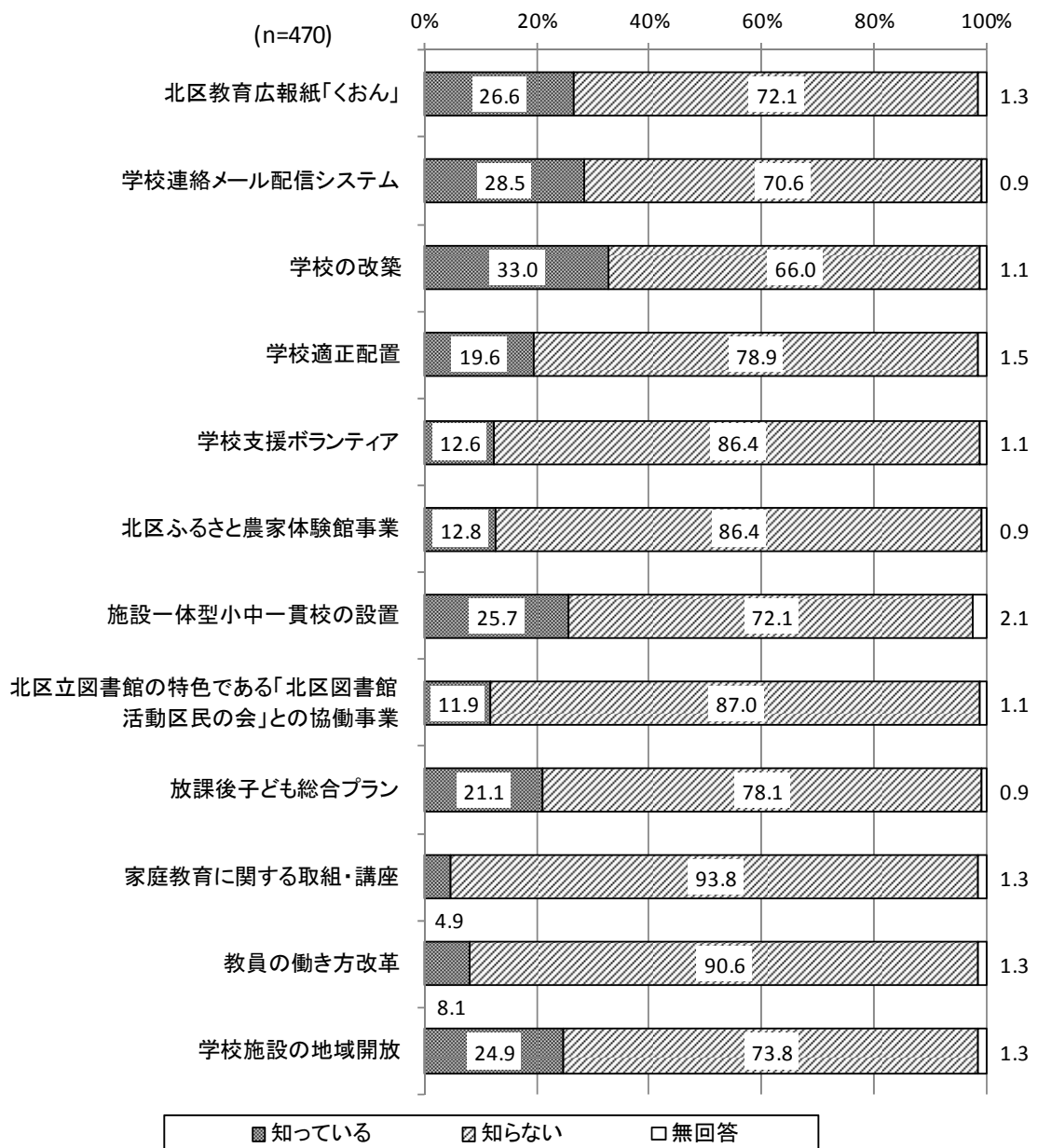
②就学前

ア. 認知度

「知っている」は「学校の改築」が33.0%と最も高く、次いで「学校連絡メール配信システム」が28.5%、「北区教育広報紙「くおん」」が26.6%となっています。

一方、「知らない」は「家庭教育に関する取組・講座」が93.8%と最も多く、次いで「教員の働き方改革」が90.6%、「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が87.0%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（就学前）

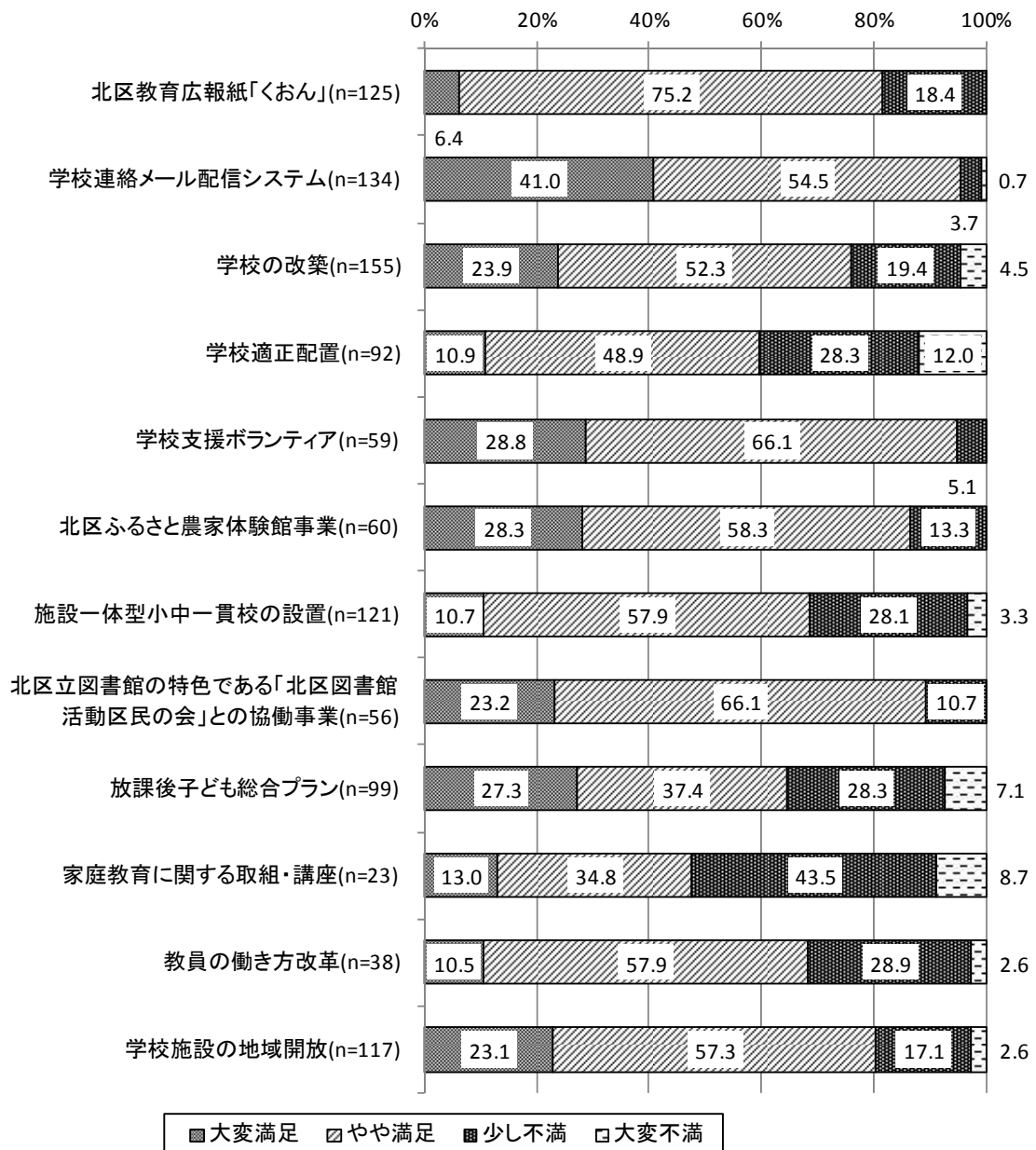


イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校連絡メール配信システム」が95.5%と最も高く、次いで「学校支援ボランティア」が94.9%、「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が89.3%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「家庭教育に関する取組・講座」が52.2%と最も高く、次いで「学校適正配置」が40.3%、「放課後子ども総合プラン」が35.4%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（就学前）



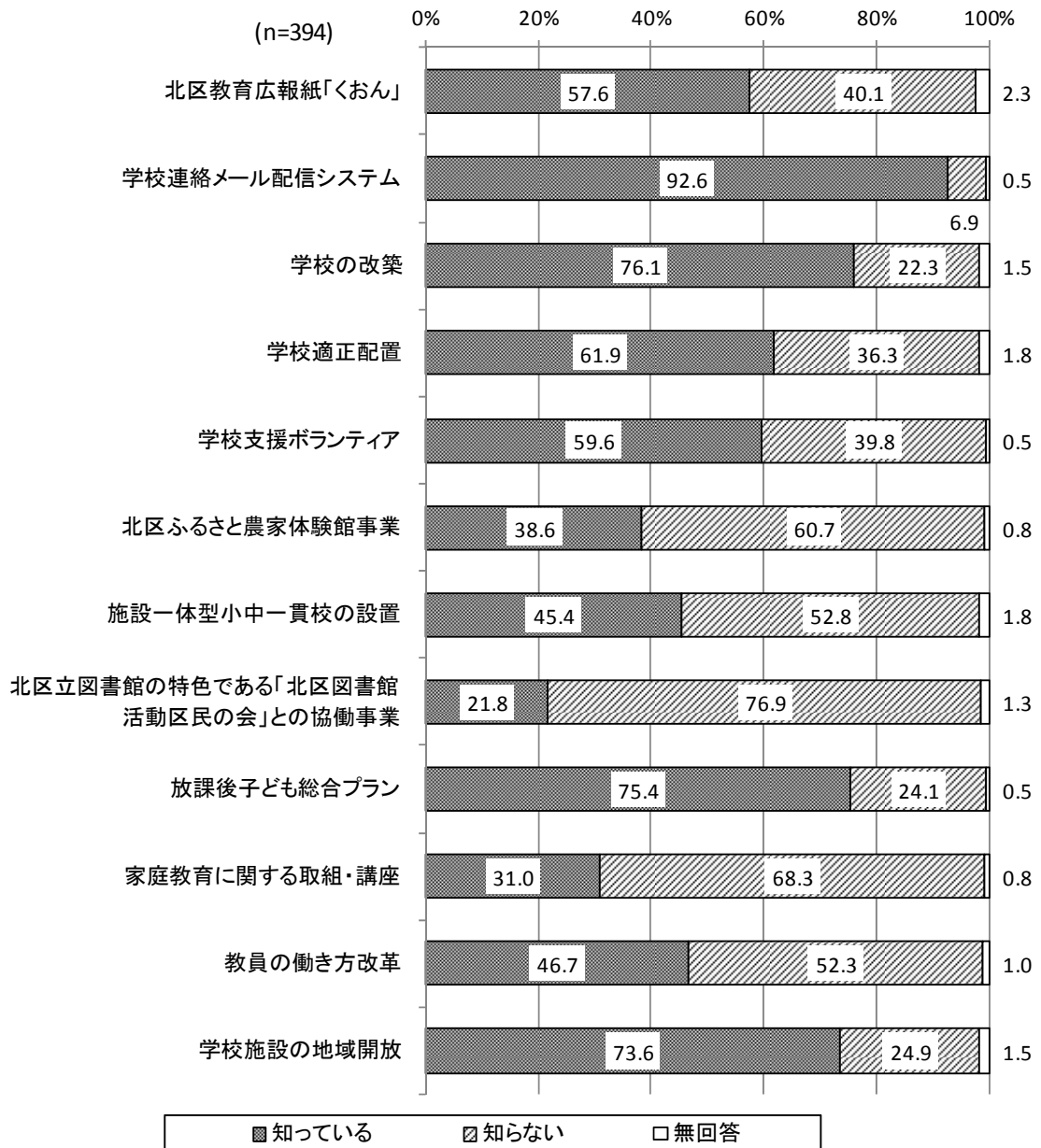
③小学校

ア. 認知度

「知っている」は「学校連絡メール配信システム」が92.6%と最も高く、次いで「学校の改築」が76.1%、「放課後子ども総合プラン」が75.4%となっています。

一方、「知らない」は「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が76.9%と最も高く、次いで「家庭教育に関する取組・講座」が68.3%、「北区ふるさと農家体験館事業」が60.7%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（小学校）

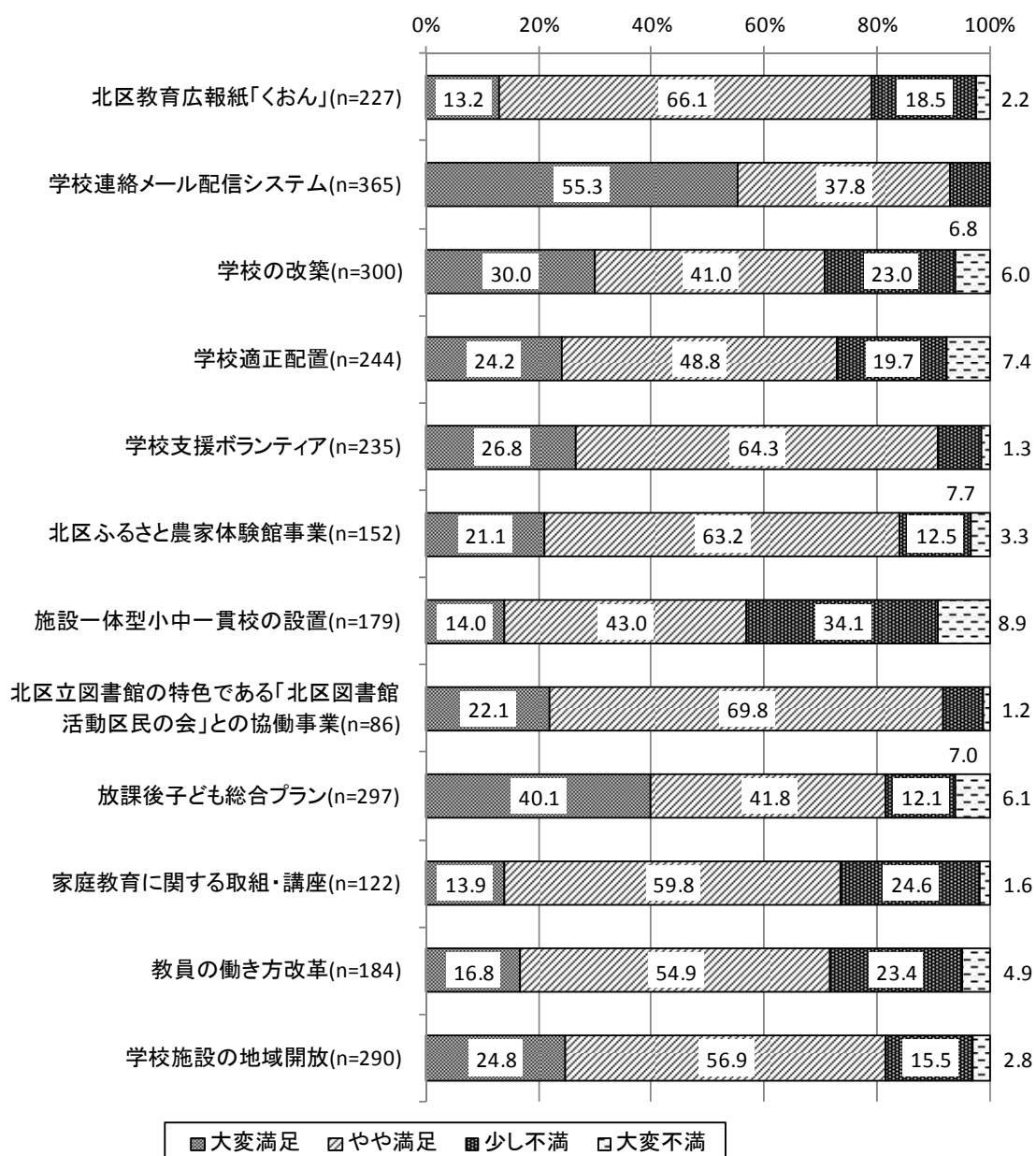


イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校連絡メール配信システム」が93.1%と最も高く、次いで「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が91.9%、「学校支援ボランティア」が91.1%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「施設一体型小中一貫校の設置」が43.0%と最も高く、次いで「学校の改築」が29.0%、「教員の働き方改革」が28.3%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（小学校）



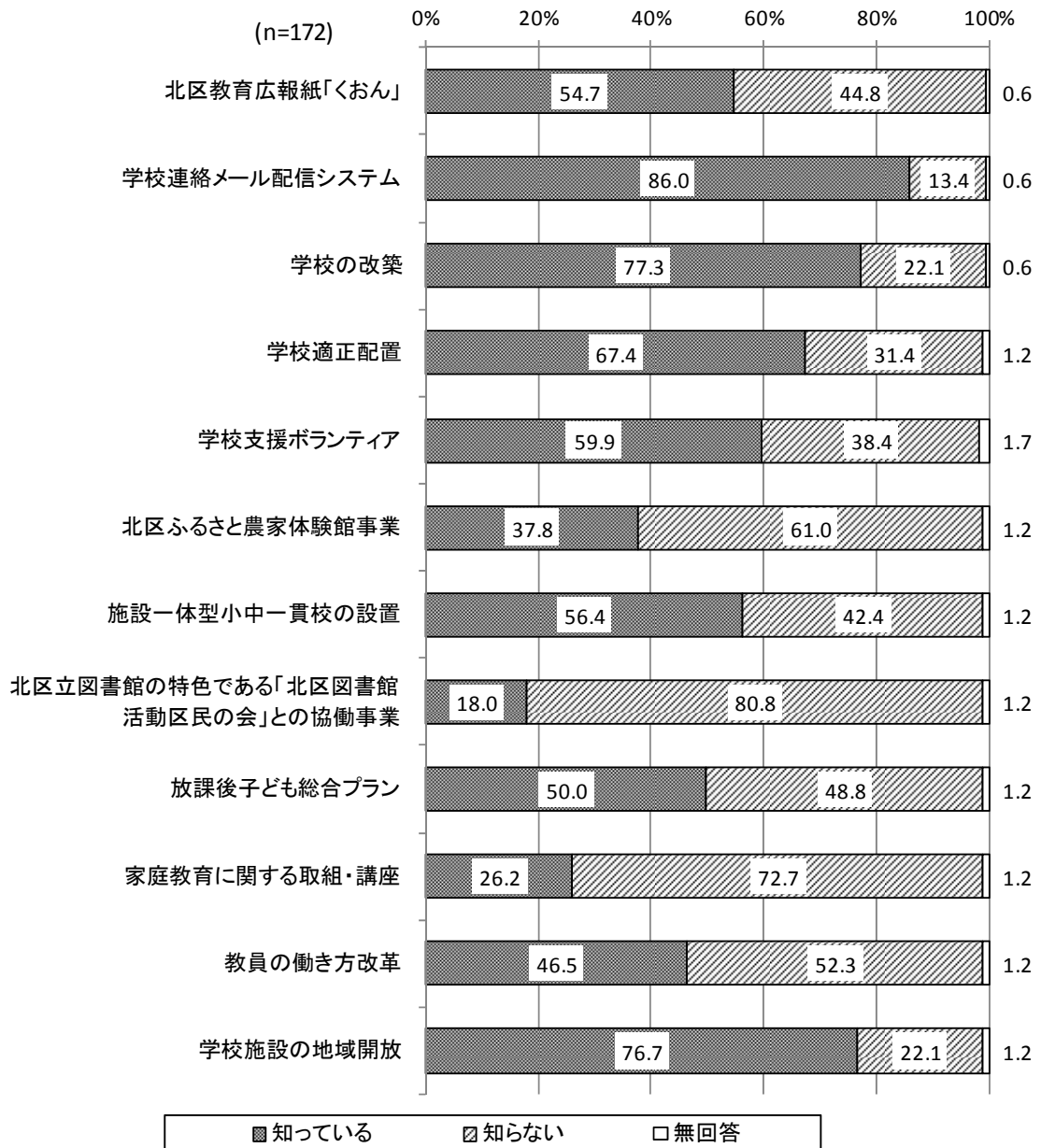
④中学校

ア. 認知度

「知っている」は「学校連絡メール配信システム」が86.0%と最も高く、次いで「学校の改築」が77.3%、「学校施設の地域開放」が76.7%となっています。

一方、「知らない」は「北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業」が80.8%と最も高く、次いで「家庭教育に関する取組・講座」が72.7%、「北区ふるさと農家体験館事業」が61.0%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（中学校）

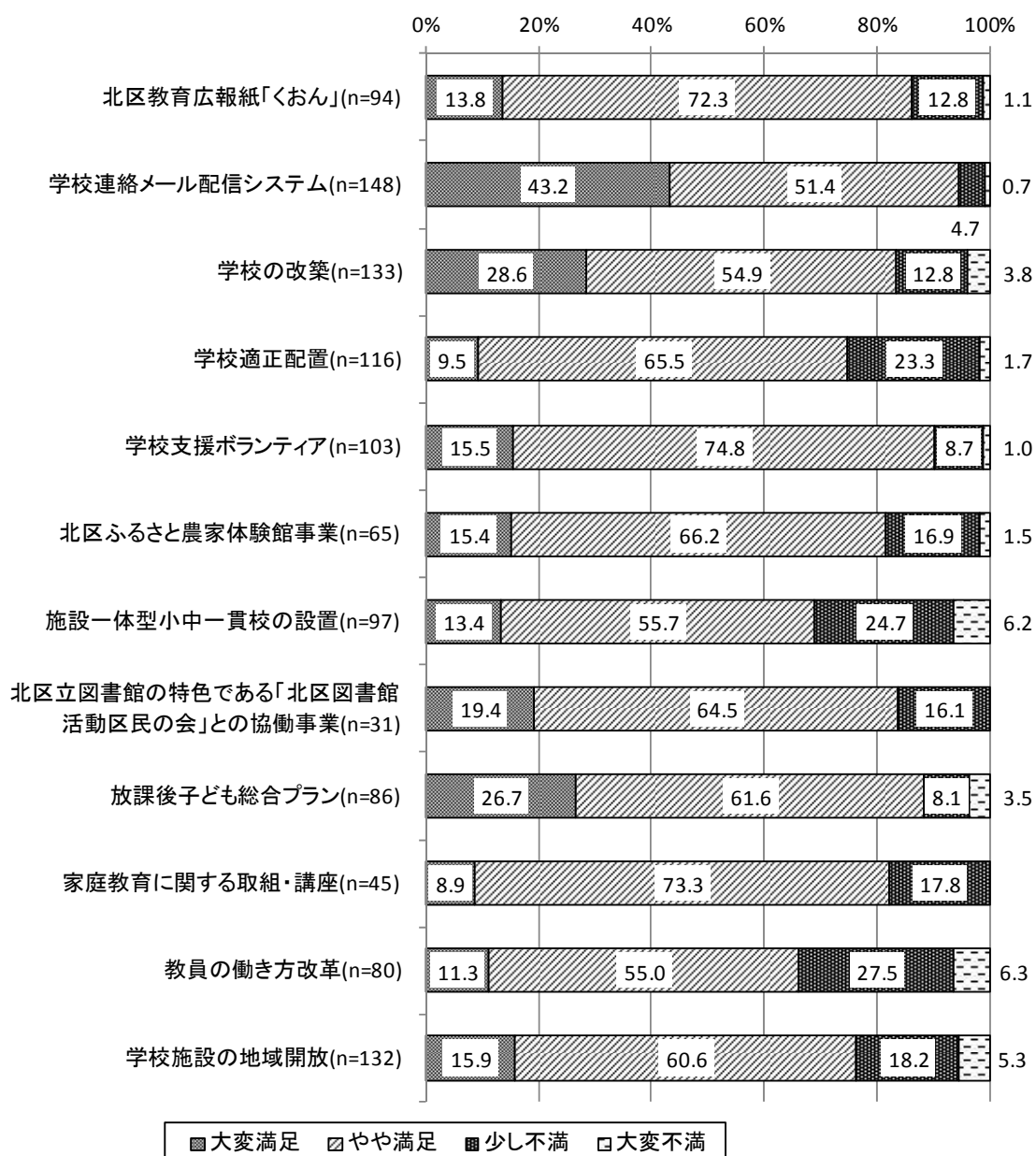


イ. 満足度

「知っている」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校連絡メール配信システム」が94.6%と最も高く、次いで「学校支援ボランティア」が90.3%、「放課後子ども総合プラン」が88.3%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「教員の働き方改革」が33.8%と最も高く、次いで「施設一体型小中一貫校の設置」が30.9%、「学校適正配置」が25.0%となっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（中学校）



(2) 「学校ファミリー」で実施している教育施策に対する考え

問 38 北区では、通学区域の異なる保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校でつくる近隣複数校のネットワークとして「学校ファミリー」を形成し、以下の教育施策を実施しています。それぞれについて、どのように考えますか。

①保幼小連携で重点的に取り組むべき活動

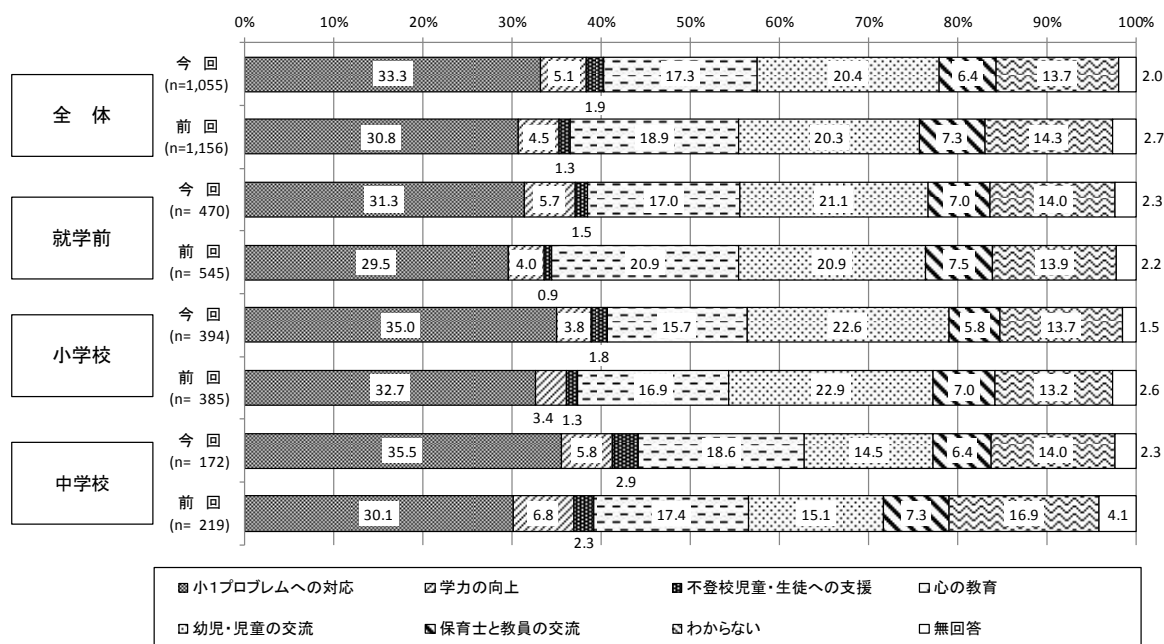
(1) 保幼小連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つだけ)

全体では、「小1プロブレムへの対応」が33.3%と最も高く、次いで「幼児・児童の交流」が20.4%、「心の教育」が17.3%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「幼児・児童の交流」は中学校が就学前、小学校より低くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では「心の教育」がやや低く、中学校では「小1プロブレムへの対応」が高くなっています。

図 保幼小連携で重点的に取り組むべき活動



②小中一貫教育で重点的に取り組むべき活動

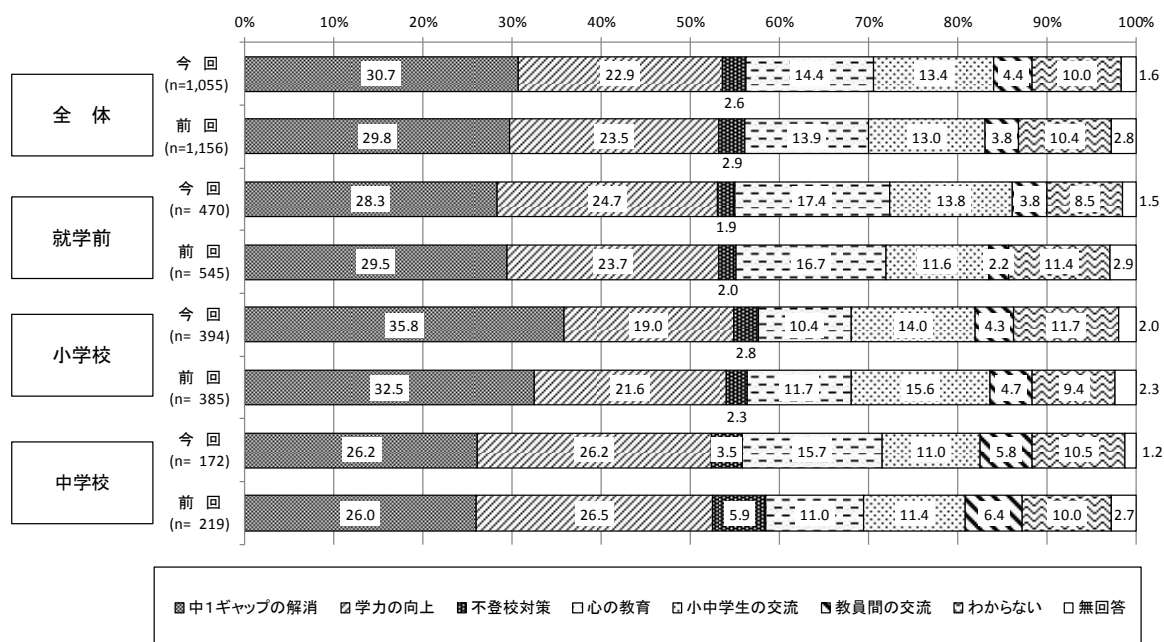
(2) 小中一貫教育で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(〇は1つだけ)

全体では、「中1ギャップの解消」が30.7%と最も高く、次いで「学力の向上」が22.9%、「心の教育」が14.4%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「中1ギャップの解消」は小学校が就学前、中学校より高くなっています。

前回調査と比較すると、小学校では「中1ギャップの解消」が、中学校では「心の教育」が、それぞれやや高くなっています。

図 小中一貫教育で重点的に取り組むべき活動



③地域との連携で重点的に取り組むべき活動

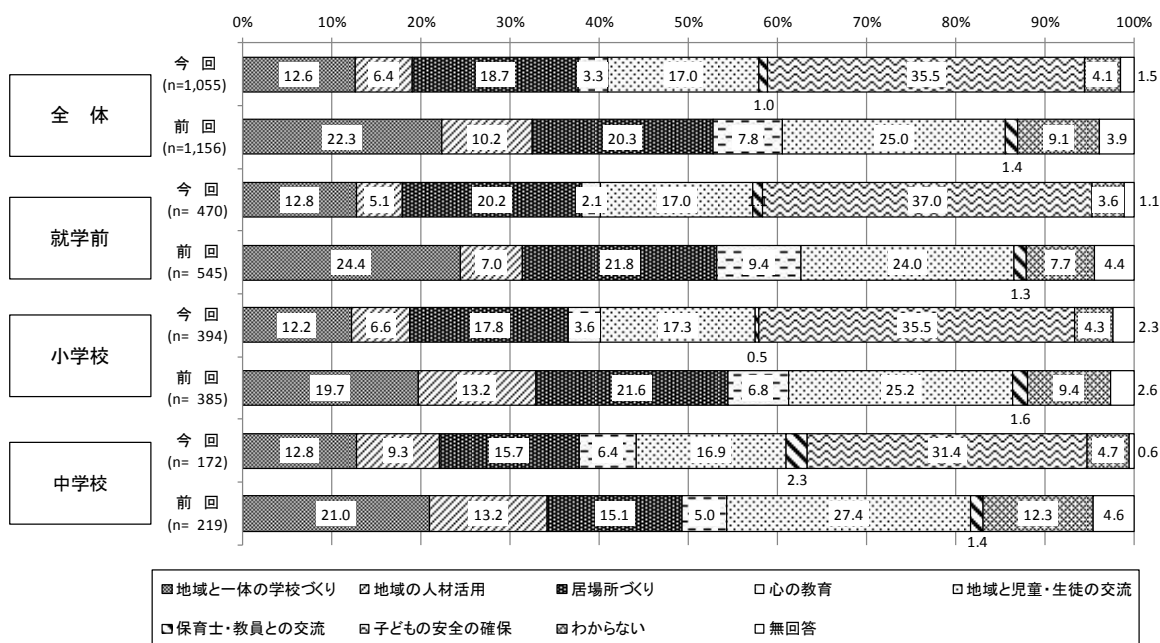
(3) 地域との連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(〇は1つだけ)

全体では、今回新設された「子どもの安全の確保」が35.5%と最も高く、次いで「居場所づくり」が18.7%、「地域と児童・生徒の交流」が17.0%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「地域の人材活用」は中学校が就学前、小学校よりやや高くなっています。「居場所づくり」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では「地域と一体の学校づくり」「心の教育」「地域と児童・生徒の交流」が、小学校・中学校では「地域と一体の学校づくり」「地域の人材活用」「地域と児童・生徒の交流」が、それぞれ低くなっています。

図 地域との連携で重点的に取り組むべき活動



(3) 学校施設の整備で優先的に行うべきこと

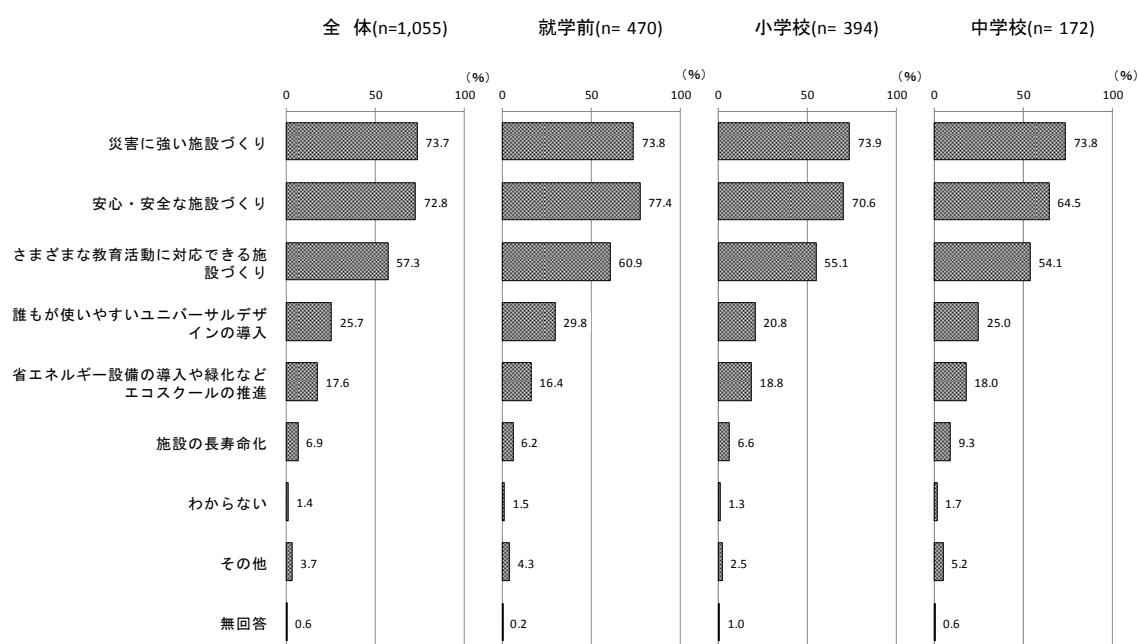
問 39 学校施設の整備について、今後どのようなことを優先的に行うべきだと思いますか。
(〇は3つまで)

全体では、「災害に強い施設づくり」が 73.7%と最も高く、次いで「安心・安全な施設づくり」が 72.8%、「さまざまな教育活動に対応できる施設づくり」が 57.3%となっています。

「その他」の回答には、『エアコン整備』、『トイレの洋式化、個室化』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「安心・安全な施設づくり」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

図 学校施設の整備で優先的に行うべきこと



(4) 子どもたちが放課後過ごす場所に求める機能

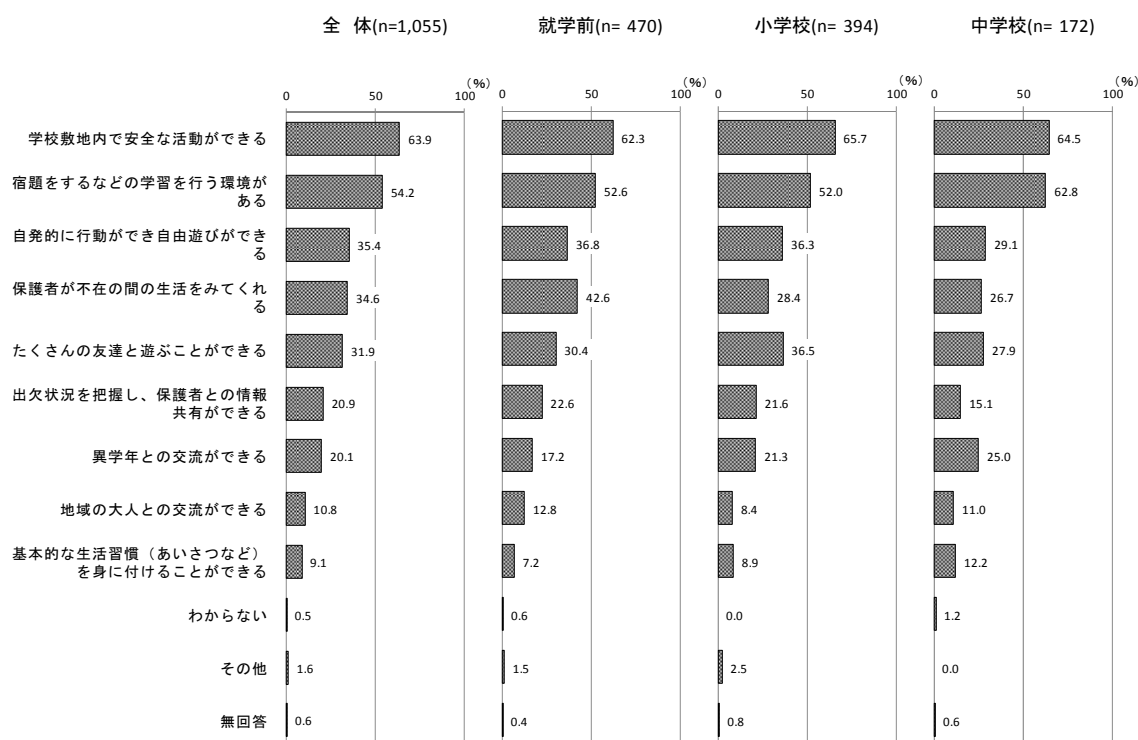
問 40 子どもたちが放課後過ごす場所に求める機能は、どのようなものが考えられますか。
(〇は3つ)

全体では、「学校敷地内で安全な活動ができる」が 63.9%と最も高く、次いで「宿題をするなどの学習を行う環境がある」が 54.2%、「自発的に行動ができ自由遊びができる」が 35.4%となっています。

「その他」の回答には、『校庭や体育館で体を動かすことができる』、『十分な数の大人が配置され適切な見守りがされている（有資格者等）』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「宿題をするなどの学習を行う環境がある」は中学校が就学前、小学校より高くなっています。「保護者が不在の間の生活をみてる」は就学前が小学校、中学校より高くなっています。

図 子どもたちが放課後過ごす場所に求める機能



(5) 北区の子どもの教育に関する情報提供は十分か

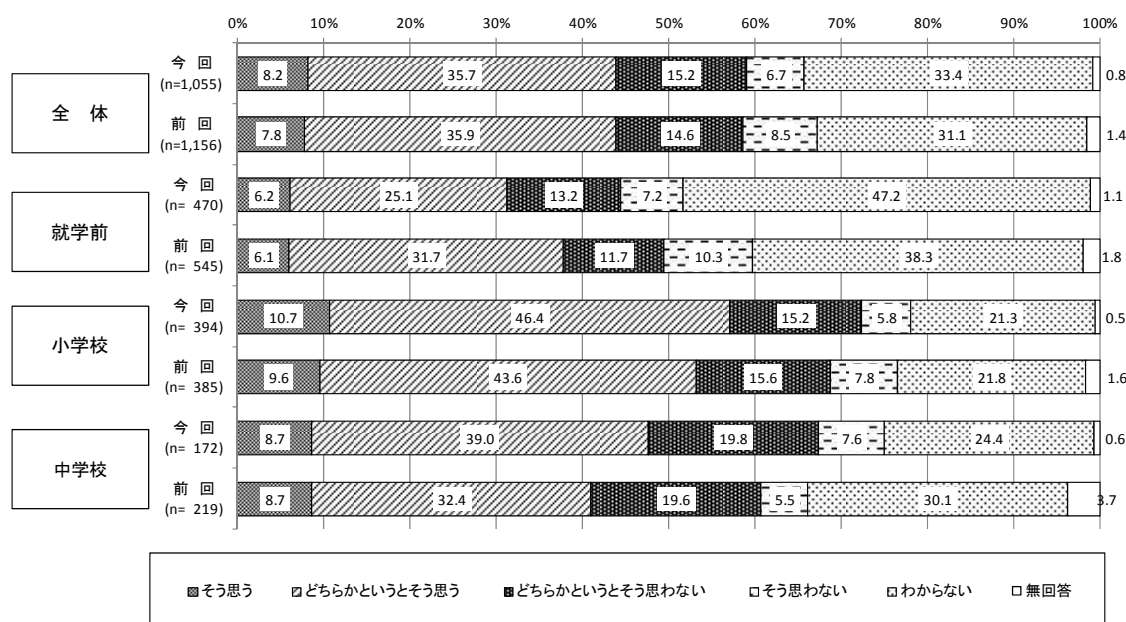
問 41 北区は、子どもの教育に関する情報の提供をよく行っていると思いますか。(〇は1つだけ)

全体では、「そう思う」が8.2%、「どちらかというと思う」が35.7%で、合わせて43.9%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では31.3%、小学校では57.1%、中学校では47.7%で、小学校が高くなっています。

前回調査と比較すると、『そう思う』が小学校ではやや高く、中学校では高くなっています。

図 北区の子どもの教育に関する情報提供は十分か



(6) 「教育先進都市」のイメージ

問 42 北区は「教育先進都市」を掲げていますが、「教育先進都市」と聞いて抱くイメージは何ですか。(〇は3つまで)

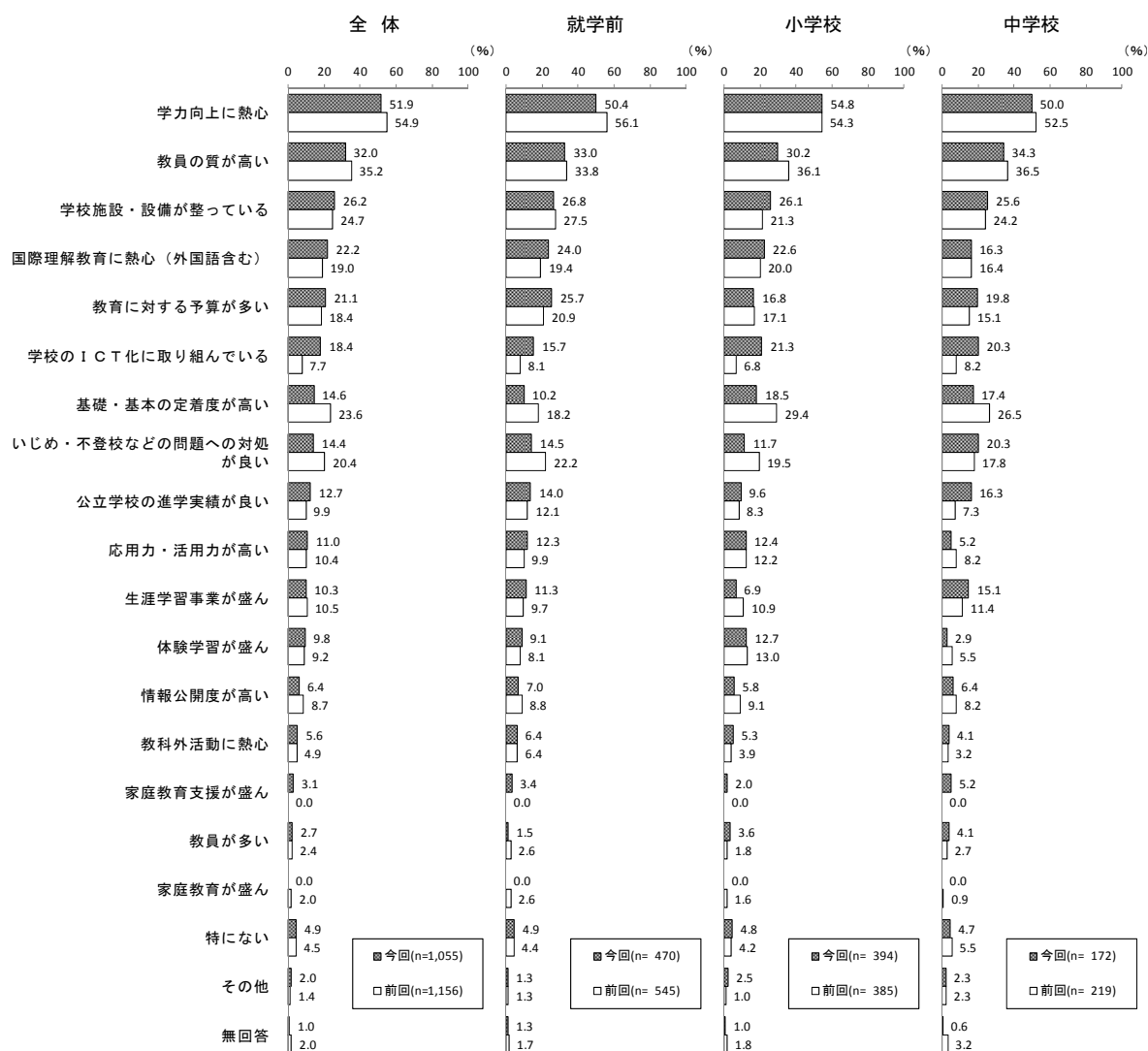
全体では、「学力向上に熱心」が51.9%と最も高く、次いで「教員の質が高い」が32.0%、「学校施設・設備が整っている」が26.2%となっています。

「その他」の回答には、『特別支援教育』、『子供たちが意欲的』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「基礎・基本の定着度が高い」は就学前が小学校、中学校より低くなっています。「体験学習が盛ん」は小学校が就学前、中学校よりやや高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では「基礎・基本の定着度が高い」「いじめ・不登校などの問題への対処が良い」「学力向上に熱心」が低くなっています。小学校では「学校のICT化に取り組んでいる」が高く、「基礎・基本の定着度が高い」「いじめ・不登校などの問題への対処が良い」が低くなっています。中学校では「学校のICT化に取り組んでいる」「公立学校の進学実績が良い」が高く、「基礎・基本の定着度が高い」が低くなっています。

図 「教育先進都市」のイメージ



(7) 今後、北区の教育行政に期待すること

問 43 今後、北区の教育行政に期待することは何ですか。(〇は3つまで)

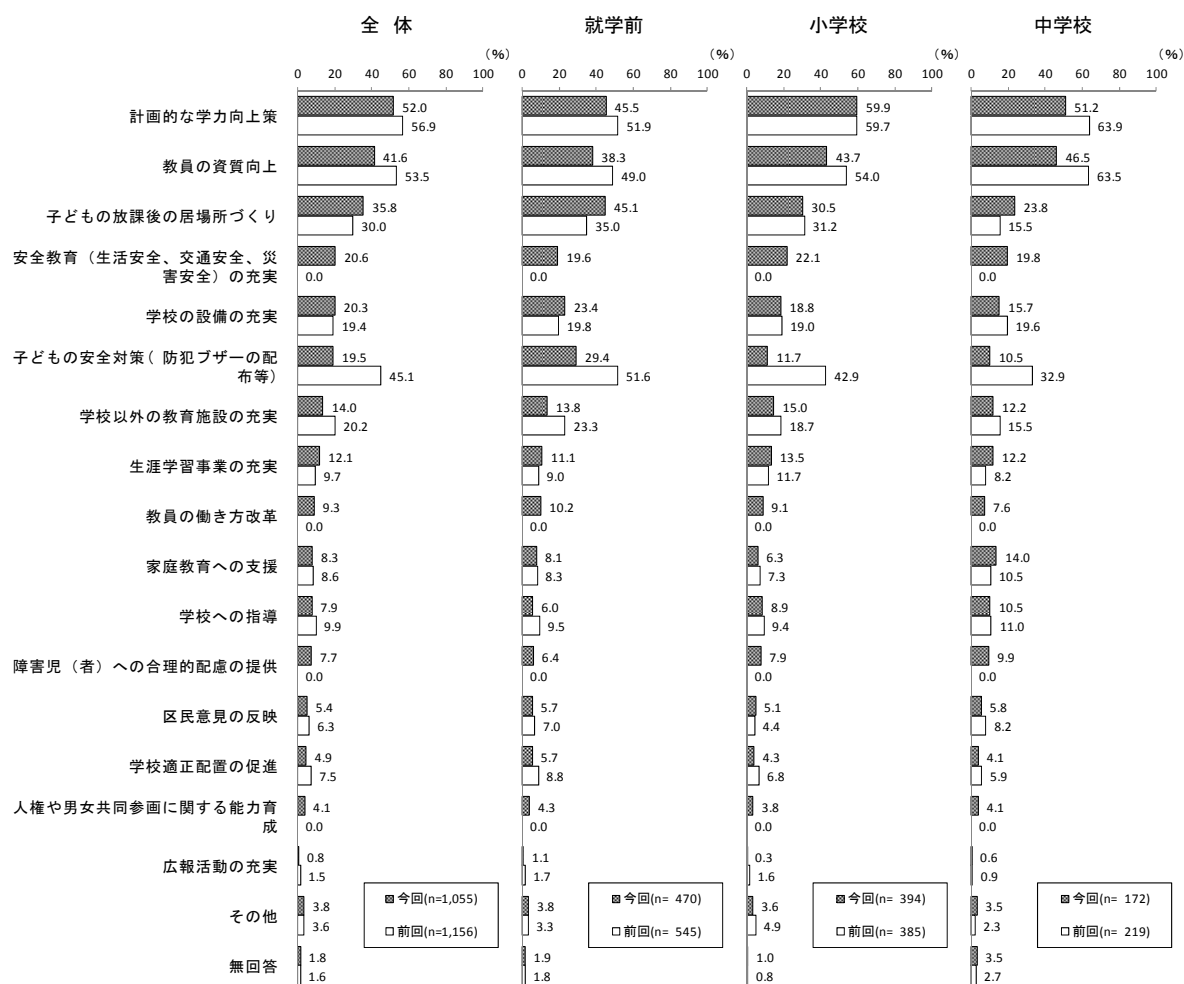
全体では、「計画的な学力向上策」が 52.0%と最も高く、次いで「教員の資質向上」が 41.6%、「子どもの放課後の居場所づくり」が 35.8%となっています。

「その他」の回答には、『子供の学習意欲向上』、『国際理解教育』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「計画的な学力向上策」は小学校が就学前、中学校より高くなっています。「教員の資質向上」は就学先が上がるにつれて高くなっています。一方、「子どもの放課後の居場所づくり」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

前回調査と比較すると、全体では「子どもの安全対策(防犯ブザーの配布等)」、「教員の資質向上」が低くなっています。就学前では「子どもの放課後の居場所づくり」が高くなっています。

図 今後、北区の教育行政に期待すること



8 生涯学習について

(1) 自分ができることを地域や学校で活かしたいか

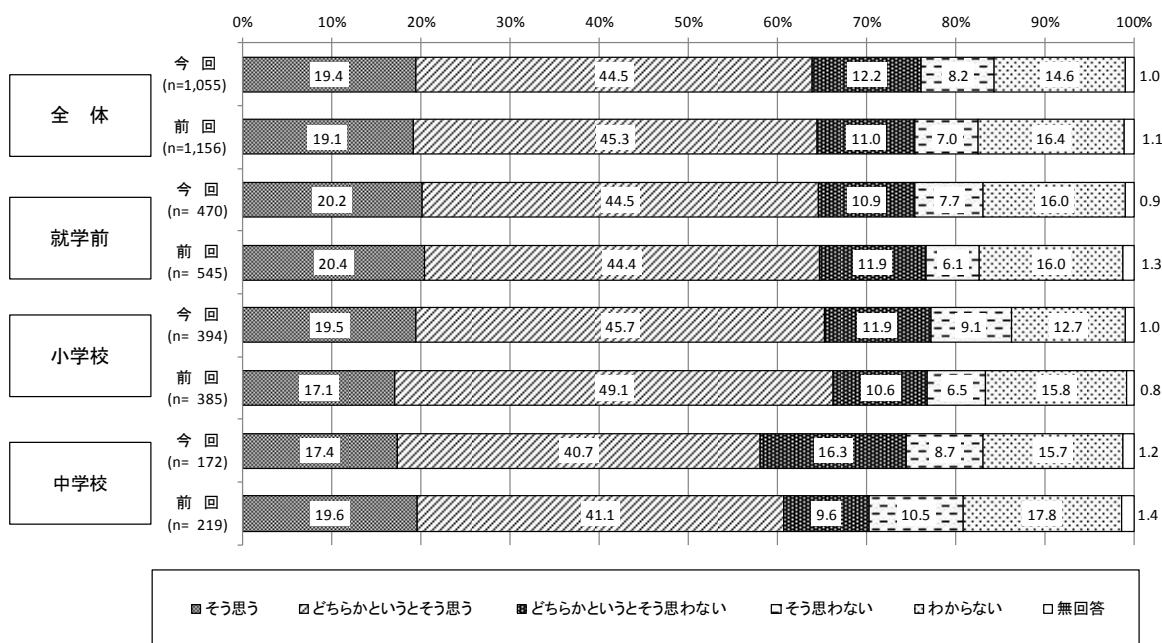
問 44 あなたは、自分ができることを地域や学校で活かしたいと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 19.4%、「どちらかというと思う」が 44.5%で、合わせて 63.9%が『そう思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 64.7%、小学校では 65.2%、中学校では 58.1%となっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も概ね同じような割合となっています。

図 自分ができることを地域や学校で活かしたいか



(2) 生涯学習活動への参加状況

問 45 あなたは、現在何らかの生涯学習活動に参加していますか。(○は1つだけ)

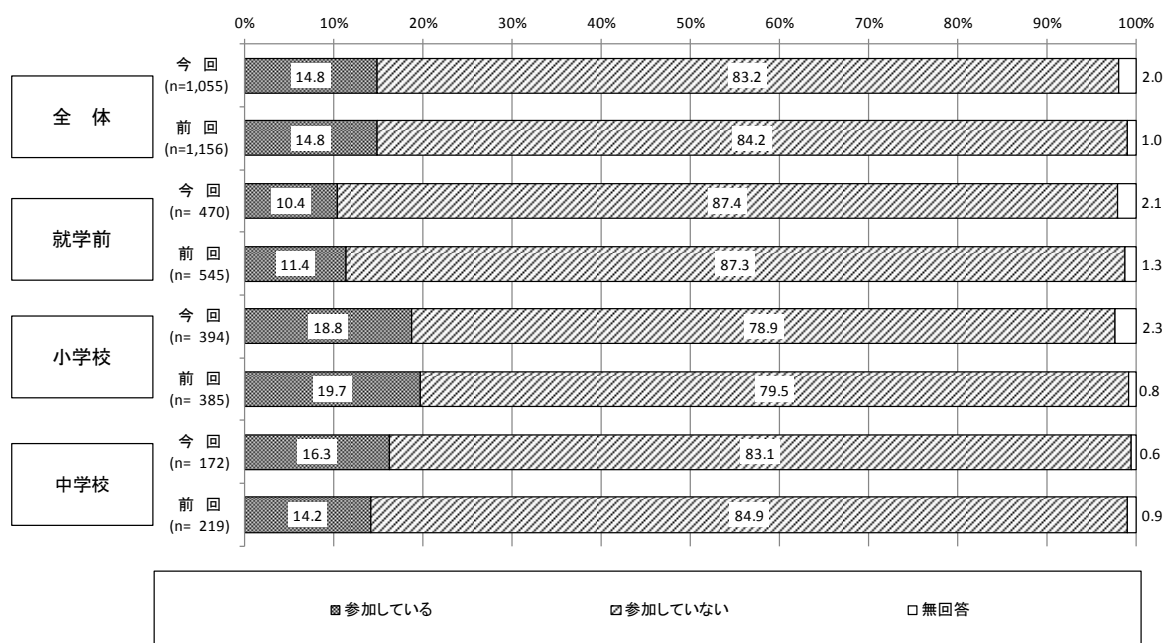
(例:「趣味の講座を受講している」「資格を身に付け、講座を開いている」「ボランティア活動に参加している」「独自に研究を進めている」)

全体では、「参加している」が14.8%、「参加していない」が83.2%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「参加している」は2割未満となっています。

前回調査と比較すると、どの項目も概ね同じような割合となっています。

図 生涯学習活動への参加状況



(3) 文化センターの講座・活動への参加状況

問 46 あなたは、文化センターを利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

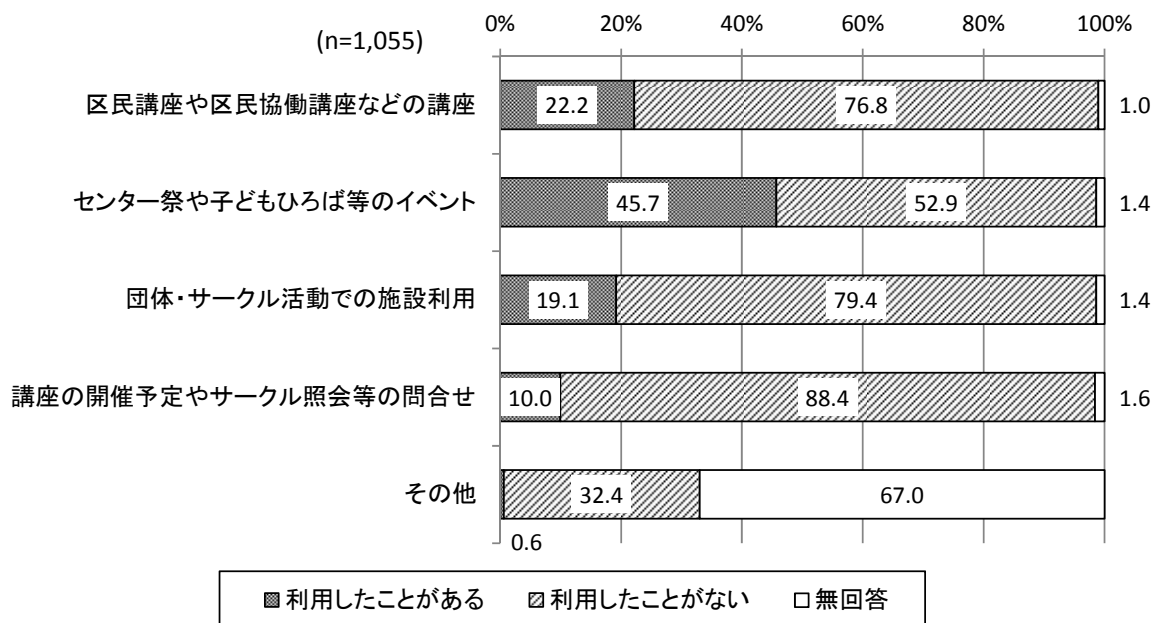
①全体

ア. 利用度

「利用したことがある」は「センター祭や子どもひろば等のイベント」が45.7%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座」が22.2%となっています。

一方、「利用したことがない」は「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が88.4%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が79.4%となっています。

図 文化センターの講座・活動の利用度 (全体)

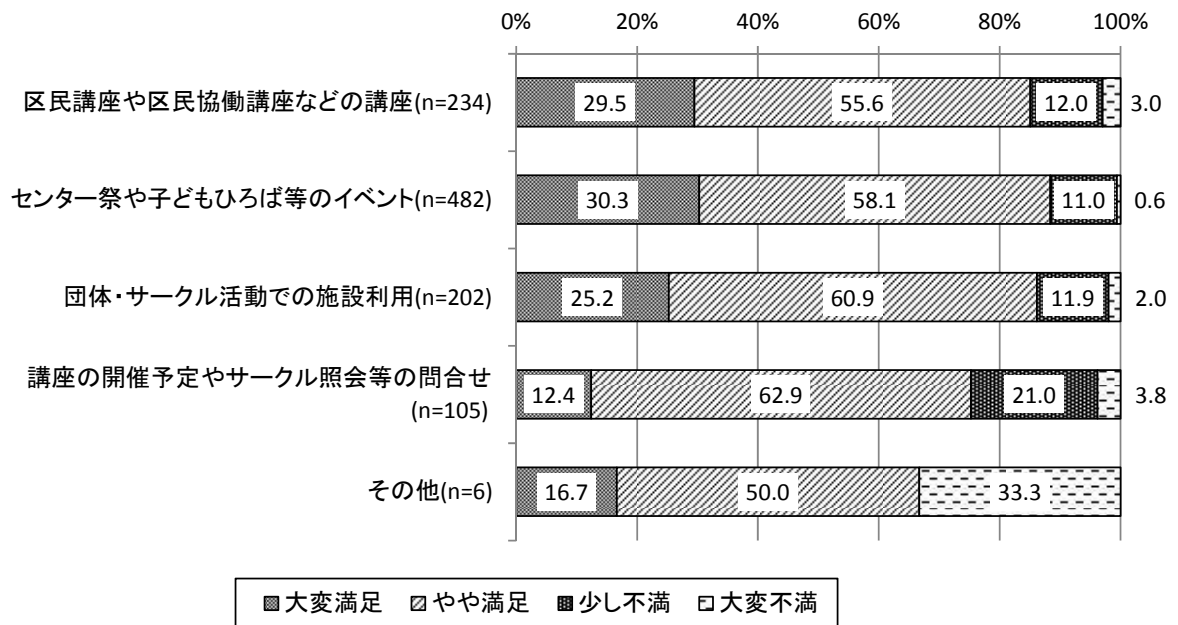


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「センター祭や子どもひろば等のイベント」が88.4%と最も高く、次いで「団体・サークル活動での施設利用」が86.1%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が24.8%と最も高く、次いで、「区民講座や区民協働講座などの講座」が15.0%となっています。

図 文化センターの講座・活動の満足度（全体）



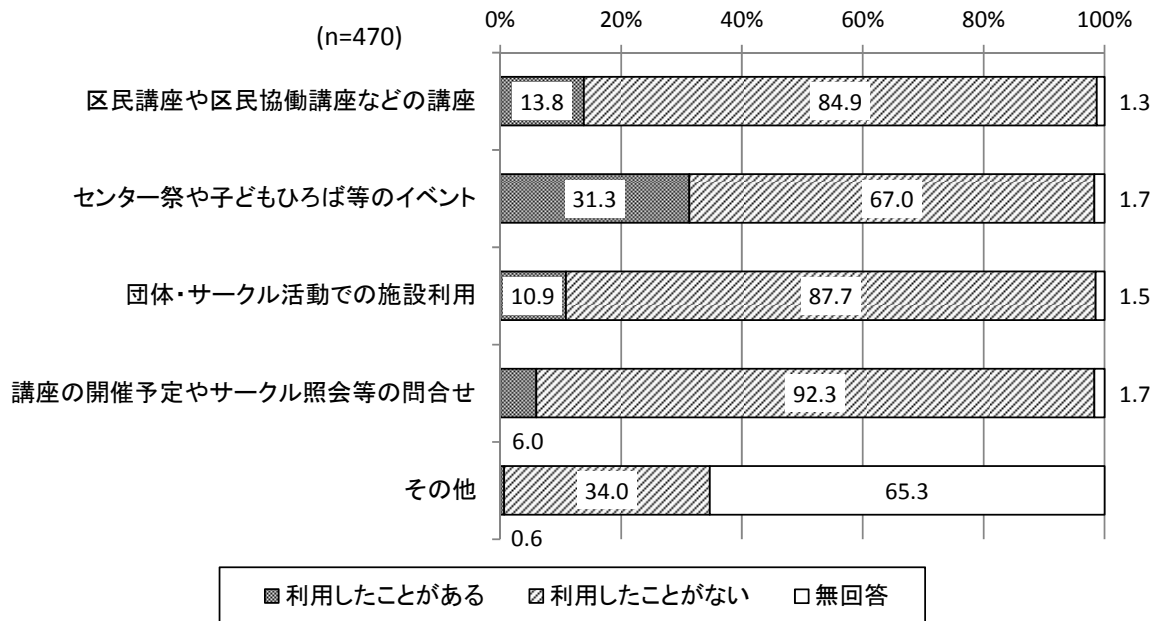
②就学前

ア. 利用度

「利用したことがある」は「センター祭や子どもひろば等のイベント」が31.3%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座」が13.8%となっています。

一方、「利用したことがない」は「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が92.3%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が87.7%となっています。

図 文化センターの講座・活動の利用度（就学前）

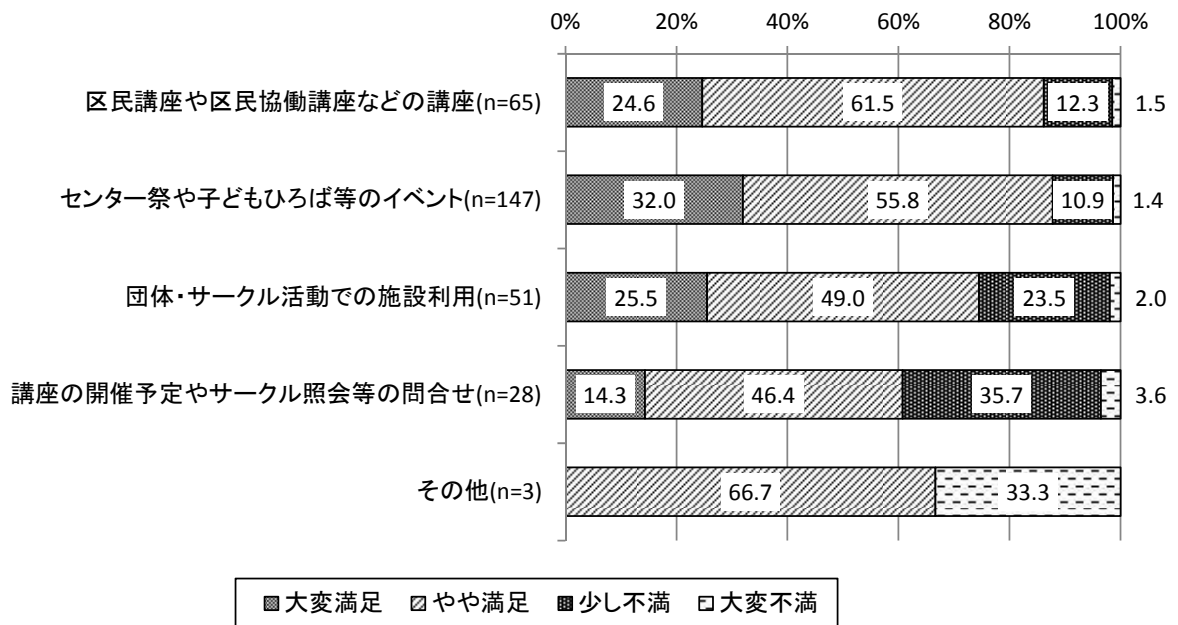


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「センター祭や子どもひろば等のイベント」が87.8%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座」が86.1%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が39.3%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が25.5%となっています。

図 文化センターの講座・活動の満足度（就学前）



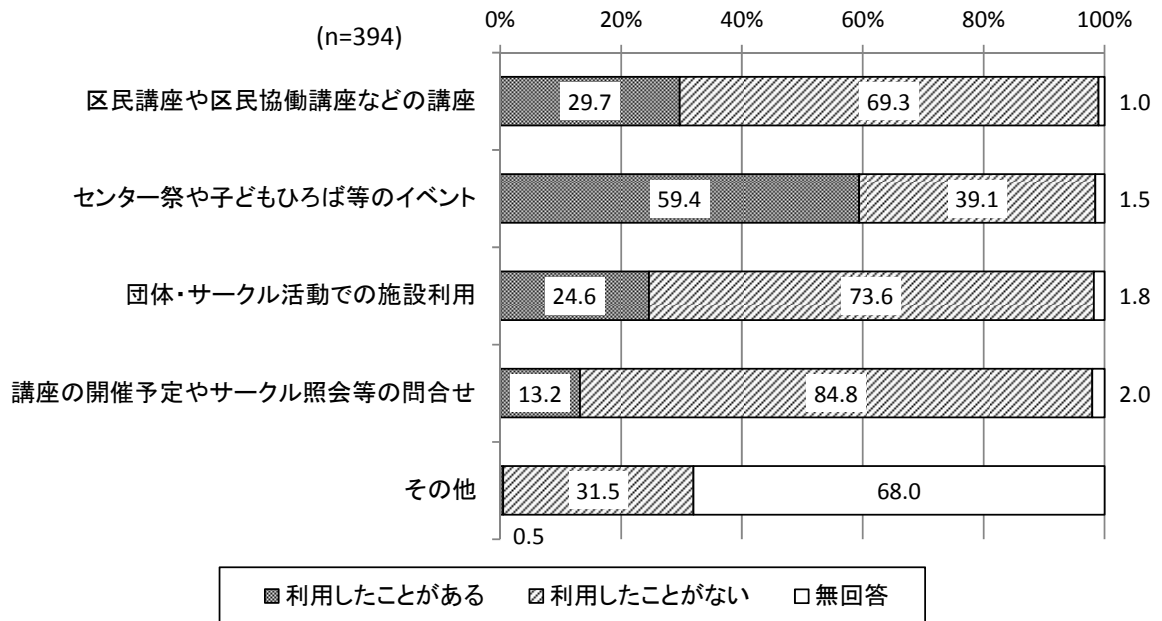
③小学校

ア. 利用度

「利用したことがある」は「センター祭や子どもひろば等のイベント」が59.4%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座」が29.7%となっています。

一方、「利用したことがない」は「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が84.8%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が73.6%となっています。

図 文化センターの講座・活動の利用度（小学校）

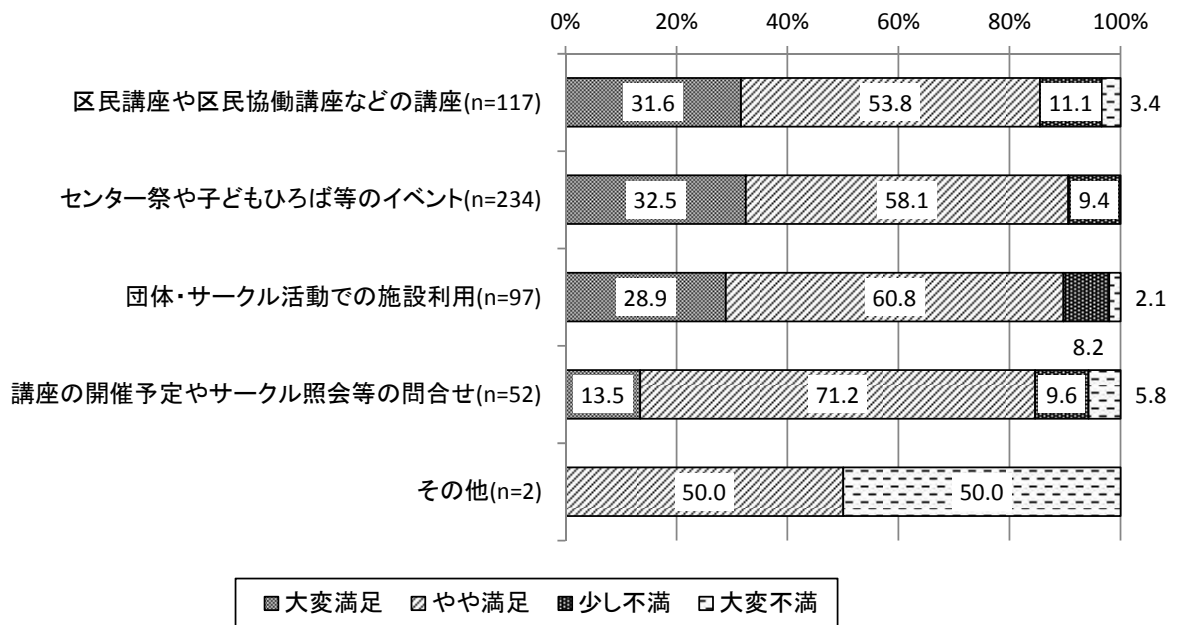


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「センター祭や子どもひろば等のイベント」が90.6%と最も高く、次いで「団体・サークル活動での施設利用」が89.7%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が15.4%と最も高く、次いで、「区民講座や区民協働講座などの講座」が14.5%となっています。

図 文化センターの講座・活動の満足度（小学校）



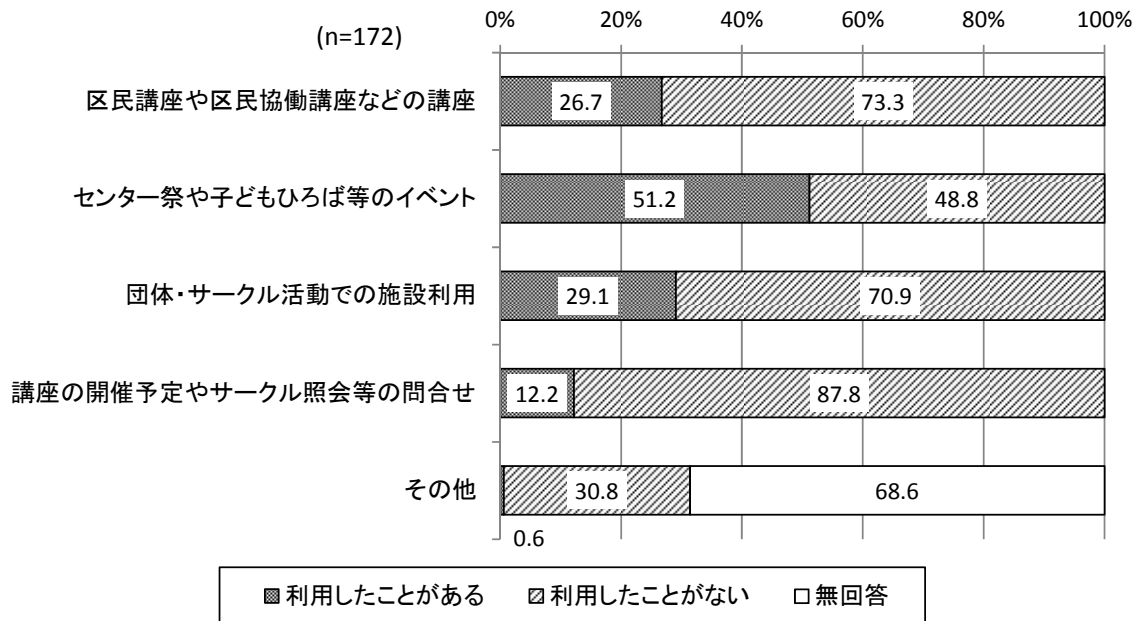
④中学校

ア. 利用度

「利用したことがある」は「センター祭や子どもひろば等のイベント」が51.2%と最も高く、次いで「団体・サークル活動での施設利用」が29.1%となっています。

一方、「利用したことがない」は「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が87.8%と最も高く、次いで、「区民講座や区民協働講座などの講座」が73.3%となっています。

図 文化センターの講座・活動の利用度（中学校）

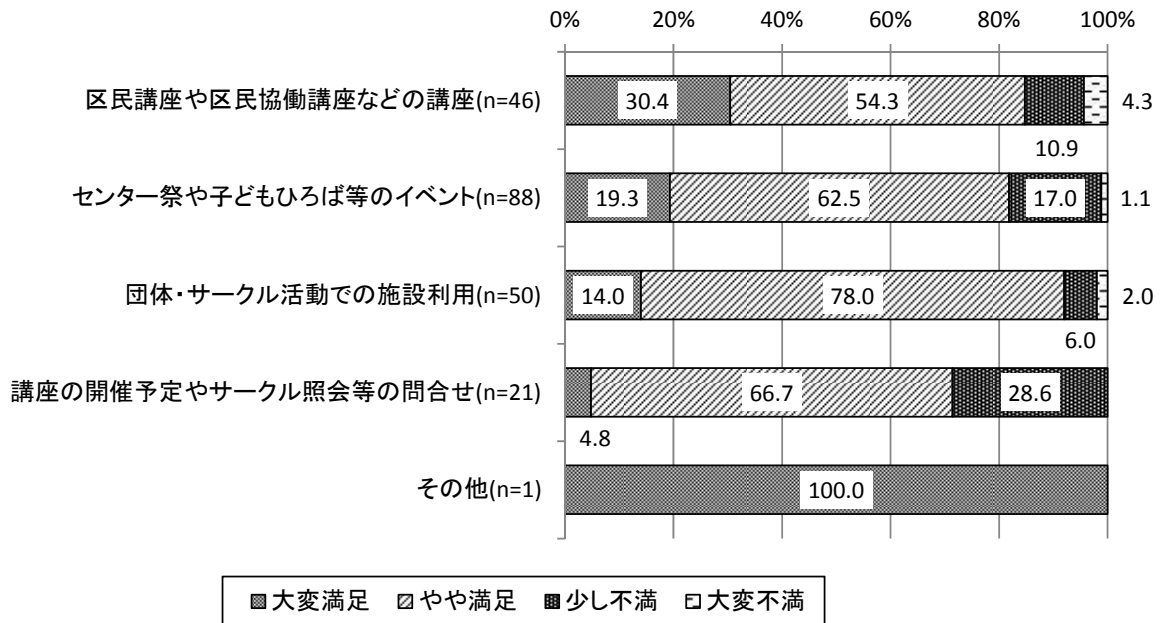


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「団体・サークル活動での施設利用」が92.0%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座」が84.7%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が28.6%と最も高く、次いで、「センター祭や子どもひろば等のイベント」が18.1%となっています。

図 文化センターの講座・活動の満足度（中学校）



(4) 今後、文化センターに期待すること

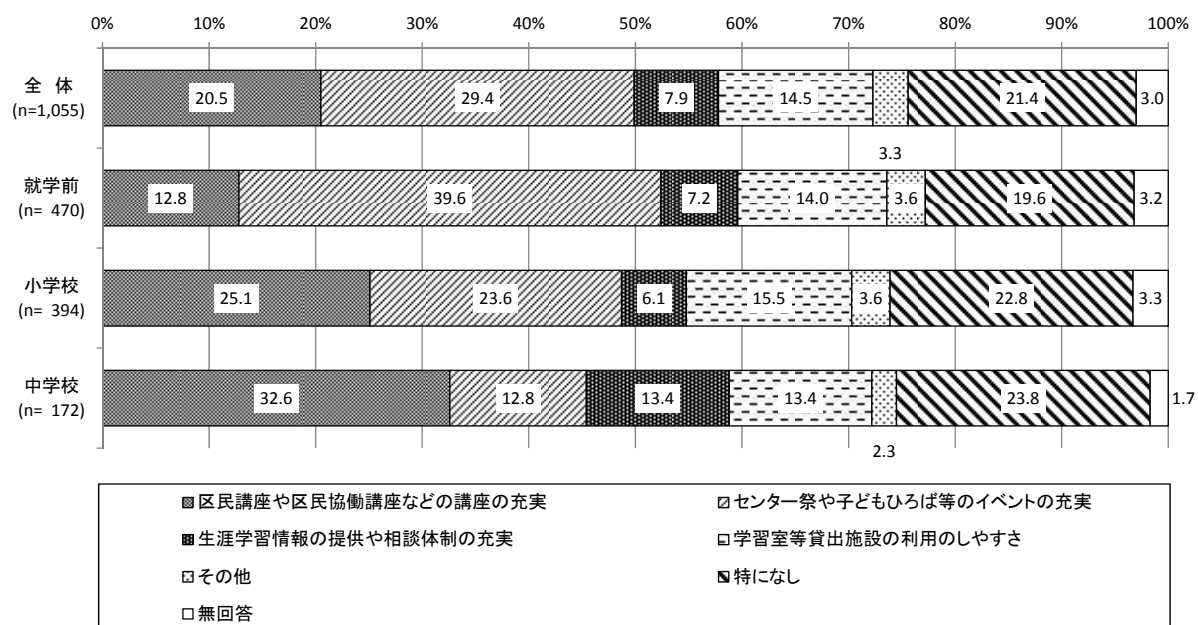
問 47 今後、文化センターに期待することはなんですか？（○は1つだけ）

全体では、「センター祭や子どもひろば等のイベントの充実」が 29.4%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座の充実」が 20.5%、「学習室等貸出施設の利用のしやすさ」が 14.5%となっています。

「その他」の回答には、『土日の講座』、『土・日・夜の利用拡大』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「区民講座や区民協働講座などの講座の充実」は就学先が上がるにつれて高くなっています。一方、「センター祭や子どもひろば等のイベントの充実」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

図 今後、文化センターに期待すること



(5) 区立図書館の講座・活動への参加状況

問 48 あなたは、区立図書館を利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

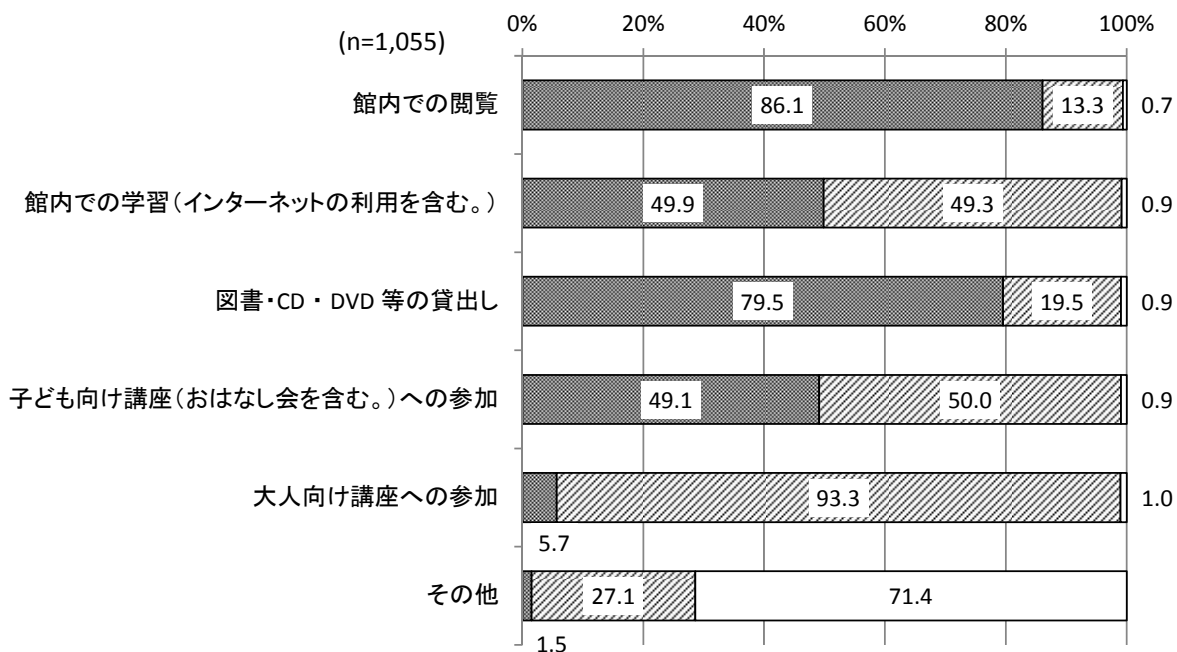
①全体

ア. 利用度

「利用したことがある」は「館内での閲覧」が86.1%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が79.5%となっています。

一方、「利用したことがない」は「大人向け講座への参加」が93.3%と最も高く、次いで、「子ども向け講座(おはなし会を含む。)への参加」が50.0%となっています。

図 区立図書館の講座・活動の利用度 (全体)



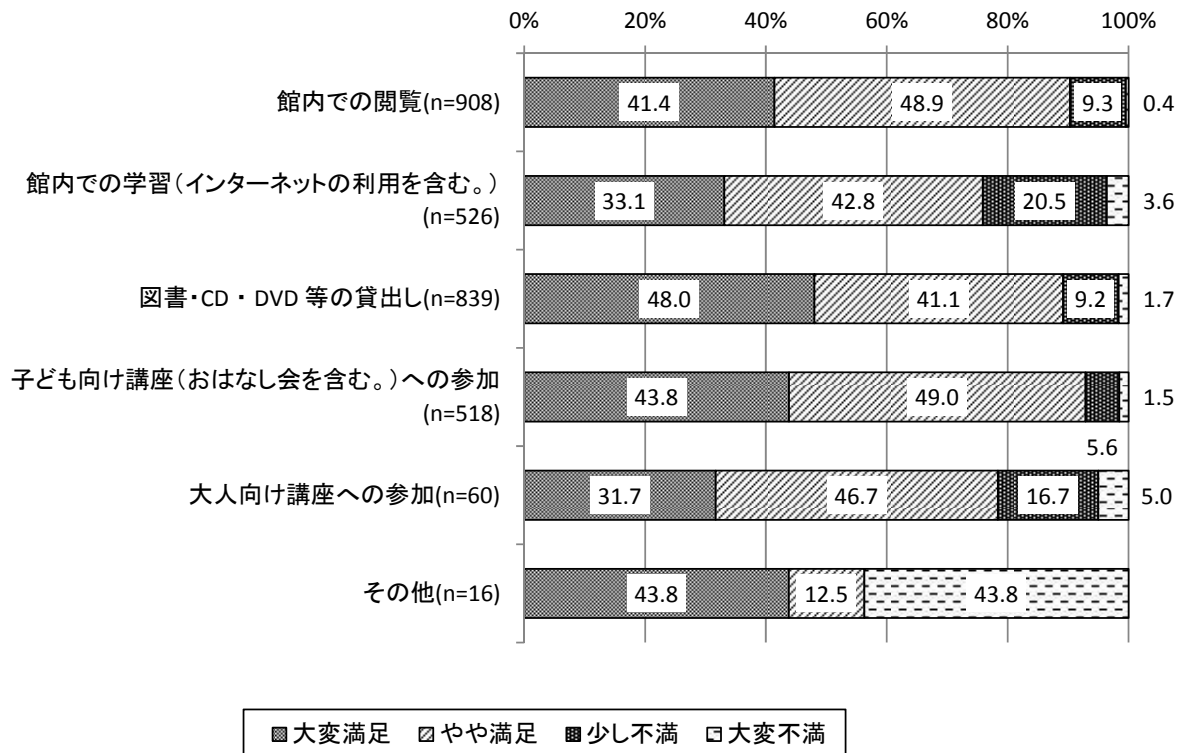
■ 利用したことがある ▨ 利用したことがない □ 無回答

イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が92.8%と最も高く、次いで「館内での閲覧」が90.3%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」が24.1%と最も高く、次いで、「大人向け講座への参加」が21.7%となっています。

図 区立図書館の講座・活動の満足度（全体）



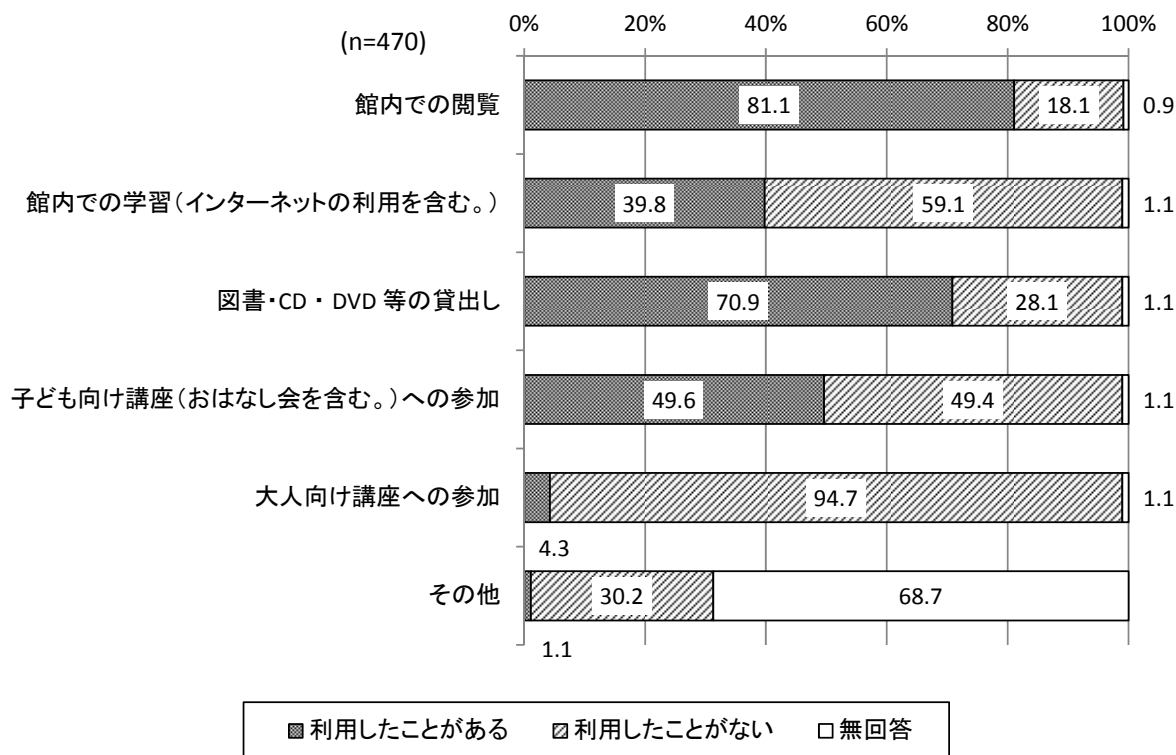
②就学前

ア. 利用度

「利用したことがある」は「館内での閲覧」が81.1%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が70.9%となっています。

一方、「利用したことがない」は「大人向け講座への参加」が94.7%と最も高く、次いで、「館内での学習（インターネットの利用を含む）」が59.1%となっています。

図 区立図書館の講座・活動の利用度（就学前）

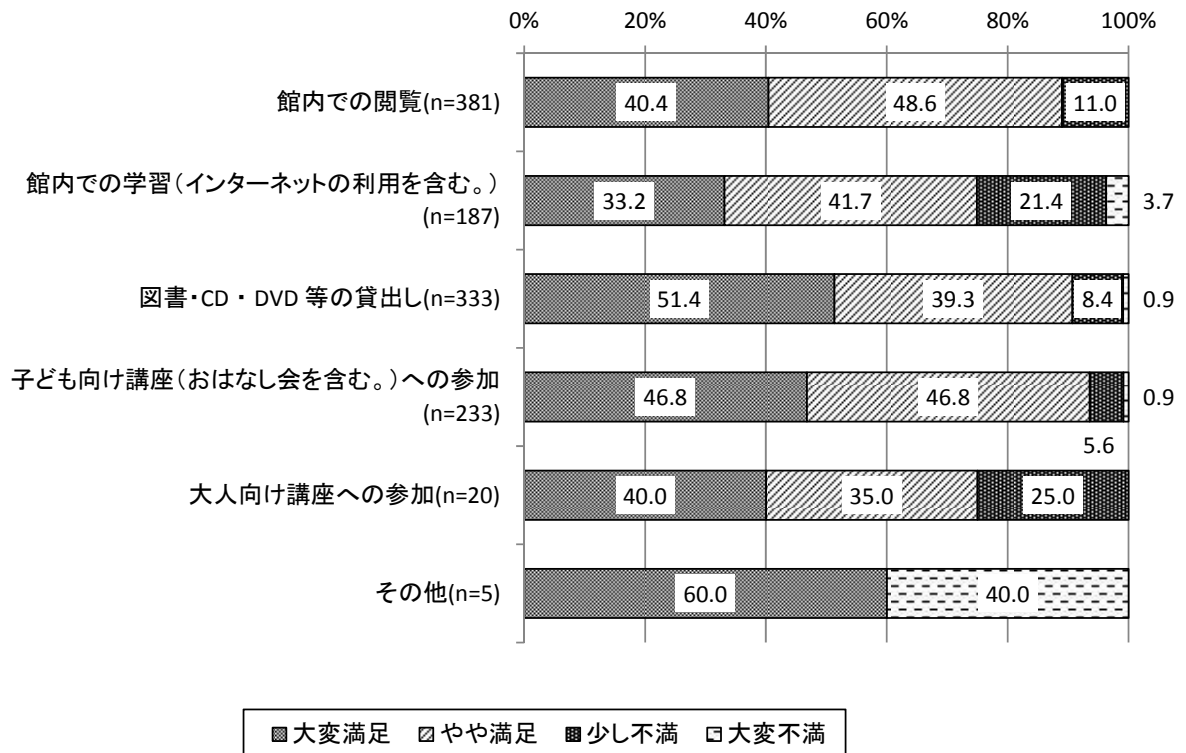


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が 93.6%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が 90.7%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」が 25.1%と最も高く、次いで、「大人向け講座への参加」が 25.0%となっています。

図 区立図書館の講座・活動の満足度（就学前）



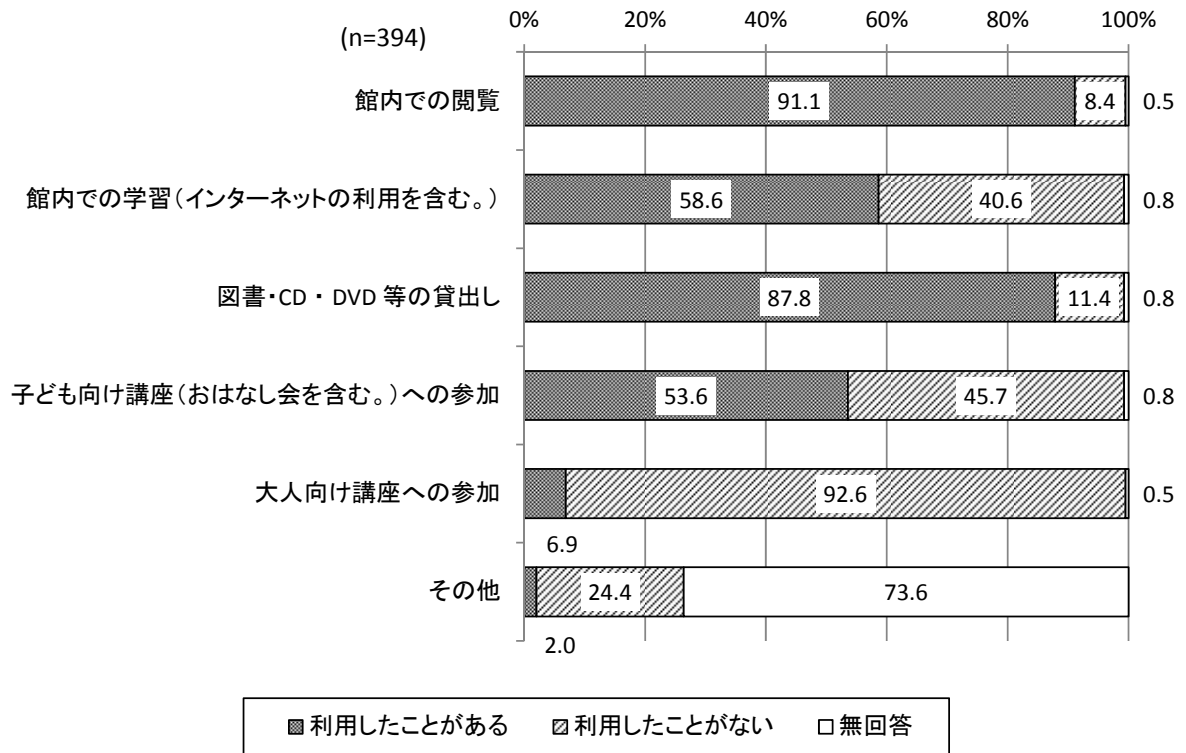
③小学校

ア. 利用度

「利用したことがある」は「館内での閲覧」が91.1%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が87.8%となっています。

一方、「利用したことがない」は「大人向け講座への参加」が92.6%と最も高く、次いで、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が45.7%となっています。

図 区立図書館の講座・活動の利用度（小学校）

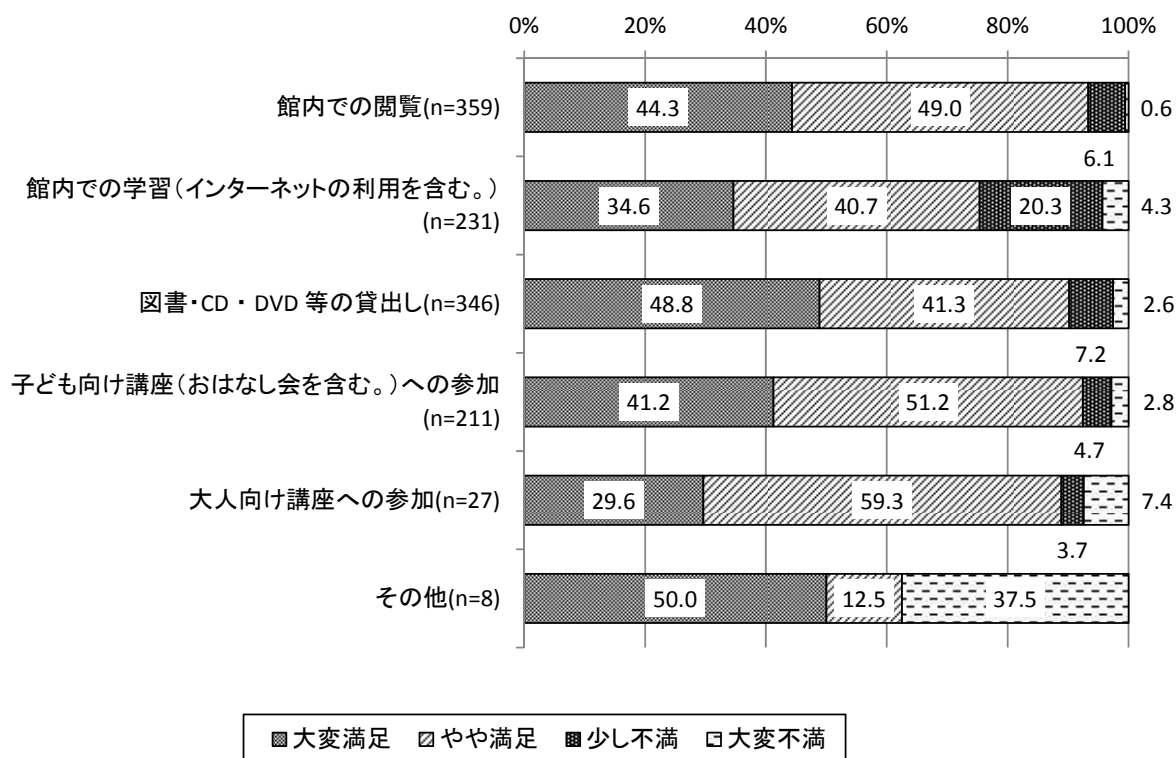


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「館内での閲覧」が93.3%と最も高く、次いで「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が92.4%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」が24.6%と最も高く、次いで、「大人向け講座への参加」が11.1%となっています。

図 区立図書館の講座・活動の満足度（小学校）



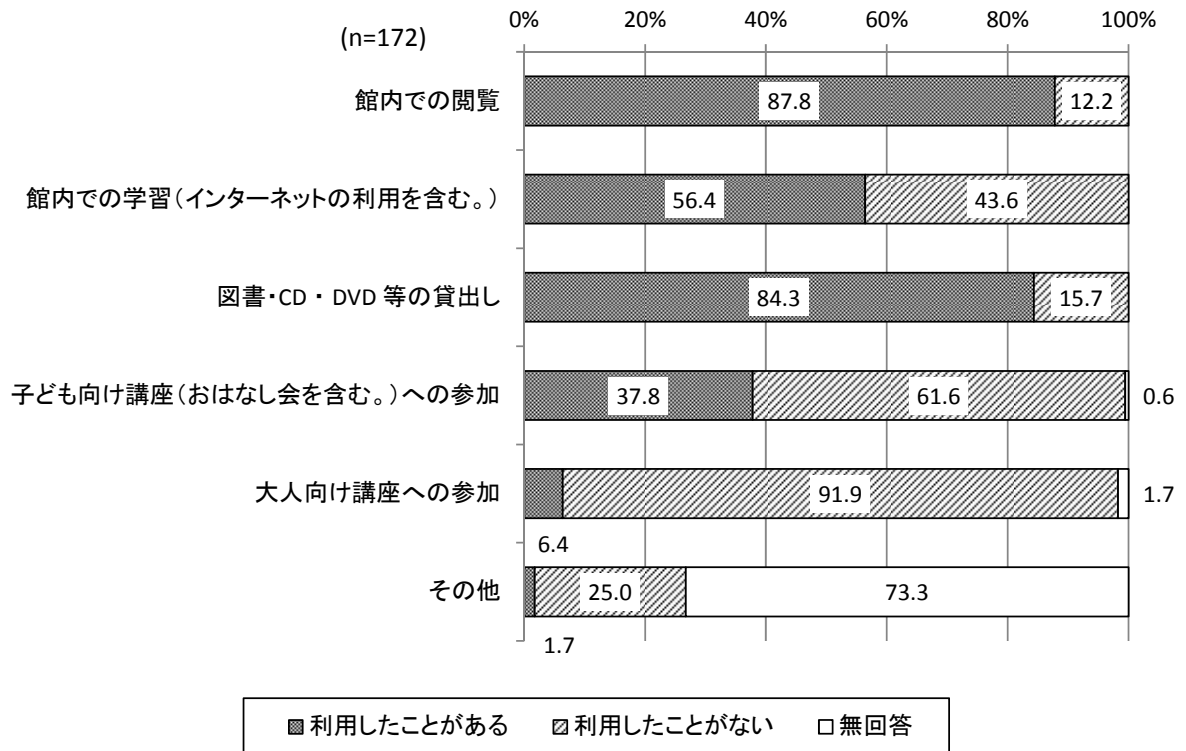
④中学校

ア. 利用度

「利用したことがある」は「館内での閲覧」が87.8%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が84.3%となっています。

一方、「利用したことがない」は「大人向け講座への参加」が91.9%と最も高く、次いで、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が61.6%となっています。

図 区立図書館の講座・活動の利用度（中学校）

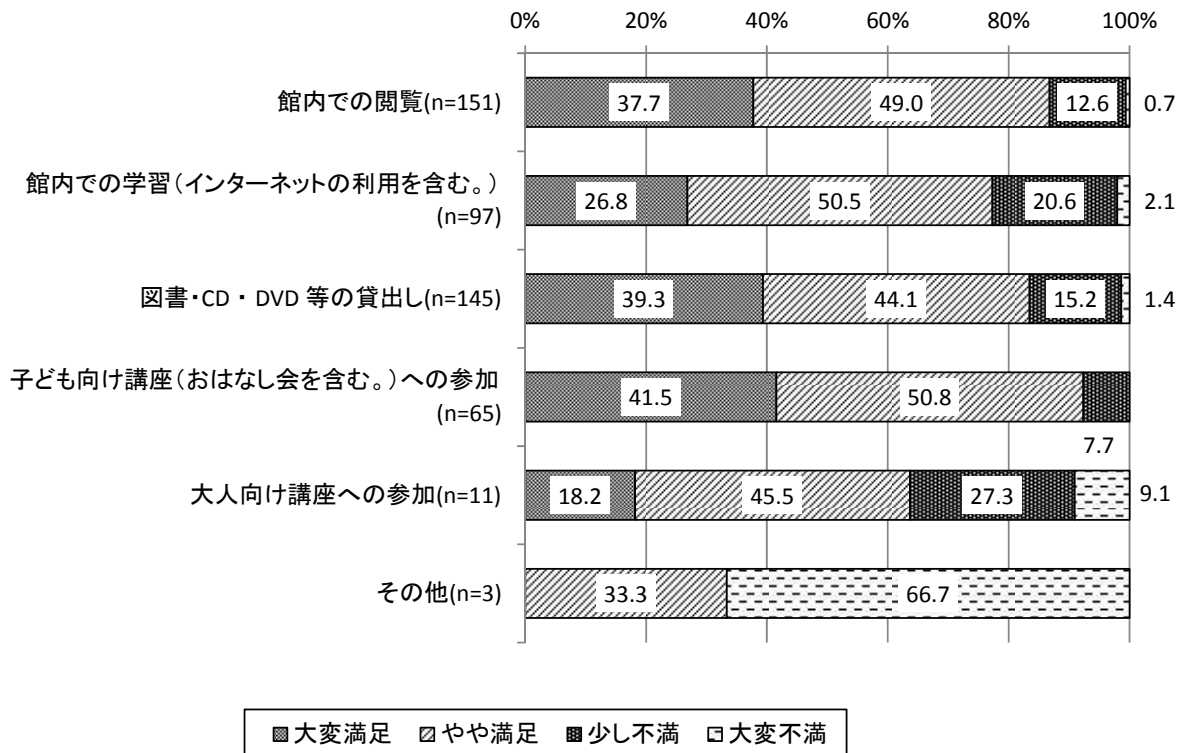


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が92.3%と最も高く、次いで「館内での閲覧」が86.7%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「大人向け講座への参加」が36.4%と最も高く、次いで、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」が22.7%となっています。

図 区立図書館の講座・活動の満足度（中学校）



(6) 今後、区立図書館に期待すること

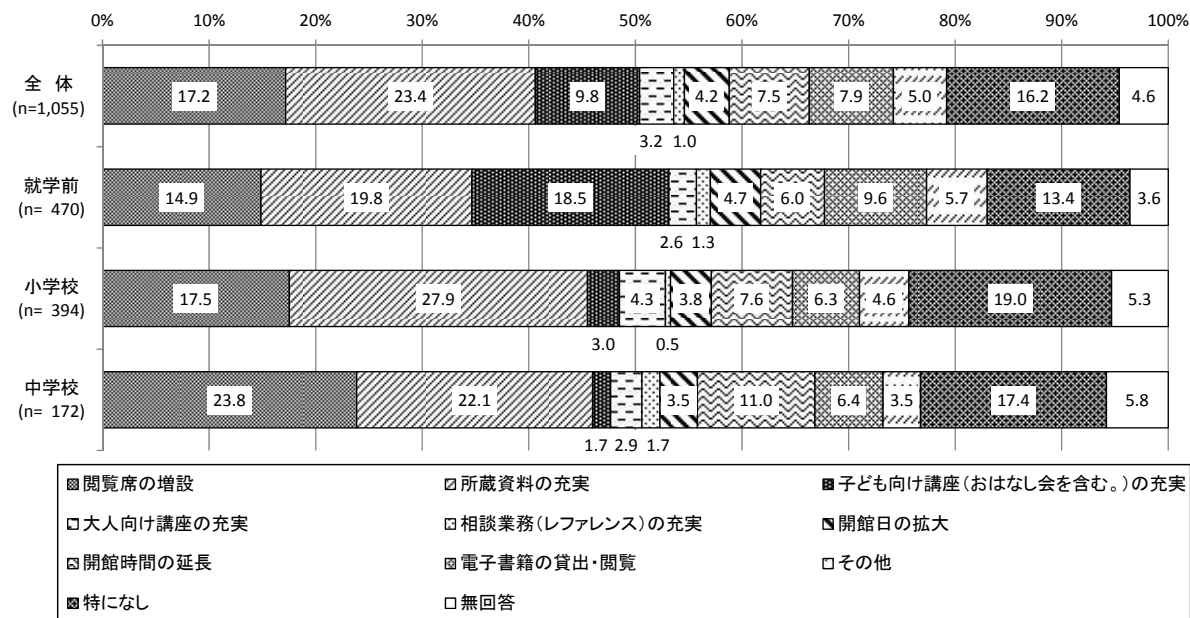
問 49 今後、区立図書館に期待することはなんですか？（〇は1つだけ）

全体では、「所蔵資料の充実」が 23.4%と最も高く、次いで「閲覧席の増設」が 17.2%、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）の充実」が 9.8%となっています。

「その他」の回答には、『子供コーナーの拡大・充実』、『自習スペースの増設』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「閲覧席の増設」は就学先が上がるにつれて高くなっていきます。また、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）の充実」は就学前が小学校、中学校より高くなっていきます。

図 今後、区立図書館に期待すること



(7) 飛鳥山博物館の講座・活動への参加状況

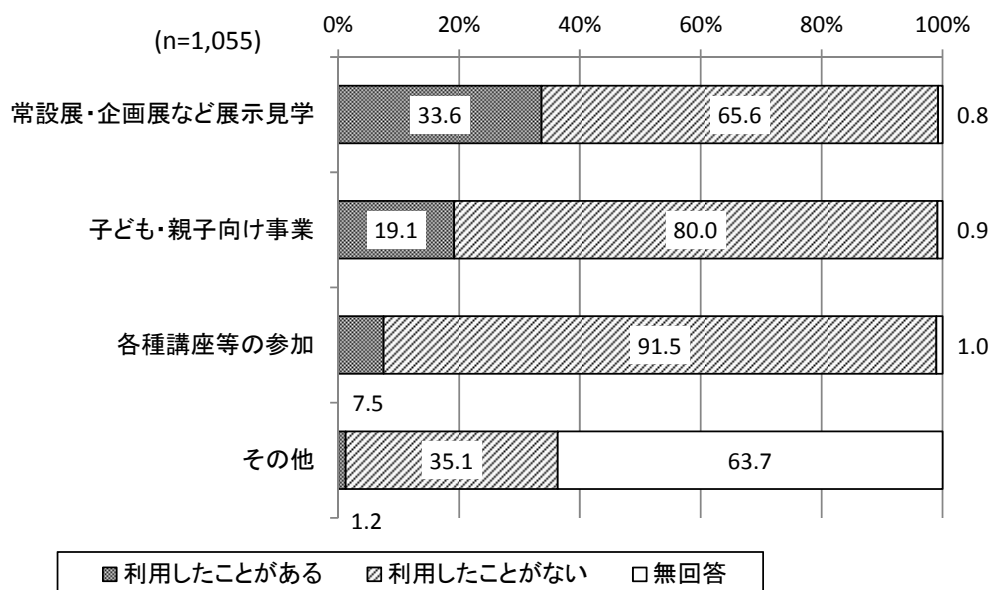
問 50 あなたは、飛鳥山博物館を利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

①全体

ア. 利用度

「利用したことがある」は「常設展・企画展など展示見学」が33.6%と最も高く、次いで、「子ども・親子向け事業」が19.1%、「各種講座等の参加」が7.5%となっています。

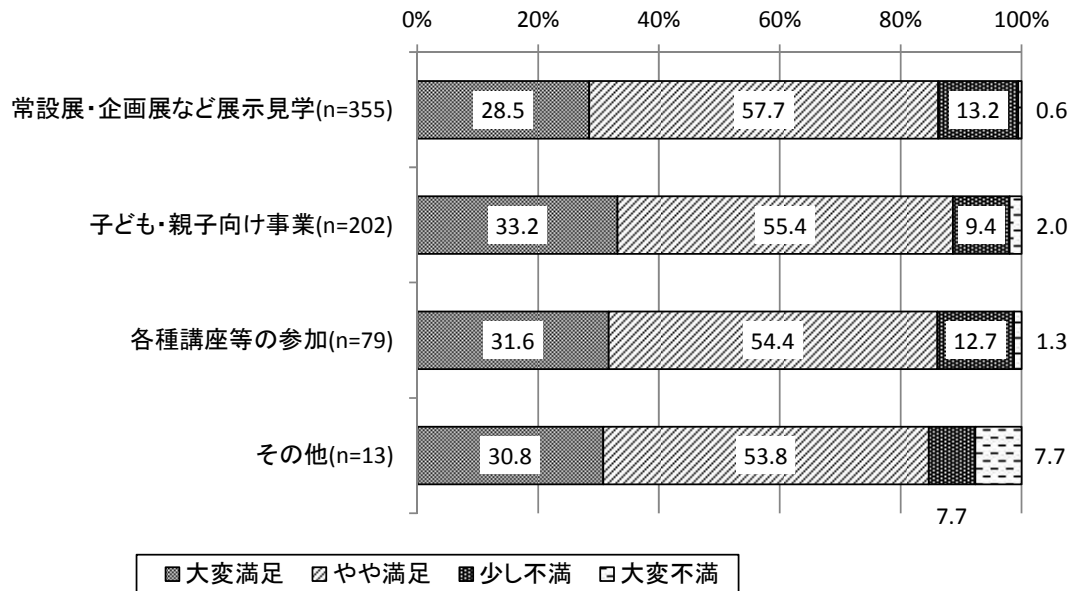
図 飛鳥山博物館の講座・活動の利用度 (全体)



イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども・親子向け事業」が88.6%と最も高く、次いで「常設展・企画展など展示見学」が86.2%、「各種講座等の参加」が86.0%となっています。

図 飛鳥山博物館の講座・活動の満足度（全体）

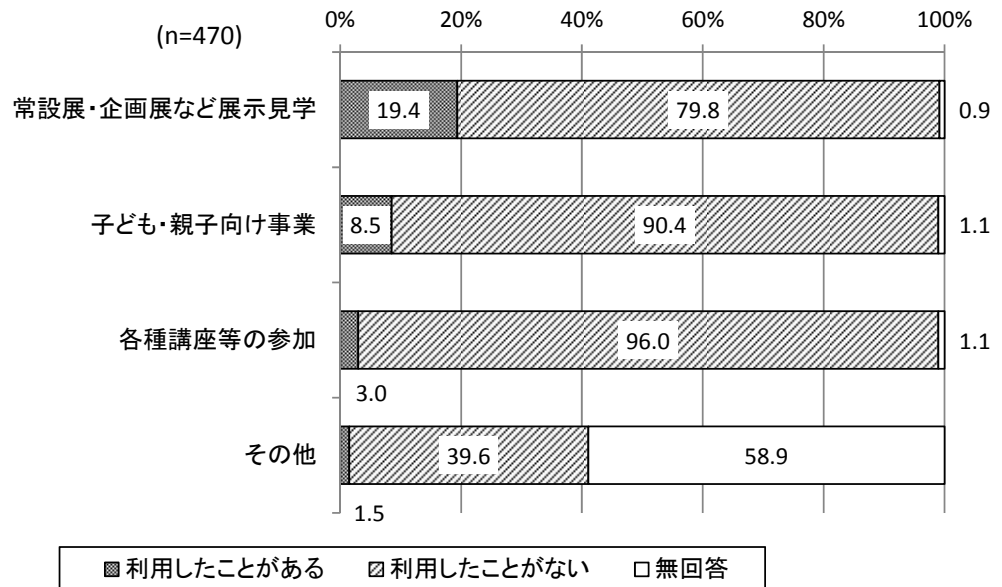


②就学前

ア. 利用度

「利用したことがある」は「常設展・企画展など展示見学」が19.4%と最も高く、次いで、「子ども・親子向け事業」が8.5%、「各種講座等の参加」が3.0%となっています。

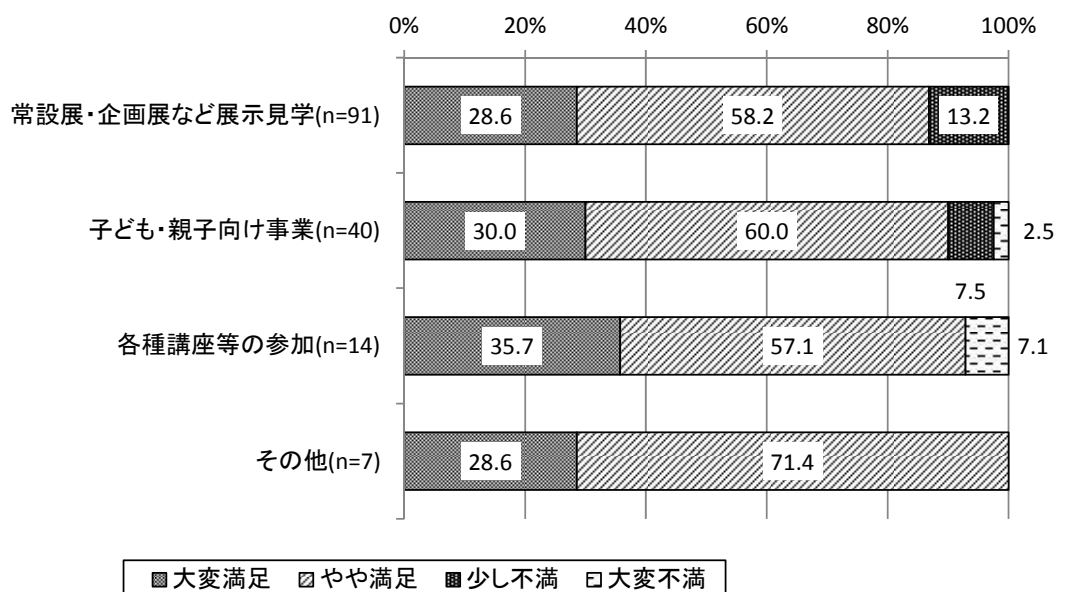
図 飛鳥山博物館の講座・活動の利用度（就学前）



イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「各種講座等の参加」が92.8%と最も高く、次いで「子ども・親子向け事業」が90.0%、「常設展・企画展など展示見学」が86.8%となっています。

図 飛鳥山博物館の講座・活動の満足度（就学前）

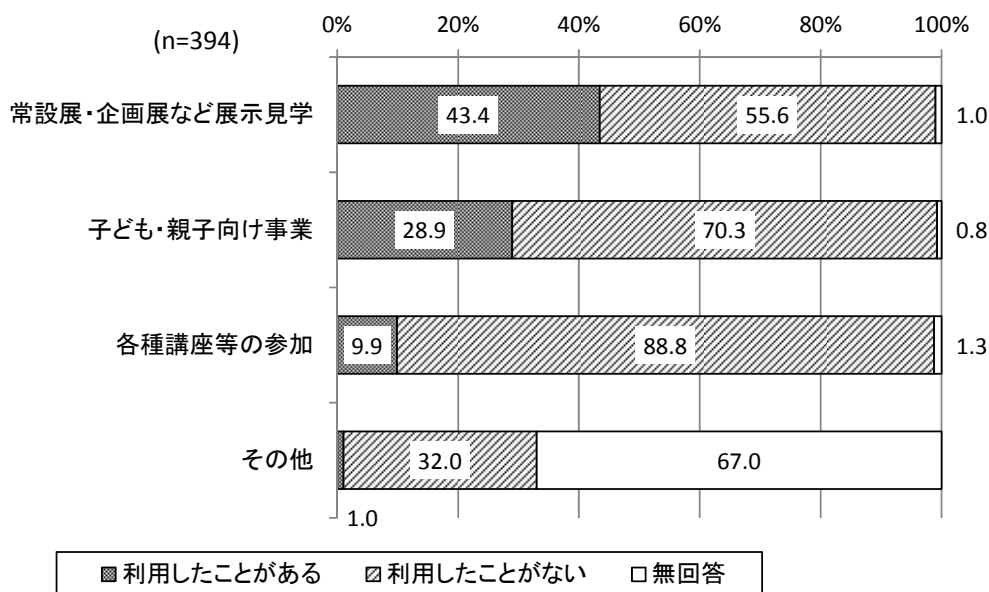


③小学校

ア. 利用度

「利用したことがある」は「常設展・企画展など展示見学」が43.4%と最も高く、次いで、「子ども・親子向け事業」が28.9%、「各種講座等の参加」が9.9%となっています。

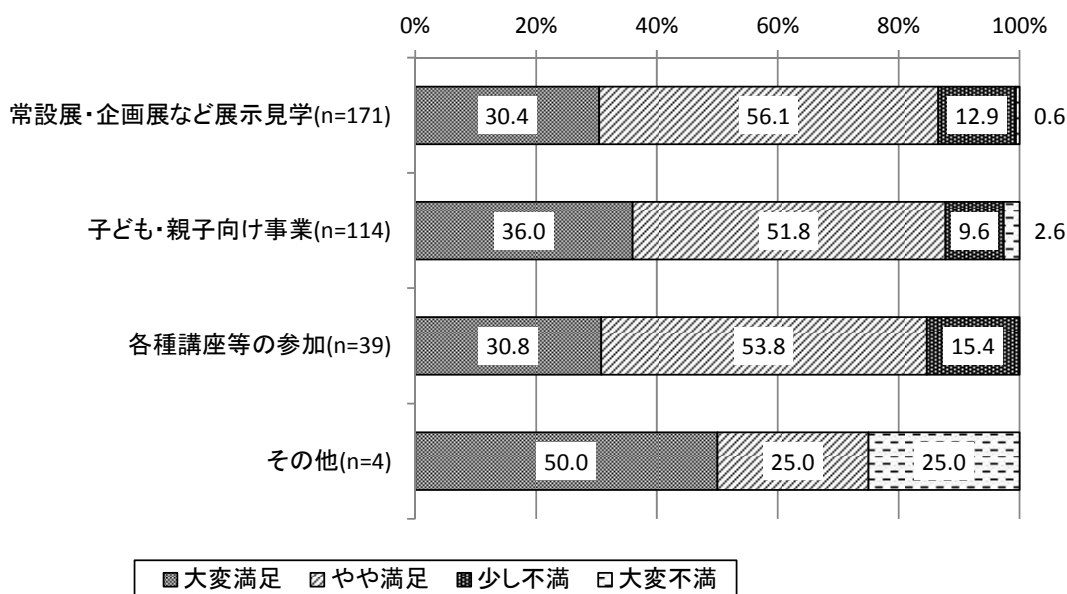
図 飛鳥山博物館の講座・活動の利用度（小学校）



イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども・親子向け事業」が87.8%と最も高く、次いで「常設展・企画展など展示見学」が86.5%、「各種講座等の参加」が84.6%となっています。

図 飛鳥山博物館の講座・活動の満足度（小学校）

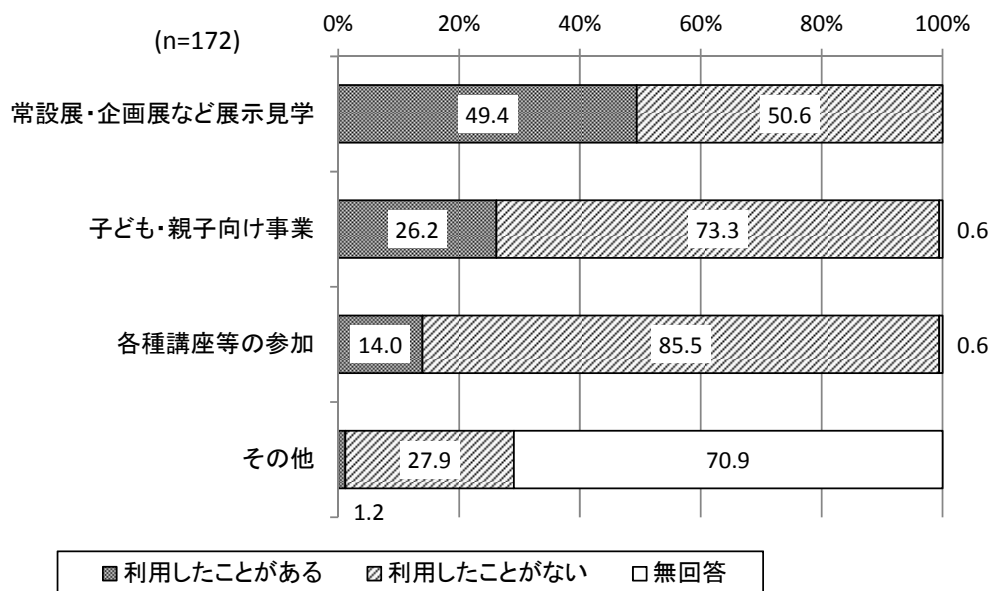


④中学校

ア. 利用度

「利用したことがある」は「常設展・企画展など展示見学」が49.4%と最も高く、次いで、「子ども・親子向け事業」が26.2%、「各種講座等の参加」が14.0%となっています。

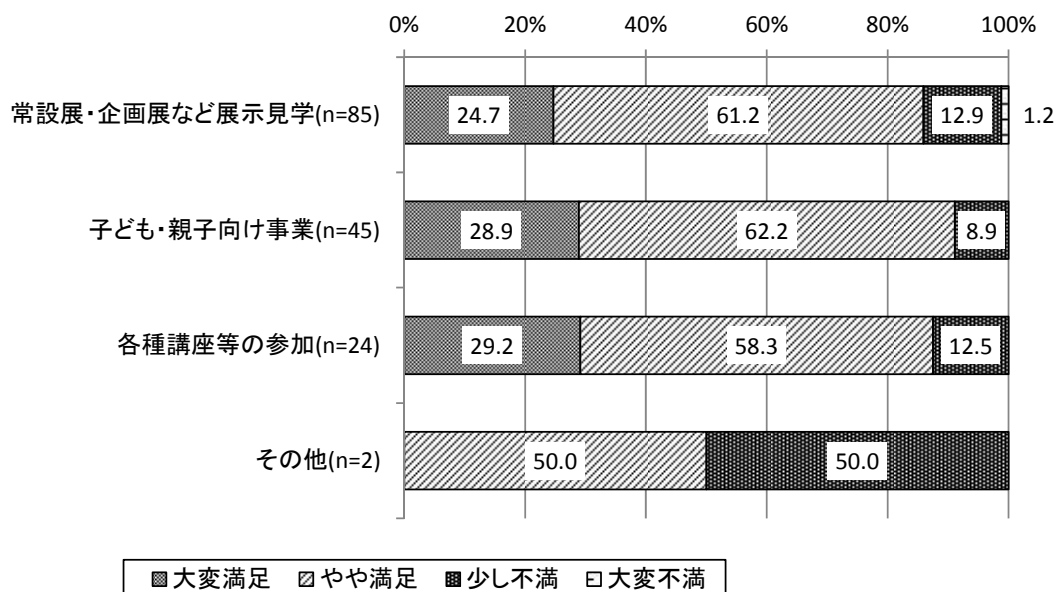
図 飛鳥山博物館の講座・活動の利用度（中学校）



イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども・親子向け事業」が91.1%と最も高く、次いで「各種講座等の参加」が87.5%、「常設展・企画展など展示見学」が85.9%となっています。

図 飛鳥山博物館の講座・活動の満足度（中学校）



(8) 今後、飛鳥山博物館に期待すること

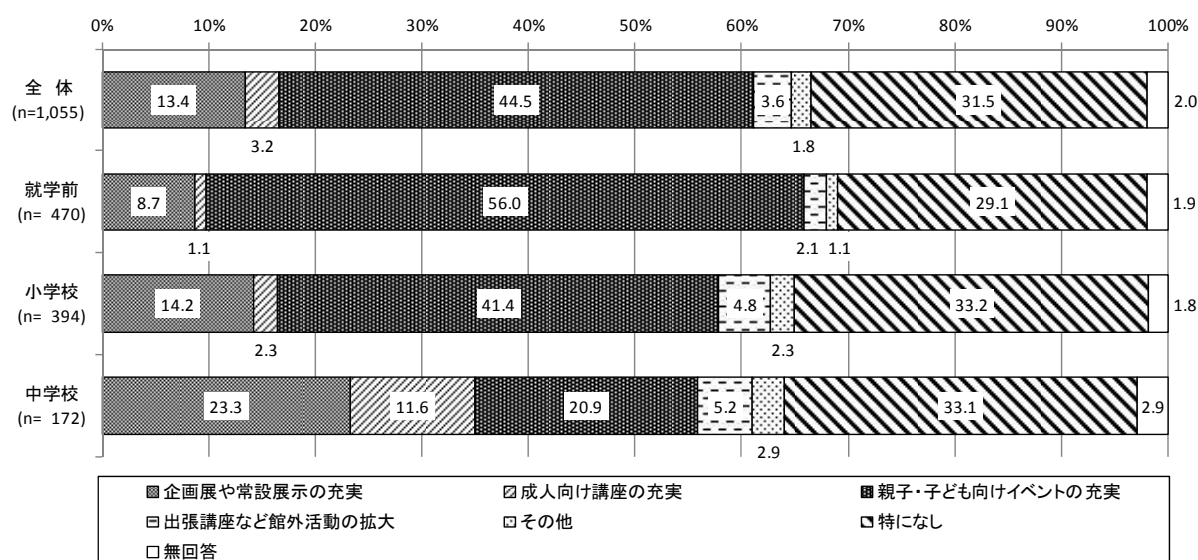
問 51 今後、飛鳥山博物館に期待することはなんですか？（○は1つだけ）

全体では、「親子・子ども向けイベントの充実」が 44.5%と最も高く、次いで「企画展や常設展示の充実」が 13.4%、「出張講座など館外活動の拡大」が 3.6%となっています。

「その他」の回答には、『PRの充実』、『美術品の展示』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「親子・子ども向けイベントの充実」は就学先が上がるにつれて低くなっています。一方、「企画展や常設展示の充実」は就学先が上がるにつれて高くなっています。

図 今後、飛鳥山博物館に期待すること



(9) 生涯学習のために力を入れて欲しいこと

問 52 あなたが、生涯学習のために力を入れて欲しいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

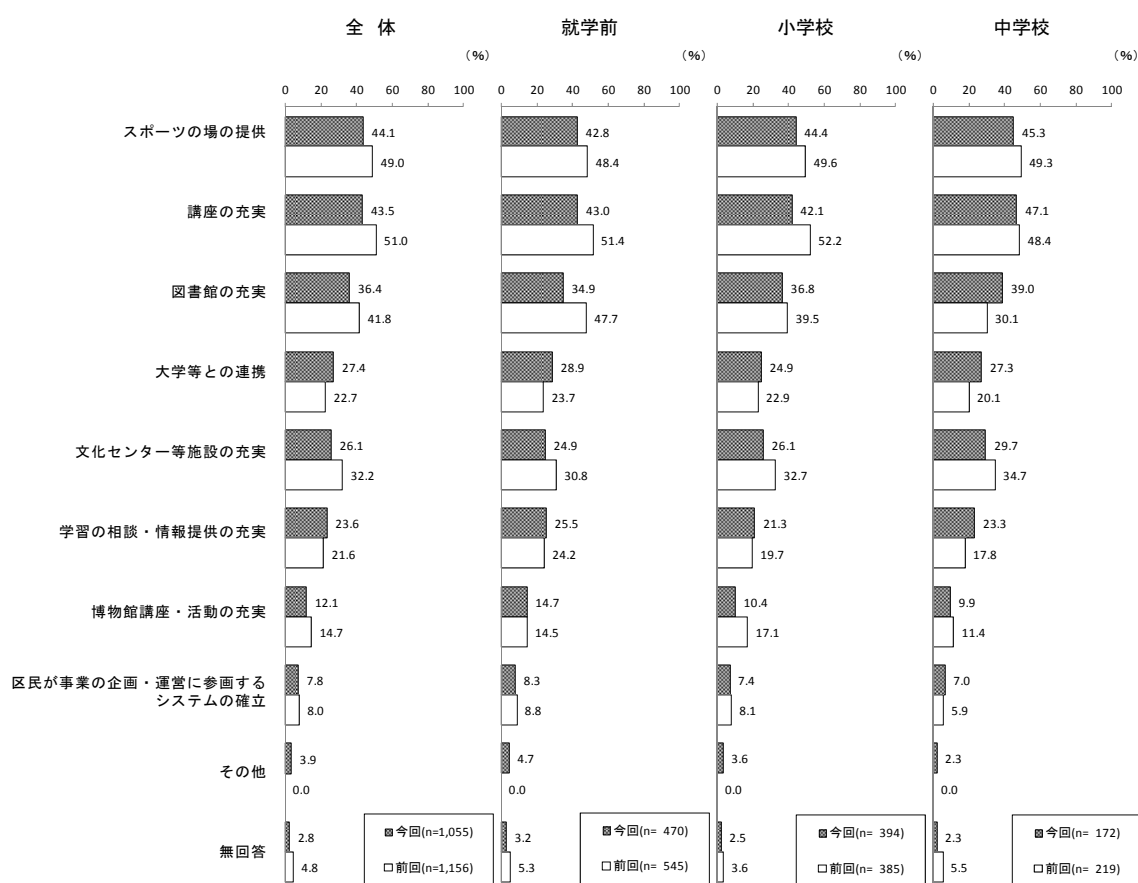
全体では、「スポーツの場の提供」が44.1%と最も高く、次いで「講座の充実」が43.5%、「図書館の充実」が36.4%となっています。

「その他」の回答には、『公園などに出張図書館があると良い』、『働いている人も参加しやすい曜日の開講』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「図書館の充実」は就学先が上がるにつれて高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では「図書館の充実」が低く、中学校では「大学等との連携」が高くなっています。

図 生涯学習のために力を入れて欲しいこと



(10) グループや団体の自主的な活動を盛んにするために必要な区の支援

問 53 あなたは、学習・文化・スポーツ・社会活動などのグループや団体の自主的な活動を盛んにするために、どのような区の支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

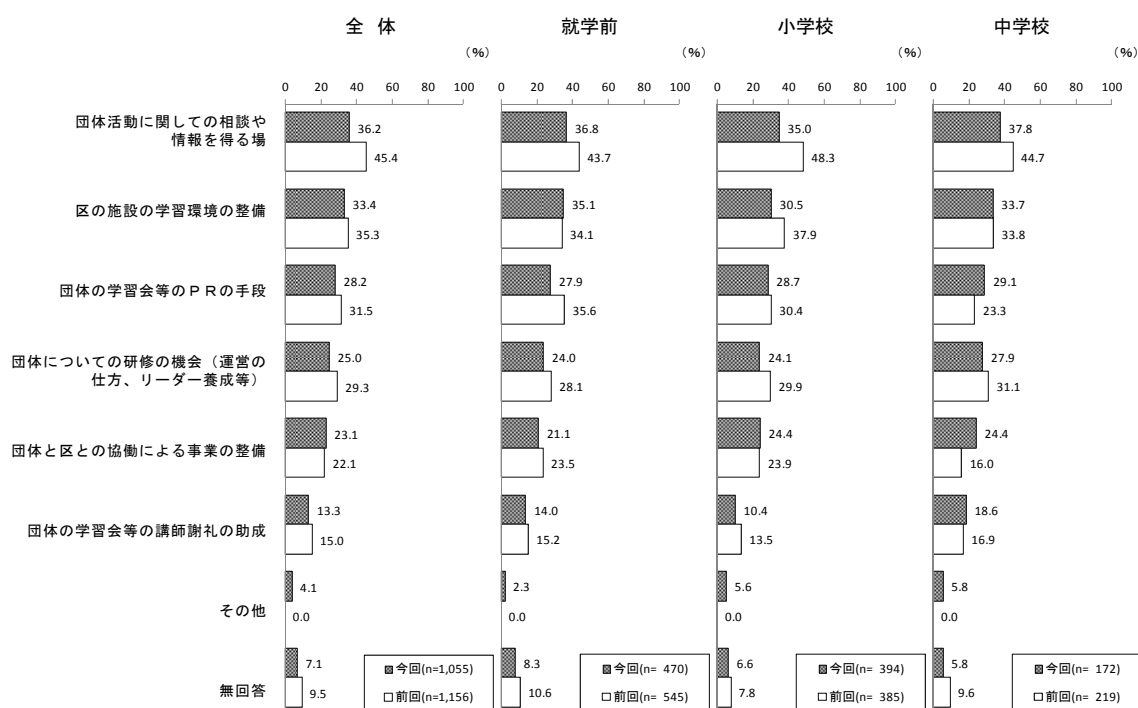
全体では、「団体活動に関する相談や情報を得る場」が 36.2%と最も高く、次いで「区の施設の学習環境の整備」が 33.4%、「団体の学習会等のPRの手段」が 28.2%となっています。

「その他」の回答には、『金銭面での助成』、『ネットでの場所予約』などがあります。

子どもの就学状況別に見ると、「団体についての研修の機会(運営の仕方、リーダー養成等)」は中学校が就学前、小学校よりやや高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前では「団体の学習会等のPRの手段」が、小学校・中学校では「団体活動に関する相談や情報を得る場」が、それぞれ低くなっています。

図 グループや団体の自主的な活動を盛んにするために必要な区の支援



(11) ボランティア活動に参加できる頻度

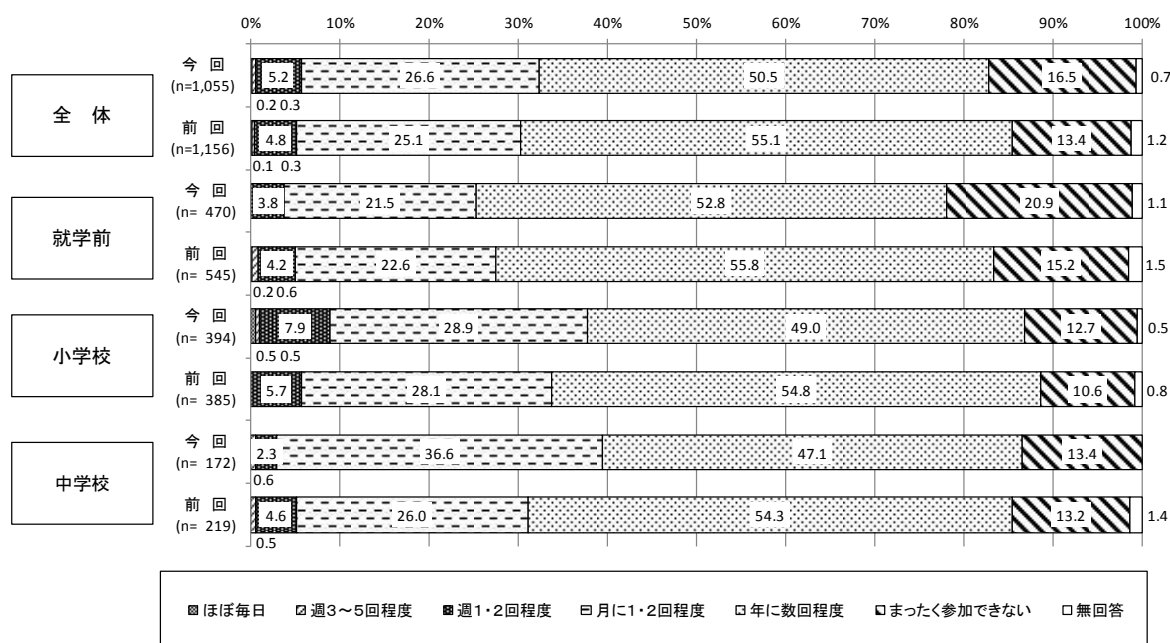
問 54 あなたは、地域や社会のために、余暇時間を活かしてボランティア活動に参加するとしたら、どのくらい参加できますか。(○は1つだけ)

全体では、「年に数回程度」が50.5%と最も高く、次いで「月に1・2回程度」が26.6%となっています。一方、「まったく参加できない」は16.5%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「年に数回程度」が5割前後を占めています。

前回調査と比較すると、全体では「年に数回程度」がやや低くなっています。就学前では「まったく参加できない」が高くなっています。小学校では「年に数回程度」が低くなっています。中学校では「月に1・2回程度」が高く、「年に数回程度」が低くなっています。

図 ボランティア活動に参加できる頻度



9 自由意見について

有効回収数 1,055 票中 356 票に記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の和は 356 件より多くなっています。）。

項目	件数
(1) 教育内容に関すること	172
①学力	58
②英語教育	10
③心の教育	27
④いじめ・不登校	12
⑤健康・体力	13
⑥就学前教育・保育	33
⑦個に応じた教育	19
(2) 学校づくり・教育環境に関すること	196
①教職員	79
②特色ある学校づくり、学校運営	42
③二学期制	15
④学区域、学校の適正規模	10
⑤学校施設・設置等の環境	22
⑥放課後子どもプラン（学童クラブ含む）	28
(3) 家庭・地域の教育に関すること	38
①家庭との連携	10
②地域との連携	11
③放課後等の子どもの活動	8
④安全・安心な地域環境	9
(4) 生涯学習に関すること	51
①生涯学習活動	20
②子ども向けの講座・イベント	11
③生涯学習関連施設・設備	20
(5) 教育行政に関すること	36
(6) その他	127
合計	620

<主な回答内容>

以下、回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載いたしました。

(1) 教育内容に関すること

①学力

- ・英検や漢検などの検定料が1回分無料になる制度はとても嬉しいです。しかし、英検は生徒が自分でテキストなどを購入して対策をしていますが、難しく感じます。検定に対する勉強の仕方や対策講座のようなものがあれば、もっと生徒達も積極的に受検しようという意識になるのではないかと思います。
- ・小一から今の教育に対して学力が非常に低い。算数では、型にはまった古い学習がなされ、自らが主体的に考えることができない子どもになってしまうのでは？
- ・北区は、他の区と比べると、子ども達の学力レベルがやや低めに感じました。各家庭での問題や教育の考え方も色々あると思いますが、小・中学校の教育の内容の見直しなど、少しでもいいので、お願いします。
- ・学力低位層の底上げを図ってほしいと思います。塾や家庭で学習する子と、ほぼしない子の両極端な気がします。能力別にクラスを分けたり、補習をしたりと学校内で学力の底上げをしてもらえると良いと思います。
- ・中学生の宿題が少なすぎる。家で机に向かっている姿を見ない。毎日、家で勉強をする習慣を身に付ける為、毎日宿題を出していただきたい。
- ・学力的に親の力でのサポートが難しくなってくるので「御家庭でフォローを」と言われても困って来ました。学年があがるにつれ学校や塾等をお願いする部分が大きくなってきています。

②英語教育

- ・英語の授業をもっと増やしてほしいと思います。英語と接する時間を増やしてもらえたらうれしいです。
- ・外国語教育に力を入れてネイティブの授業をふやして欲しい。
- ・年中の頃より、ひらがな、計算、英語教育を取り入れていくべき。そうすれば小1プロブレムになる児童が減るのでは？！

③心の教育

- ・心の教育。学力よりもまず心です。人の痛みがわかる＝人を思いやれる心が充実していれば余裕がうまれておのずと学力もついてきます。頭で考える教育ばかりではありません。
- ・公園で遊ぶ小学生が平気でゴミを捨てていたり、朝交通安全で立ってくれている大人にあいさつをしなかったり、そういったところが目につく。学力より人間力を育てることが必要だと思う。
- ・小学校において、読み書き計算の基本を定着させることはもちろん大切ですが、公立学校の良さは、地域の中で、様々な考え方の家庭で育つ子どもと一緒に関わりあって成長していくところにあると思います。だからこそ、家庭では出来ないこと、例えばグループワークにより仲間と意見を交換し、まとめることや、人前でも臆することなく自分の考えを整理して発表する力を育むこと等に重点を置いた学習が行われることを期待しています。
- ・小・中学生の登下校時間に道ですれ違う時など、道いっぱい広がって歩いているのでかなり迷惑です。こちらがベビーカーを押して歩いて来るのを見ても道を開けようとしない等、気を遣えない子が目立ちます。（もちろん道をゆずってくれる子もいます。）そういったマナーは親が教えるものだと思っているのですが、学校でも指導してもらう必要があると思っています。
- ・都内より越してまいりましたが、北区は先生も熱心で、とても感謝しています。子ども達の心もきれいです。このまま熱くすてきに教育していただきたいです。

④いじめ・不登校

- ・いじめ対策に重点を置いてもらいたい。
- ・近所に登校拒否の子どもがいます。スクールカウンセラーの方の指示をあおいでいらっしやるようですがほっとかれているように見えます。教師とスクールカウンセラーの連携。北区の教育行政が何を目標にしているのかはっきりとしたスローガンを持って分かりやすく示してもらえれば、教師、スクールカウンセラー、子ども、保護者、地域の住民までもが巻き込まれていくのかなあと、思っております。
- ・不登校児童の受け皿が小さすぎる。プロの指導者と受け入れ人数を増やす必要がある。
- ・いじめに対して、ぼくめつする事は難しいのかもしれませんが、積極的に地域や教員が関わって、苦しむ子どもがいなくなる社会・教育を目指してほしいです。
- ・子の両親ともに、いじめ、不登校の経験あり。子どもがいじめにあわないか今からすでに不安。どんないじめがあったか、どのように対処して、どのように改善されたか情報公開されていると、親も気付きやすい。子どもの話も理解しやすい。前もって注意できるので、知りたい。また、学校同士の症例の提示など連携、教員の方々のいじめに対する意識、どんなセミナーがあり、どんな先生（学校あたり何人の先生）が出席されたのかなど、知りたいし、あるなら親向けのセミナーに参加したい。

⑤健康・体力

- ・体づくりの教育（特に水泳）を身につけられるようにしてほしい。スイミングスクールに行くことが前提になってしまっていると思います。
- ・通学中の小学校での体力・運動能力向上に期待する。
- ・スポーツを学べる場所がもっとあると良い。中学生女子の運動部が少ない。

⑥就学前教育・保育

- ・待機児童ゼロを引き続き取り組んでほしい。
- ・2歳児や3歳児までの保育園を増やすのではなく、就学前までいられる5歳児までの保育園を増やして欲しい。5歳児までの園に入れないと転園することになり、友達との関わりや周囲の環境をより理解できる年齢での転園は子どもの心身に負担がかかると思う。
- ・子どもの教育を充実してほしい。幼稚園の情報をわかりやすくHPなどで発信してほしい。

⑦個に応じた教育

- ・身体や、知的障害には理解が深まってきているが、精神障害や発達障害などの目に見えにくい障害について子どもや親にしっかり教えてほしい。「困った子は困っている子」我が子は発達障害グレーゾーンと言われていますが、友達間で「あいつはクレイジー」という評価をされます。そもそも評価の基準が健常の子なので認められることが少ないです。発達障害であることを公にして正当に評価される学校生活を送らせてあげたいです。
- ・特別支援学級を小学校全校に配置して下さい。通常学級との交流や通常級で不安な子が行ったりできるような環境が必要だと感じている。通常級の担任は忙しすぎるし、大変。20～25人程度の学級経営を望む。支援学級が全校配置になると教員数が必要だが、子どもの数がへって良いと思う。全ての教員が特別支援教育の講習をするべきだと思う。今は多様化していて、色々な個性がある。発達障がいも親がわからない人も多いので、先生を守るためにも子どもを守るためにも新しい知識が必要。教育の仕方は常に進化しているので、新しい知識がないと先生も子どもも親も苦しい。
- ・算数をレベル別にすることは良い考えだが、一番上のクラスに質の劣る先生が割当てられ、生徒が退屈する場面が見受けられることがある。トップのクラスは「教える」よりもどんどん問題を解かせて力を伸ばしてほしい。

(2) 学校づくり・教育環境に関すること

①教職員

- ・北区内の小・中学校に子どものいる方から聞いた話になりますが、教員の質の低下がたちこちから聞こえてきます。担任になる先生次第でクラスの全体的な成長に差が生じているようです。教員の指導を再度しっかりと見直した方が良いと思います。
- ・子どもの多様化（質）が進んでいるので先生がとても大変そうです。1 クラスの人数を少なくしたりW担任にする等先生の負担を軽くする方法を考えてほしいです。いそがしすぎて子どもの話を聴いていない。だから子どもが見えていないこと多いように感じます。どの先生も一生懸命ですが残念です。また何かあった時にすぐに何でもかくすのが嫌です。小さいことでも正しい情報をあげてくれた方が周り回ってきた情報をきいて不安になること不満に思うことが少なくなると思います。
- ・小学校教員の事で。「学級崩壊がおきる」や「先生の機嫌」によりクラスの雰囲気やまとまりに大きな影響が出ます。そんな先生が高学年をまとめられないからと言って低学年を何年も担当するのはどうなのでしょう？低学年だからこそ大事にしたい時期とも考えますが、何年も低学年担当している先生が数人見うけられ、これから小学校に上がる子を育てる身として心配です。上の子が小学校に行きたくない理由が先生でした。対応を十分検討して欲しいです。
- ・子どもの顔色、(親の) をうかがいすぎて、きちんとした指導がされていない。ある程度、大人や教師としての意見を持ち、子どもを指導してもらいたい。問題児童への対応が他の子どもへの教員への信頼につながる。
- ・教員が子ども達のために使える時間を増やして頂きたいです。授業内容を見ると、常にプリントばかり配られて課題をこなすことが主となっています。授業の準備が充分にとれている様に見えず、夜遅くまで学校に残り、雑務で忙しそうにされている様と感じます。家庭に配布されるプリントの量を見ても、運営に関係のないイベントのお知らせから週一の学級便りに費やす時間を考えると、とても満足に授業に取り組んでいる様に思えません。保護者が、学校運営に関わることも控えないと、教員がその調整だけに追われ、返って子ども達の為の時間が減ると思います。教員や事務の数を増やし、課題をへらし教員が研修時間、研究時間が持てる環境を望みます。実際、子どもは勉強の本質は知らず、課題をこなす場所だにとらえています。
- ・産休や育休の時に代替の先生の質が落ちるのが気になる。必要な所には産・育休でもちゃんとした先生を付けて欲しい。
- ・小学校の教師の質に差がありすぎます。酷い教師は本当にひどいです。担任がどの教師に当たるかで、子どもの伸びが全く違います。素晴らしい先生もいるのに、なぜその先生に学ぼうとしないのか。又、個性的な先生を押さえつけ大人しくさせようという雰囲気を感じます。教え方が素晴らしく成果をだしているのなら、押さえつける必要はなく、むしろその先生から学ぶべき。子ども達に学ばせる立場でありながら、自分達が学んでレベルアップしようという姿勢がみえないのにはがっかりします。一般社会人では考えられないことです（すぐクビです）。改善を希望します。

②特色ある学校づくり、学校運営

- ・娘（中2）のクラスでは寝ている子もいると言っているので、学びたくなる授業作りに努めてほしいです。例えばタブレットを使うなど、子どもが興味を持ちやすく、取りかかりやすい授業が良いのかなと思います。
- ・小中一貫校の話を進めている学校がありますが、その周辺は今後、マンション建設も増え、確実に児童も増える中、一貫校となれば、運動会等イベントも人が多く校庭も狭いなど、親子共にストレスが増えるので、小学校、中学校は別々であってほしいと思います。メリットが全くわかりません。少人数は先生も目が行き届き、子どもも皆の名前と顔が一致してアットホームな思いやりをもつ心が育つと思います。
- ・小中一貫教育の中で、息詰まる子どもがいないか心配です。地域によっては、幼稚園→小学校→中学校と、12年間もの期間を同じメンバーの中で過ごすことに苦痛を感じる子もいるのではないのでしょうか。大人の気付かないイジメが長期に渡り続き、自分自身では環境を変えられない中で生活するとしたら、悲惨です。小中一貫はあくまで理想の形であり、希望するなら中学を選択できるという抜け道はあった方がよいと思います。
- ・学校は基本的にオープンにして下さっていると思いますが、学校公開日などHPに載せているところとそうでないところ、更新度合いが学校に寄って差がありすぎると思います。教育委員会で一括把握し、公開とかして頂けると親としても情報がとりやすいです。
- ・小低学年は学級編成人数を減らして指導を細やかにおこなえたり少人数加配の先生を増やして数学や実験を扱う理科等、学級担任以外で指導に当たる先生が増えれば子どもにとっても細やかな指導が受けられ、教員にとっても空き時間が増えるのではないのでしょうか。
- ・漢検や英検の受検を必須とする。小学生までに適正級を取得させるプログラム・パソコンExcelやWordソフトを使えるようにする。
- ・不審者情報がとてもおそい。教育委員会→学校→保護者までに時間がかかりすぎ。学区内の事案は特に数分でも早く保護者に流してほしい。これは特に求める。
- ・教育とは関係ないがこの夏の暑さで水筒を学校へ持参させてほしい何度も学校へ相談してみても改善されない。

③二学期制

- ・小・中学校で、2学期制を採用しているが、2学期制のメリットを教えてほしい。夏休み冬休み前に、自分の学力を知ることは重要だと思うし、高校受験を内申点把握の点から見ても、3学期制の方が、良いのではないかと思う。
- ・2学期制は良いと思う。ただ昔みたいに「今日から2学期」みたいな気持ちが持ちづらいので、夏休み数日を秋休み、としても良いのかな？とも思いました。

④学区、学校の適正規模

- ・住んでいる地域の小学校・中学校の分け方について不満があります。このままいくとA小学校に入学する予定ですが、A小学校のほとんどがB中学校に入学します。しかし、うちの区域ではC中学校に行かなければなりません。A小学校で一緒だったお友達とも離れてしまい、徒歩での距離も2倍以上です。越境入学もできるかもしれないと聞いたことがありますが、とても不安です。
- ・学区（学校）の配置は子ども主体で考えられているのか疑問である。わざわざ近くの学校を通り過ぎて遠くの学校を学区内とする意味がよくわからない。

⑤学校施設・設備等の環境

- ・学校のトイレ設備が古く、いまだに和式が多い学校とすべて洋式になっている学校と不公平感がある。毎日、使う設備こそ新しいものに変えていくべきなのではないかなと思う。
- ・学校図書館の利用時間が短いことが残念です。学校の図書館は教室以外に、居場所として心のよりどころになり得る貴重な場所だと考えています。いつでも開館して、利用できる環境を作れるように、学校司書は、フルタイムで長期間同じ人物であることが望ましいと考えます。
- ・体育館のエアコン設置を検討してくださいと助かります。
- ・北区の小学校・校庭でのサッカーに関して、学校側から非常にきびしい指導があります。スパイクはだめとか、雨の日はだめとか。そういった事を言われたら子どもたちのサッカーする機会がなくなると思います。もっと自由に校庭を利用させて下さるとありがたいです。それでなくてもボール使用できるグラウンドが全くとっていいくらいないので子ども達が不便でかわいそうです。公園も禁止だし。北区だけでしょうか？

⑥放課後子どもプラン（学童クラブ含む）

- ・放課後、わくわく広場に行く事を、子どもが楽しみにしています。当校に在籍していなくても、学区内に居住していればわくわく広場に参加できる事は、本当に有難いと感じています。他区にはない、特徴的な取り組みだと思えます。
- ・学童など小学校の放課後、長期休暇中過ごせる場所の充実を期待しています。内容もですが時間を長くしたり、夕食や長期休暇中は昼食が給食があるとありがたいです。
- ・学童の利用を3年生まで確実にできるようにしてほしいです。また、延長に入れず、小さいうちから家で留守番する時間が発生するのは安全とは言えないので学童の延長の枠も広げて頂きたいです。
- ・わくわくひろばの使い勝手が非常に悪い。長期休暇中の弁当持参がいまだに実現されていない。（兄弟がいると、親が仕事で不在でも、孤食とはいえないからと断られる等）使えない事業はないのと同じだ。是非改善してほしい。
- ・わくわくひろばのプログラムの充実。クラブ活動で、クラス以外の子どもたちと交流の場を増やして頂きたい。わくわく☆ひろば、学童ともに、外で身体を動かす活動を充実させて頂きたいです。
- ・学童の充実を希望します。待機があると仕事できません。

(3) 家庭・地域の教育に関すること

①家庭との連携

- ・保護者が学校に対して、学習、生活の意見交流をする機会がない。先生に対しての壁があり、フランクに接することができない。
- ・子どもが今受けている教育に対して、まったく不満はありません。来年度からはじまるわくわく広場をととても楽しみにしています。学校も保護者の意見を良く聞いてくれて対応してくれていると思います。もし、何か問題が起こったとしても、過度に学校に対応をせまらない様に、家庭でも問題解決していける様にしていきたいです。

②地域との連携

- ・子どもの教育については「家庭でやるべき」と「学校、幼稚園、保育所でやるべき」と分けるのではなく、協働だと思う。子どもは家庭だけではなく、地域で育つものなので、その意識が両者に必要だと思う。
- ・地域と小・中学校の連携。主として職業教育と地域の人材活用について、もっと動きがあった方が良く考えます。北区は商店街や職人が多いという特徴がありますので地域の人的資源を小・中学校の教育にもっと活用できるのではないのでしょうか。
- ・私の子どもは未だ1歳ですが、将来学校や地域活動を通じて、勉学のみならず様々な経験を通じて逞しく成長して欲しいと願っております。その為には、充実した公共施設、安全な環境が土台として初めて成立するものだと思います。この時代身の安全の確保が益々難しくなっていますが、敢えて、地域・学校との交流をさかんに実施すると透明性が出てきて、治安の向上に繋がるのかもしれない。

③放課後等の子どもの活動

- ・自分の子は私学に進んだので、北区で教育を受けることはなくなりましたが、小学生の放課後の過ごし方について行政でもっとできることがあるのでは、と思います。シルバー人材の方々、大学生のボランティアなどの協力を得て、宿題を見てあげたり、昔ながらの遊びを教えてあげたり、子どもたちの居場所（親が帰るまでの～18時とかくらいまで）を作ってあげたいと思います。品川区等での成功例があるはずなので参考にして頂き、親が不在でやむを得なく習い事をしている子たちの放課後を充実させてあげて欲しいです。
- ・児童館などはあまり広くないので、就学前の子どもが体を動かして遊べる室内施設があるといい。

④安全・安心な地域環境

- ・子どもが現在、未就学児の為、現状は分からないが、安心、安全な登下校ができる環境を作ってほしい。また、都内公立は人数が少なく、印象が良くはないので、安心、安全、真面目な教育環境で子どもが通えるようであることを希望。
- ・教育の充実も大切だけど、歩きタバコの取り締まりや放置自転車による道路の妨げなど、安全面でのサポートを強化してほしいです。
- ・交通量の多い道路沿にある学校なので、通学路等の美化、緑化、公園整備等に力を入れ

てほしい。

(4) 生涯学習に関すること

①生涯学習活動

- ・子ども（未就学児）を対象にしたイベントや北区環境大学等が多く児童館以外でも親子共に過ごしやすく、向上できる教育環境であると感じている。また、職業をもっている人でも参加しやすい時間の講座や託児付きの講座等もあり満足している。より充実、向上していただくとうれしいです。
- ・生涯学習をきっかけ、大人まで様々な事柄を学ぶ機会を増やしその姿を子どもたちが見ることによって、学ぶ姿勢を自然と（自ら）身につけられる環境を与えていただけたらと願います。
- ・託児付きの講座が増えれば、その兄弟を含めた親子講座など、幅広い活動が出来ると思う。
- ・大人のための講座など、興味深いものがたくさんあるのですが、不規則な仕事についていると参加できないため残念です。
- ・子どもがまだ1歳なので、“北区の教育”に触れる機会があまりありません。しかし、ママ同士で集まって『何かしよう！』という機会は意外と多く、こいのぼり制作をしたり、お誕生会をしたり、ハロウィンパーティをしたりしています。先日、ゴスペルサークルに参加しましたが、子どもがちいさいママ同士のサークルのため、子どもの体調次第で欠席するママもあり、いかに講師謝礼代を確保するかが問題（課題）となっていました。生涯学習の観点から、このようなサークルに少しでも助成があると、ママたちものびのびと学習するチャンスが増え、めぐりめぐって子どもの学習意欲にもつながるのでは、と思います。

②子ども向けの講座・イベント等

- ・わくわく土ようスポーツは活用させていただき、子どもたちもいろいろなスポーツができて楽しめる。このような体を動かせるスポーツ活動が増えるといいと思う！！（学校以外でスポーツできる場が少ないので）
- ・夏休みの間、強化したい科目、夏休みの宿題を出来る場所や出張講師が講座など開いてくれたら充実した休みが送れると思います。
- ・北区の区民講座を拝見していますが、いつも同じような講座がくり返されているように感じます。また時間帯もあまり変わらないので、いつも参加できません。同じような内容なので1回参加してしまうと興味があまり湧きません。年に1度なのかもしれませんが高名な方のお話をきける機会があるようですが、そのような会をもっと設けていただけたらうれしいです。また、子どもの講座もありますが、幼稚園～小学校低学年向けが少ないように思われます。

③生涯学習関連施設・設備

- ・北区は周辺区に比べるとプラネタリウム、どうぶつふれあい広場など夏休み、冬休みなどに常時、子どもが利用できる、施設がない。図書館、自然公園、古民家、スポーツセンター、プールは充実していると思うので、それ以外の部分の充実に期待しています。地域に住む外国人親子と日本人が交流できる場、企画講座への支援も期待します。
- ・小学校の図書室がせまく、位置が不便なので、利用しやすいようにしてほしい。北区図書館の照明をもう少し明るくしてほしい。

(5) 教育行政に関すること

- ・SNSの活用。(紙だけでなく、時代に合わせ、区の情報をSNS発信すべき)
- ・北区が教育先進都市を掲げているなんて初めて知りました。全く知らない人の方が多いと思います。学校の先生達の負担を減らし、もっと上の人間が苦勞するのが本来の行政の姿と思います。
- ・教育に関して目指すゴールが何か、それは個人一人一人違うとは思いますが、その為の指針になりうる区としてのゴール(目標)が、もっとわかりやすく、示させていくような活動をしていただきたいです
- ・様々な取組みや助成をしていただいていると思うが、認知する機会がないので、もっと(区内外に)広報・PRしていただきたい。
- ・表面的・形式的な数値目標を設定し、それが達成できたらよし、とするような教育行政であってほしくないです。
- ・ひとり親に対しての助成の幅を広げてほしい。保育関係の手続きを区民事務所でもできるようにしてほしい。

(6) その他

- ・現在0才の子の母です。今回のアンケートで初めて知った取組みや内容が多かったです。こういった情報をどこで得るのがわからないため、どこにあるのか、また広報誌や冊子、インターネットなどの情報をわかりやすく提供頂けると嬉しいです。
- ・北区が教育先進都市を掲げているなんて初めて知りました。全く知らない人の方が多いと思います。学校の先生達の負担を減らし、もっと上の人間が苦勞するのが本来の行政の姿と思います。
- ・自分が子どもだった時代に比べて、価値観の多様化、個人主義のような家庭の増加を感じます。現場の先生方は大変だろうなと思います。子ども達のために、短期間でのスパンではなく、しっかりとした安定感のある教育システムと、公立校の学校間格差があまり出来ないようになると良いなと思います。
- ・小・中学校について、もう少し情報を当事者以外にも公開してほしいです。学区の検討も早めに来る為。
- ・他の区に比べてネット情報が少なすぎる。掲示板や広告だけなのでHPなどをもっと充実してくれると嬉しい。HPが充実してないので調べるのが大変。

資料編

「北区教育ビジョン 2020」の策定に係る 保護者アンケートのお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。保護者の皆様には日頃から北区の教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、北区教育委員会では、新しい時代に対応した「教育先進都市・北区」にふさわしい「北区教育ビジョン 2020」の策定に取り組んでいるところです。

この調査は、北区在住で 0 歳から中学校 3 年生までのお子さんがある保護者の方 2,000 名（無作為抽出）を対象として、北区の教育についてどのように感じているかをお伺いし、「北区教育ビジョン 2020」策定にあたっての基礎資料とするために実施するものです。設問は 17 ページ・54 問、所要時間は概ね 30 分となっております。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年 10 月 北区教育委員会

【ご記入にあたって】

- 1 この調査結果は、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
(アンケート用紙・返信用封筒にはお名前等を書かないでください)
- 2 質問には、あてはまる回答に○をつけてください。(質問によっては、○の数が複数になることもありますので、それぞれの質問の指示に従ってください)
- 3 答えに、「その他()」を選んだときは、その内容を()内にご記入ください。
- 4 すべてのご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、10月23日(火)までにご返送いただきますようお願いいたします。(返信用封筒には、切手を貼る必要はありません)

※このアンケートについてのご質問等は、下記までお問い合わせください。

【問合せ先】

北区教育委員会事務局 教育振興部 教育政策課

[電 話] 03-3908-9279 (直通)

[メー ル] edu-vision@city.kita.lg.jp

[受付時間] 9:00~17:00 ※土、日、祝日を除く

封筒の宛名のお子さんとあなたご自身についてお聞きします

問1 封筒の宛名のお子さんとの関係を教えてください。(○は1つだけ)

1 父親	2 母親	3 1・2以外の保護者
------	------	-------------

問2 封筒の宛名のお子さんの状況を教えてください。(○は1つだけ)

1 就学前(0歳児)	2 就学前(1・2歳児)	3 就学前(3~5歳児)
4 小学校1年生	5 小学校2年生	6 小学校3年生
7 小学校4年生	8 小学校5年生	9 小学校6年生
10 中学校1年生	11 中学校2年生	12 中学校3年生
13 その他()		

問3 封筒の宛名のお子さんが通っている学校・幼稚園・保育園・こども園について教えてください。(○は1つだけ)

1 区立	2 都立	3 国立
4 私立	5 その他()	6 どこにも通っていない

問4 封筒の宛名のお子さんのきょうだいの人数(宛名のお子さんを含めた人数)を教えてください。(○は1つだけ)

1 1人	2 2人	3 3人
4 4人	5 5人	6 6人以上

問5 お住まいの地区を教えてください。(該当する地区の番号に1つだけ○をつけてください)

地区(○印)	該当する町丁名
1 浮間地区	浮間1~5丁目
2 赤羽西地区	赤羽北1~3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1~6丁目、赤羽台1~4丁目、西が丘1~3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3 赤羽東地区	赤羽1~3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1~5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4 王子西地区	十条仲原1・2丁目、上十条1~4丁目、中十条1~3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1~3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5 王子東地区	神谷1丁目、東十条1~4丁目、王子1~6丁目、豊島1~8丁目
6 滝野川西地区	滝野川1~3丁目、滝野川5~7丁目、西ヶ原1~4丁目、中里1~3丁目、上中里1丁目、田端1~6丁目
7 滝野川東地区	堀船1~4丁目、栄町、上中里2・3丁目、昭和町1~3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1~3丁目

子どもの教育の担い手について

問6 子どもの基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはんなど）は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

1 家庭 2 地域 3 学校・幼稚園・保育園・こども園 4 わからない

問7 挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

1 家庭 2 地域 3 学校・幼稚園・保育園・こども園 4 わからない

問8 正しい食生活（好き嫌いしない、よく噛んで食べるなど）は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

1 家庭 2 地域 3 学校・幼稚園・保育園・こども園 4 わからない

問9 他人を思いやるなどの豊かな心は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

1 家庭 2 地域 3 学校・幼稚園・保育園・こども園 4 わからない

問10 忍耐力、我慢すること、あきらめない心は、主にどこで身に付けるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

1 家庭 2 地域 3 学校・幼稚園・保育園・こども園 4 わからない

学校教育について

問 13 北区の公立学校は、以下の項目についてもっと力を入れるべきだと思いますか。(それぞれの項目で○は1つ)

	とても 思う	少し 思う	あまり 思わない	全く 思わない	わから ない
1 学力向上 (基礎的な知識の定着や問題解決能力の育成)					
2 体力向上 (体育・健康に関する指導の充実)					
3 心の教育 (道徳教育や人権教育を通じた豊かな心の育成)					
4 個性に応じた教育					
5 しつけや生活指導					
6 教員が子どもと向き合う時間の確保					

問 14 北区の公立学校は、保護者への情報提供や地域の声を受け止める努力を積極的に行っていると
思いますか。(○は1つだけ)

1 そう思う	2 どちらかというと思う
3 どちらかというと思わない	4 そう思わない
5 わからない	

問 15 あなたが北区の公立学校の教育に求めるものは何ですか。(○は3つまで)

1 学習塾に依存しない確かな学力の向上	2 学力低位層の底上げ
3 特別支援教育の充実	4 創造力や探究心の育成
5 英語力の育成	6 国語力の育成
7 健康・安全教育の充実	8 心の教育の充実
9 保護者・地域と連携した教育	10 自然体験や社会奉仕活動
11 社会の変化に対応できる力の育成	12 食育の推進
13 いじめの早期発見・早期対応ができる学校	14 部活動による健全育成
15 人権や男女共同参画に関する教育の充実	16 不登校児童・生徒への支援の充実
17 相互理解・寛容の心の育成	18 その他 ()

問 16 北区の公立学校では、以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。(それぞれの項目に○は1つ)

	知っている				知らない
	大変満足	やや満足	少し不満	大変不満	
1 区独自の学力パワーアップ事業/中学校スクラムサポート事業					
2 区独自の基礎・基本の定着度調査					
3 中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育					
4 幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携					
5 実験・観察の支援のために小学校全校に配置した理科支援員					
6 お茶の水女子大学などとの連携による理科大好きプロジェクト					
7 思考力・判断力・表現力を育成する新聞大好きプロジェクト					
8 道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修などによる道徳教育の改善・充実					
9 特別支援教育推進資料(平成29年度は「北区の特別支援教育」)の発行(年1回)					
10 就学支援シートに基づいた小学校入学時の支援の充実					
11 小学校の外国語活動や中学校英語の授業へのALT(外国人講師)配置					
12 自然の中で中学生が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須					
13 北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業					
14 授業におけるICT機器(電子黒板など)の活用などによる情報教育					
15 校内緑化やビオトープの整備などによる環境教育					
16 職場体験などによるキャリア教育					
17 学校評議員等による学校評価					
18 不登校児童・生徒のための適応指導教室(ホップ・ステップ・ジャンプ教室)					
19 いじめ相談ミニレター					
20 スクールカウンセラーの全校配置					
21 Q-U調査(※)の実施					
22 スクールソーシャルワーカーによる相談・支援事業					
23 二学期制の実施					

※Q-U調査:「児童も教師も心から笑える学級を育てたい」との理念をもとに作成されたクラスの問題点を表や図に表わして分析するためのアンケート調査

問 17 子どもが「生きる力」(※)を身に付けるために、学校教育において育てるべきだと思うものはどれですか。(○は3つまで)

1 基礎基本(読み、書き、計算)	2 主体的に学習に取り組む態度
3 知識・技能	4 思考力・判断力・表現力
5 自己肯定感や自己有用感	6 学び方
7 健康や体力	8 課題発見や問題解決の力
9 心の教育	10 その他()

※生きる力：変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力といった知・徳・体のバランスがとれた力。

問 18 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんが通っている学校に関して、次の項目をどの程度評価できますか。(それぞれの項目で○は1つ)

	とても 良い	やや 良い	ふつう	やや 良くない	全く 良くない	わから ない
1 教員の学習指導力						
2 管理職(校長等)の学 校経営力						
3 委員会・クラブ活動など の教科外教育の充実度						
4 情報公開						
5 地域・保護者との連携						
6 生活・進路指導						
7 設備の充実度						
8 通学距離						

問 19 封筒の宛名のお子さんが小・中学校に通っている方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんが通っている学校の教員について、総じて次の項目をどう思いますか。(それぞれの項目で○は1つ)

	とても 思う	少し 思う	あまり 思わない	全く 思わない	わから ない
1 わかりやすい授業をする					
2 子どものことをよく理解している					
3 子どもが悪いことをしたらきちんと叱る					
4 誰にでも平等に接している					
5 忙しいそう					
6 保護者が気軽に話しかけられる					
7 信頼できる					

家庭・地域の教育力について

問 23 家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 24 子どもを注意してくれる地域の大人は多いと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 25 社会のルールやマナーを守る子どもが多いと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 26 子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 27 あなたからみて、封筒の宛名のお子さんの学力をどう思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| 1 十分だと思う | 2 まあ十分だと思う | 3 普通程度 |
| 4 やや物足りない | 5 全く物足りない | 6 わからない |

問 28 ご家庭で封筒の宛名のお子さんに勉強を教えたり、宿題をみたり、学校のできごとを話し合ったりしていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 よくしている | 2 ときどきしている | 3 あまりしていない |
| 4 全くしていない | | |

問 29 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていますか。(○は1つだけ)

1 行かせている 2 今は行かせていないが、行かせる意向・予定がある

3 行かせていない

→ (1) 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせている方(予定を含む。)のみお答えください。
お子さんを学習塾に行かせている目的はなんですか。(○は1つだけ)

1 進学のため 2 補習のため 3 子どもが希望するから
4 その他()

→ (2) 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていない方のみお答えください。
お子さんを学習塾へ行かせない理由をお聞かせください。(○は1つだけ)

1 学校の学習で十分だから 2 子どもが希望しないから 3 経済的理由
4 その他()

問 30 封筒の宛名のお子さんは、学校の授業以外に1日平均でどのくらい勉強(学校の宿題、通信教育、学習塾、家庭教師等による学習時間)をしていますか。(○は1つだけ)

1 1日平均1時間以内 2 1日平均1~2時間以内
3 1日平均2~3時間以内 4 1日平均3時間以上
5 まったく勉強していない

教育全般について

問 31 一般的に言って、子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。(○は1つだけ)

1 そう思う 2 どちらかというと思う
3 どちらかというと思わない 4 そう思わない
5 わからない

→ 問 32 問 31 で 1, 2 と答えた方にお聞きします。
どの段階で学力格差が特に広がっていると思いますか。(○は1つだけ)

1 小学校1年生 2 小学校2年生 3 小学校3年生
4 小学校4年生 5 小学校5年生 6 小学校6年生
7 中学校1年生 8 中学校2年生 9 中学校3年生
10 わからない

問 33 一般的に言って、他の人のために行動したり、地域や社会に貢献しようとする子どもは多いと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 34 一般的に言って、子どもたちの体力は低下していると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 35 一般的に言って、子どもは、学校の体育や部活動以外で日常的に体力向上や健康づくりをよくやっていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 36 一般的に言って、保護者は、地域の学校運営にもっと参画・連携するべきだと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

教育行政について

問 37 北区教育委員会では、以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。（それぞれの項目に○は1つ）

	知っている				知らない
	大変満足	やや満足	少し不満	大変不満	
1 北区教育広報紙「くおん」					
2 学校連絡メール配信システム					
3 学校の改築					
4 学校適正配置					
5 学校支援ボランティア					
6 北区ふるさと農家体験館事業					
7 施設一体型小中一貫校の設置					
8 北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業					
9 放課後子ども総合プラン					
10 家庭教育に関する取組・講座					
11 教員の働き方改革					
12 学校施設の地域開放					

問 38 北区では、通学区域の異なる保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校でつくる近隣複数校のネットワークとして「学校ファミリー」を形成し、以下の教育施策を実施しています。それぞれについて、どのように考えますか。

(1) 保幼小連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。（○は1つだけ）

1 小1プロブレム（※）への対応	2 学力の向上	
3 不登校児童・生徒への支援	4 心の教育	5 幼児・児童の交流
6 保育士と教員の交流	7 わからない	

※小1プロブレム：小学校1年生の学級において、入学後の落ち着かない状態がいつまでも解消されず、教師の話をきかない、授業中に座ってられないなど、授業規律が成立しない状態へと拡大し、こうした状態が数か月に渡って継続する状態。

(2)小中一貫教育で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1 中1ギャップ(※)の解消 | 2 学力の向上 | 3 不登校対策 |
| 4 心の教育 | 5 小中学生の交流 | 6 教員間の交流 |
| 7 わからない | | |

※中1ギャップ：中学1年生になった途端、学習内容や生活リズムの変化になじめずに不登校となったり、いじめが急増したりする現象。

(3)地域との連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1 地域と一体の学校づくり | 2 地域の人材活用 | 3 居場所づくり |
| 4 心の教育 | 5 地域と児童・生徒の交流 | 6 保育士・教員との交流 |
| 7 子どもの安全の確保 | 8 わからない | |

問 39 学校施設の整備について、今後どのようなことを優先的に行うべきだと考えますか。(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------|
| 1 さまざまな教育活動に対応できる施設づくり |
| 2 安心・安全な施設づくり |
| 3 災害に強い施設づくり |
| 4 施設の長寿命化 |
| 5 省エネルギー設備の導入や緑化などエコスクールの推進 |
| 6 誰もが使いやすいユニバーサルデザインの導入 |
| 7 わからない |
| 8 その他 () |

問 40 子どもたちが放課後過ごす場所に求める機能は、どのようなものが考えられますか。(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------|
| 1 学校敷地内で安全な活動ができる |
| 2 たくさんの友達と遊ぶことができる |
| 3 自発的に行動ができ自由遊びができる |
| 4 宿題をするなどの学習を行う環境がある |
| 5 基本的な生活習慣(あいさつなど)を身に付けることができる |
| 6 異学年との交流ができる |
| 7 地域の大人との交流ができる |
| 8 保護者が不在の間の生活をみてくれる |
| 9 出欠状況を把握し、保護者との情報共有ができる |
| 10 わからない |
| 11 その他 () |

問 41 北区は、子どもの教育に関する情報の提供をよく行っていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 42 北区は「教育先進都市」を掲げていますが、「教育先進都市」と聞いて抱くイメージは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 学力向上に熱心 | 2 教員の質が高い |
| 3 生涯学習事業が盛ん | 4 家庭教育支援が盛ん |
| 5 教育に対する予算が多い | 6 教科外活動に熱心 |
| 7 学校のICT化に取り組んでいる | 8 教員が多い |
| 9 公立学校の進学実績が良い | 10 いじめ・不登校などの問題への対処が良い |
| 11 学校施設・設備が整っている | 12 応用力・活用力が高い |
| 13 基礎・基本の定着度が高い | 14 情報公開度が高い |
| 15 国際理解教育に熱心(外国語含む) | 16 体験学習が盛ん |
| 17 特になし | 18 その他() |

問 43 今後、北区の教育行政に期待することは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1 計画的な学力向上策 | 2 学校適正配置の促進 |
| 3 生涯学習事業の充実 | 4 子どもの安全対策(防犯ブザーの配布等) |
| 5 学校への指導 | 6 教員の資質向上 |
| 7 学校以外の教育施設の充実 | 8 学校の設備の充実 |
| 9 区民意見の反映 | 10 広報活動の充実 |
| 11 家庭教育への支援 | 12 子どもの放課後の居場所づくり |
| 13 人権や男女共同参画に関する能力育成 | 14 障害児(者)への合理的配慮の提供 |
| 15 安全教育(生活安全、交通安全、災害安全)の充実 | 16 教員の働き方改革 |
| 17 その他() | |

生涯学習について

問 44 あなたは、自分ができることを地域や学校で活かしたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというと思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 45 あなたは、現在何らかの生涯学習活動に参加していますか。(○は1つだけ)

(例：「趣味の講座を受講している」「資格を身に付け、講座を開いている」「ボランティア活動に参加している」「独自に研究を進めている」)

1 参加している	2 参加していない
----------	-----------

問 46 あなたは、文化センターを利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

	利用したことがある				利用 した こと が な い
	大変 満足	やや 満足	少し 不満	大変 不満	
1 区民講座や区民協働講座などの講座					
2 センター祭や子どもひろば等のイベント					
3 団体・サークル活動での施設利用					
4 講座の開催予定やサークル照会等の問合せ					
5 その他 ()					

問 47 今後、文化センターに期待することはなんですか？(○は1つだけ)

1 区民講座や区民協働講座などの講座の充実
2 センター祭や子どもひろば等のイベントの充実
3 生涯学習情報の提供や相談体制の充実
4 学習室等貸出施設の利用のしやすさ
5 その他 ()
6 特になし

問 48 あなたは、区立図書館を利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

	利用したことがある				利用 した こと が な い
	大変 満足	やや 満足	少し 不満	大変 不満	
1 館内での閲覧					
2 館内での学習(インターネットの利用を含む。)					
3 図書・CD・DVD等の貸出し					
4 子ども向け講座(おはなし会を含む。)への参加					
5 大人向け講座への参加					
6 その他 ()					

問 52 あなたが、生涯学習のために力を入れて欲しいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 文化センター等施設の充実 | 2 講座の充実 |
| 3 学習の相談・情報提供の充実 | 4 区民が事業の企画・運営に参画するシステムの確立 |
| 5 大学等との連携 | 6 スポーツの場の提供 |
| 7 図書館の充実 | 8 博物館講座・活動の充実 |
| 9 その他 () | |

問 53 あなたは、学習・文化・スポーツ・社会活動などのグループや団体の自主的な活動を盛んにするために、どのような区の支援が必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1 団体についての研修の機会(運営の仕方、リーダー養成等) |
| 2 団体活動に関する相談や情報を得る場 |
| 3 団体の学習会等のPRの手段 |
| 4 団体と区との協働による事業の整備 |
| 5 区の施設の学習環境の整備 |
| 6 団体の学習会等の講師謝礼の助成 |
| 7 その他 () |

問 54 あなたは、地域や社会のために、余暇時間を活かしてボランティア活動に参加するとして、どのくらい参加できますか。
(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|-----------|--------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週3～5回程度 | 3 週1・2回程度 |
| 4 月に1・2回程度 | 5 年に数回程度 | 6 まったく参加できない |

最後に、北区の教育に関してご意見などがあれば記入してください。

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、**10月23日(火)まで**にご返送いただきますようお願いいたします。
なお、返信用封筒には、名前等の記入

「北区教育ビジョン2020」策定に関する
アンケート調査報告書

刊行物登録番号 30-1-102

発行年月 平成31年2月

発行 北区教育委員会事務局教育振興部教育政策課

〒114-8546 北区滝野川2丁目52番10号

電話 03-3908-9279

調査協力 株式会社 アストジェイ